

患者さまが受けられた医療に関する ご遺族の方への調査報告書

2018-2019 年度調査

厚生労働省委託事業

がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業

国立がん研究センター がん対策研究所

2022年3月



国立研究開発法人

国立がん研究センター

National Cancer Center Japan

はじめに

わが国では、年間 37 万人以上の方々ががんで亡くなられています。2006 年のがん対策基本法成立以降、がん対策としてがん患者の皆様が大切な最期の時間をより良く過ごすことができる社会の実現に向けて、医療の質の向上をする取り組みが進められてきました。

国立がん研究センターでは、2017 年度から厚生労働省の委託事業として、患者さまがお亡くなりになる前に利用した医療や療養生活の実態を把握することを目的に、ご遺族を対象とする全国調査を実施して参りました。

2019 年度は、がん患者のご遺族の方々のご意見を広くお伺いするための全国調査を行い、46,253 名のご遺族の方々からのご協力を得ることができました。

本報告書は、2018 年度と 2019 年度の調査を統合した調査手順と結果を示しています。本結果が今後の医療の質の向上に向けた検討の基礎資料となることを目的に作成しています。

末筆ではございますが、調査にご協力いただきましたご遺族の皆様には、この場を借りて心より御礼申し上げます。

2022 年 3 月

国立がん研究センター がん対策研究所
事業統括 若尾 文彦

目次 INDEX

はじめに	3
I 調査の概要	6
1 調査目的 2 調査方法 3 調査項目 4 集計方法 5 倫理的配慮	
II 結果	10
1 全体・死亡場所別 結果	10
1) 対象者数と回答数	
2) 調査回答者と人口動態死亡数の患者背景分布（代表性）	
3) 回答者特性	
4) 回答結果 該当割合 図	
A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス	
B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質	
C 死亡前1週間の患者の苦痛症状	
D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い	
E 家族の介護負担感	
F 最近2週間の遺族の抑うつ症状	
G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆	
5) 調査の感想 図	
2 一般病院・がん診療連携拠点病院別 結果	39
1) 回答数	
2) 回答者特性	
3) 回答結果 該当割合 図	
A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス	
B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質	
C 死亡前1週間の患者の苦痛症状	
D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い	
E 家族の介護負担感	
F 最近2週間の遺族の抑うつ症状	
G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆	
III 考察のまとめ	56
1 全体の結果から見た人生の最終段階の療養生活の現状	
2 死亡場所別の結果を解釈するうえで留意する点	
3 一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果を解釈するうえで留意する点	
4 結語	
IV 調査組織	61

V 資料	62
1 回答分布 全体・死亡場所別	62
A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス	
B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質	
C 死亡前1週間の患者の苦痛症状	
C-2 死亡前1週間の患者の苦痛症状「痛み」があった理由	
D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い	
D-2 在宅療養の希望がかなわなかった理由	
E 家族の介護負担感	
F 最近2週間の遺族の抑うつ症状	
G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆	
H 死別後の遺族の心残りや後悔, 医療支援ニーズ	
I 在宅診療・介護保険の利用状況	
J 病名告知や受けた治療の状況	
2 該当割合 表	82
1) 全体, 死亡場所別	
A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス	
B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質	
C 死亡前1週間の患者の苦痛症状	
D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い	
E 家族の介護負担感	
F 最近2週間の遺族の抑うつ症状	
G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆	
2) 一般病院・がん診療連携拠点病院別	
A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス	
B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質	
C 死亡前1週間の患者の苦痛症状	
D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い	
E 家族の介護負担感	
F 最近2週間の遺族の抑うつ症状	
G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆	
3) 都道府県別	
対象者数と回答数	
回答者特性	
A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス	
B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質	
C 死亡前1週間の患者の苦痛症状	
D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い	
E 家族の介護負担感	
F 最近2週間の遺族の抑うつ症状	
G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆	
3 調査票書類	103
1) 依頼状 2) 趣意書 3) 調査票	

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、がん患者の遺族の意見を広く収集することによって、がん患者の人生の最終段階の療養生活の実態を把握し、わが国の医療や療養環境の改善につなげることを目的とする。

2 調査方法

1) 対象者

対象者は人口動態調査 死亡票情報を用いて、以下の基準を満たす患者を主に介護していた成人の遺族
2018 年度調査 25,974 名 (2017 年死亡)、2019 年度調査 85,016 名 (2018 年死亡) とした。

《対象者基準》

- ① 死亡時の年齢 20 歳以上
- ② 国籍 日本
- ③ 死因年次推移分類 悪性新生物 (以下、がん と示す)
- ④ 死亡場所 病院, 診療所 (以下、統合して病院と示す)
自宅
老人ホーム, 介護施設 (以下、統合して施設と示す, 2018 年度のみ調査対象とした)

2) 対象者の抽出方法

統計法第 33 条に基づき、厚生労働省 人口動態調査 二次利用の承認を得て、人口動態調査 死亡票情報を用いて対象者を抽出した。

対象者の抽出方法は、以下のとおり二段階の層別無作為抽出法を用いた。

- ① 都道府県
- ② 死亡場所 病院, 自宅, 施設

3) 調査期間

- ① 2018 年度調査期間 2019 年 1 ~ 3 月
- ② 2019 年度調査期間 2020 年 3 ~ 5 月

4) 調査手順

郵送法により、調査依頼書, 調査趣意書, 調査票, 返信用封筒, 記入用ペンを同封し、患者と死別後 13 ~ 25 カ月が経過したご家族宛に送付した。調査票の到着後、2 週間以内に返信用封筒を用いて、無記名で回答の投函を求めた。調査票は調査事務局 国立がん研究センターで回収した。

調査票発送の約 1 カ月後、督促として未回答者を対象に調査協力依頼状を再送付した。

調査票には、調査事務局で管理するための通し番号を記載した。

3 調査項目

1) 対象者背景

① 患者背景

年齢、同居者の有無、診断から亡くなるまでの期間、死亡前の救急搬送の利用、死亡前の日常生活の状況、死亡前の意思伝達能力、認知症の有無、死亡前の食事摂取量、死亡場所での療養期間、ホスピス緩和ケア病棟の利用、死亡前の医療費用、世帯収入

② 遺族背景

年齢、性別、続柄、死亡前の介護状況、患者についての病状認識、身体健康状態、こころの健康状態

2) 評価項目

A. 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス

ケアに対する評価尺度（Care Evaluation Scale）の短縮版 13 項目
死亡場所で受けた医療に対する全般的満足度 1 項目

B. 死亡前 1 カ月間の患者の療養生活の質

望ましい死の達成度尺度（Good Death Inventory）の短縮版 20 項目

C. 死亡前 1 週間の患者の苦痛症状

Memorial Symptom Assessment Scale の 11 項目
Memorial Symptom Assessment Scale のうち「痛み」があった理由

D. 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

患者の病状認識
希望していた最期の療養場所
在宅療養の希望がかなわなかった理由
患者と医師間の最期の療養場所に関する話し合いの状況
死亡前の蘇生処置の有無
蘇生処置の希望
患者と医師間の蘇生措置に関する話し合いの状況
事前指示書の作成の有無
家族の患者に対する病状認識
患者と家族間の療養場所や蘇生処置に関する話し合いの状況
家族と医師間の蘇生処置に関する話し合いの状況

E. 家族の介護負担感

家族の介護経験を評価する Caregiving Consequence Inventory のうち「時間・経済・身体・精神」の負担感の 6 項目

F. 最近 2 週間の遺族の抑うつ症状

抑うつ症状のスクリーニングとして Patient Health Questionnaire のうち 2 項目
(該当する 2 項目の合計得点が 3 点以上の場合、「抑うつ症状」有りとした)
希死念慮の有無

G. 最近 1 カ月間の遺族の強い悲嘆

悲嘆のスクリーニングとして Prolonged Grief (PG-13) のうち 2 項目
(2 項目のうち、いずれかの回答が 4 以上で「強い悲嘆」有りとした)

H. 死別後の遺族の心残りや後悔, 医療支援ニーズ

I. 在宅診療・介護保険の利用状況

定期的な在宅訪問診療の利用の有無

在宅訪問診療利用時の医療者との連絡状況

在宅訪問診療利用時の医療や支援の利用状況

介護保険サービスの利用の有無

介護保険サービスの利用状況

介護保険を利用できなかった理由

J. 病名告知や受けた治療の状況

病名・治療に関する説明, 受けた治療, 抗がん剤の中止に関する話し合いの状況

3) 調査の感想

① 調査に対する感想

② 自由回答 (大切な人生の最期の時間をその人らしく、より良く過ごすことができる医療を実現するために必要なこと, 改善すべきこと, 感じたこと)

4 集計方法

1) 粗集計値の算出

2018 年度と 2019 年度の調査結果を統合して集計した。各調査項目について、①全体, ②死亡場所別, ③一般病院・がん診療連携拠点病院 ※ 1, ④都道府県別に回答割合を算出した。

② 死亡場所別の集計

死亡場所は、死亡票情報を用いて病院, 施設, 自宅, ホスピス・緩和ケア病棟 (以下、PCU: Palliative Care Unit と示す) 別に区別した。PCU は、死亡票情報では病院に含まれるため、遺族が PCU で死亡したと回答した方のうち、死亡票に記載された死亡施設名が診療報酬の基本診療料「緩和ケア病棟入院基本料※ 2」の届出受理施設と一致した場合とした。

③ 一般病院とがん診療連携拠点病院別の集計

PCU 死亡を除く病院死亡について集計した。がん診療連携拠点病院死亡の特定は、死亡票に記載された死亡施設名が、厚生労働省が指定するがん診療連携拠点病院名と一致した場合とし、それ以外の場合は一般病院死亡とした。

④ 都道府県別の集計

死亡票情報の住所地で区別した。

※ 1 がん診療連携拠点病院は、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、厚生労働省が指定する病院である。がん診療連携拠点病院は、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援及び情報提供等を担う。

※ 2 緩和ケア病棟入院料は、厚生労働省が定めた施設基準を満たし、地方厚生局等に届出を行った緩和ケア病棟を有する医療機関において、当該病棟に入院している緩和ケアを必要とする患者について算定される。

2) 補正值の算出

死亡場所別、都道府県別の回答割合は、粗集計値に加え、対象者の抽出方法に従い、下記のとおり人口動態死亡数の比率で補正した値と、統計的に推定される 95%信頼区間を算出した。

(一般病院・がん診療連携拠点病院別の回答割合は、粗集計値のみ算出)

全体：都道府県別 × 死亡場所別の人口動態死亡数の比率で補正した値 → 主解析

死亡場所別：都道府県別の人口動態死亡数の比率 ※ 3 で補正した値 → 副次解析

都道府県別：死亡場所別の人口動態死亡数の比率で補正した値 → 副次解析

※ 3 死亡場所が PCU の死亡数は、人口動態では特定できないため、特定非営利活動法人日本ホスピス緩和ケア協会が公表した、協会加盟施設の都道府県別 PCU 死亡数を用いて推定した。死亡数の推定値は、都道府県別に、ホスピス緩和ケア協会加盟施設の PCU 病床数が、緩和ケア病棟入院基本料届出受理施設の PCU 病床数をカバーする割合 (PCU 病床カバー率) で調節して算出した。

都道府県別：ホスピス緩和ケア協会加盟施設 PCU 病床カバー率

= ホスピス緩和ケア協会加盟施設 PCU 病床数 / 緩和ケア病棟入院基本料届出受理施設 PCU 病床数

5 倫理的配慮

本調査は、遺族が利用された医療を評価することに対する精神的葛藤や、つらい体験を想起することによる心理的苦痛が生じることが予測されたため、以下の内容を記載した調査趣意書を同封し、対象者に対する説明を行った。

調査協力の同意確認は、調査票へ調査協力同意の記載、もしくは調査項目への回答をもって同意と見なした。

- ① 調査への参加は自由意思に基づく
- ② 調査に参加しない場合も不利益は生じない
- ③ 人口動態調査の死亡票情報から個人情報を得た手順と、個人情報はアンケート送付以外の目的では使用しない
- ④ 調査結果は個人が特定できない形で公表する

調査事務局である国立がん研究センターがん対策情報センターでは、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 適合性評価制度による国際規格 (ISO/IEC 27001) 認証を取得しており (登録証番号: JQA-IM1418, 登録更新日 2020 年 3 月 17 日)、審査基準および当センターの基本方針に基づき個人情報を管理した。

Ⅱ 結果

本結果では、1 全体・死亡場所別、2 一般病院・がん診療連携拠点病院別に集計結果を示す。都道府県別の集計結果は資料に示す。

1 全体・死亡場所別

1) 対象者数と回答数

対象者数と回答数は、表 1 全体・死亡場所別 回答数 に示す。調査票は 2018 年度 25,974 名、2019 年度 85,016 名 計 110,990 名に送付した。宛先不明等により調査票が不達だった数は 計 14,658 名(13.2%)であった。調査票の返送数は、回答拒否も含めて計 60,797 名(63.1%)、うち有効回答数は 54,167 名(56.2%)であった。

2) 調査回答者と人口動態死亡数の患者背景分布(代表性)

回答者と母集団の患者背景分布の差は、表 2 人口動態死亡数と回答者の患者背景分布 に示す。全体として、人口動態死亡数と回答者の分布に差はなかった。

3) 回答者特性

① 患者特性

患者特性は、表 3 全体・死亡場所別 患者特性 に示す。

● 全体

- ・がん患者全体では、死亡時の年齢は 80 歳以上の割合が 50.2% であり、半数以上を占めていた。がん種は、肺がん 19.0%、胃がん 12.5%、膵臓がん 10.2% の順に多かった。
- ・がん患者の遺族全体では、患者ががんと診断されてから亡くなるまでの期間は 1 年以内と回答した割合は 52.6% であった。
- ・がん患者の遺族全体では、患者が死亡前 1 カ月間で日常生活動作に何らの介助が必要だったと回答した割合は 78.4%、患者が認知症を併存していたと回答した割合は 13.3% であった。
- ・がん患者の遺族全体では、患者が希望する最期の療養場所として自宅を希望していたと回答した割合が 56.5% と最も高かった(資料 p73)。
- ・がん患者の遺族全体では、患者が死亡前 6 カ月間に在宅診療を利用していたと回答した割合は 37.3%、介護保険サービスを利用していたと回答した割合は 54.6% であった(資料 p79-80)。
- ・がん患者の遺族全体では、患者が医師から病名を説明されたと回答した割合は 78.1% であった(資料 p81)。

● 死亡場所別

- ・死亡場所別のがん患者の死亡時の年齢は、80 歳以上の割合が病院 49.5% 施設 86.3% 自宅 50.0% PCU39.2% であった。
- ・死亡場所別のがん患者遺族の回答では、患者が死亡前 1 カ月間で日常生活動作に何らの介助が必要だったと回答した割合は、病院 72.7% 施設 96.3% 自宅 83.6% PCU78.1%、患者が認知症を併存していたと回答した割合は、病院 12.5% 施設 45.7% 自宅 11.5% PCU8.6% であった。
- ・自宅で死亡したがん患者の遺族の回答では、死亡前 6 カ月間に在宅診療を利用していたと回答した割合は 76.2% であった。

②遺族特性

回答遺族の特性は、表 4 全体・死亡場所別 遺族特性 に示す。

●全体

・調査に回答したがん患者遺族全体の年齢は、60-70 代の割合が 57.1% と最も高く、続柄は、配偶者 44.1% や子 39.7% であった。

●死亡場所別

・調査に回答した遺族の続柄は、病院・自宅・PCU で死亡したがん患者の遺族では配偶者の割合が 43.1% 以上、施設で死亡した患者の遺族では子の割合が 61.7% とそれぞれ最も高かった。他の場所と比べて、施設で死亡した患者の年齢が 80 歳以上の割合が高いため、回答遺族の続柄は子が多くなると考えられる。

4) 回答結果

評価項目ごとに全体・死亡場所別の回答割合を示す。全体・死亡場所別の回答分布は、資料に示す。

《結果を解釈するうえでの留意点》

●本調査は、わが国のがん患者が人生の最終段階の療養生活をどのように過ごしたか、その全体像を記述したものである。本結果は全体を重視して解釈すべきものであり、最期の療養場所として、どこで死亡することが良い・悪いと単純に比較・判断することは困難である。例えば「介護施設で死亡した患者は、もともと痛みなどの症状が少なかったため、医学的な介入を必要とせず入院することがなかった」など、療養場所によって患者のもともとの病状が異なる。したがって、療養場所の違いを考察する際には病状や本人の治療への希望などに留意し、注意深く考察することが必要となる。

●本調査の患者に関する設問の回答結果は、遺族による代理評価の結果であることに注意する。

《死亡場所別の結果を解釈するうえでの留意点》

●施設や自宅で死亡したがん患者は、病院や PCU で死亡したがん患者と比べて、症状が比較的落ち着いているため、施設や自宅での療養が可能になるなど、療養場所によって患者の病状や療養場所の希望が異なることが考えられる。

●施設で死亡したがん患者は、病院など他の場所で死亡したがん患者と比べて、患者が高齢のため、日常生活動作の低下や認知症を併存していた割合が高かった。

●自宅で死亡したがん患者は、必ずしも医師の訪問診療を受けていないことに注意する。外来通院中や急死、回答遺族が当時の状況を把握していないことなどが考えられる。

●死亡場所のうち「PCU」の特定は、遺族の回答をもとに判断しているため、実際の死亡場所とは異なる可能性がある。

●調査に回答した遺族の続柄は、施設で死亡したがん患者の遺族は、子が多くなった。これは他の場所と比べて患者の死亡時の年齢で 80 歳以上の割合が高いためと考えられる。

表 1 全体・死亡場所別 回答数

	2018 年度		2019 年度		合計	
	No	%	No	%	No	%
死亡数 *						
病院	313108		310543		623651	
施設	13183		-		13183	
在宅	43546		45032		88578	
合計	369837		355575		725412	
発送数						
病院	9682		61100		70782	
施設	6950		-		6950	
在宅	9342		23916		33258	
合計	25974		85016		110990	
不達数						
病院	1193	12.3	9043	14.8	10236	14.5
施設	1369	19.7	-		1369	19.7
在宅	768	8.2	2285	9.6	3053	9.2
合計	3330	12.8	11328	13.3	14658	13.2
調査票到達数 †						
病院	8489		52057		60546	
施設	5581		-		5581	
在宅	8574		21631		30205	
合計	22644		73688		96332	
総回収数 (回答拒否含む)	14544	64.2	46253	62.8	60797	63.1
有効回答 ‡						
病院	4712	55.5	27944	53.7	32656	53.9
施設	2824	50.6	-		2824	50.6
在宅	5364	62.6	13323	61.6	18687	61.9
合計	12900	57.0	41267	56.0	54167	56.2

*厚生労働省 2017-18 年人口動態死亡数から、死亡時 20 歳以上、死亡場所が国内かつ病院・施設・自宅の死亡数を再集計した

†調査票到達数 = 発送数 - 不達数

‡有効回答率 = 有効回答数 / 調査票到達数

表2 人口動態死亡数と回答者の患者背景分布

		死亡数*		回答者†		差‡
		(N=745903)		(N=54167)		
		No	%	No	%	
性別	男性	438379	58.8	32098	59.3	-0.5
	女性	307524	41.2	22069	40.7	0.5
年齢						0.0
	< 60	57370	7.7	3381	6.2	1.4
	< 70	126631	17.0	8333	15.4	1.6
	< 80	219549	29.4	15243	28.1	1.3
	< 90	253920	34.0	19254	35.5	-1.5
	≧ 90	88433	11.9	7956	14.7	-2.8
がん種 (死因简单分類)						0.0
	口唇, 口腔及び咽頭	15019	2.0	1073	2.0	0.0
	食道	22897	3.1	1539	2.8	0.2
	胃	89377	12.0	6748	12.5	-0.5
	結腸	70729	9.5	5065	9.4	0.1
	直腸	30562	4.1	2169	4.0	0.1
	肝・肝内胆管	52989	7.1	3768	7.0	0.1
	胆のう・胆道	36407	4.9	2830	5.2	-0.3
	膵	69599	9.3	5541	10.2	-0.9
	喉頭	1718	0.2	139	0.3	0.0
	肺	148401	19.9	10313	19.0	0.9
	皮膚	3198	0.4	258	0.5	0.0
	乳房	29137	3.9	1912	3.5	0.4
	子宮	13408	1.8	886	1.6	0.2
	卵巣	9522	1.3	656	1.2	0.1
	前立腺	24256	3.3	2024	3.7	-0.5
	膀胱	17408	2.3	1297	2.4	-0.1
	中枢神経系	5169	0.7	424	0.8	-0.1
	悪性リンパ腫	25493	3.4	1743	3.2	0.2
	白血病	17160	2.3	1195	2.2	0.1
	その他の造血組織	8767	1.2	637	1.2	0.0
	その他	54687	7.3	3950	7.3	0.0

*厚生労働省 2017-2018 年人口動態死亡数から、20 歳以上の死亡数を再集計した

†回答者は、厚生労働省人口動態調査死亡票情報から再集計した

‡差は、回答者と人口動態死亡数の割合 (%) の差

表3 全体・死亡場所別 患者特性

患者	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
性別*										
男性	32098	59.3	15566	61.2	1215	43.0	11148	59.7	4169	57.7
女性	22069	40.7	9870	38.8	1609	57.0	7539	40.3	3051	42.3
年齢* 平均値, 標準偏差	78.0	11.4	77.8	11.3	87.3	7.4	77.9	11.5	75.3	11.2
20代	59	0.1	24	0.1	0	0.0	26	0.1	9	0.1
30代	202	0.4	80	0.3	0	0.0	88	0.5	34	0.5
40代	911	1.7	403	1.6	1	0.0	353	1.9	154	2.1
50代	2209	4.1	1098	4.3	9	0.3	695	3.7	407	5.6
60代	8333	15.4	4037	15.9	62	2.2	2830	15.1	1404	19.5
70代	15243	28.1	7192	28.3	315	11.2	5354	28.7	2382	33.0
80代	19254	35.5	9134	35.9	1254	44.4	6594	35.3	2272	31.5
90代以上	7956	14.7	3468	13.6	1183	41.9	2747	14.7	558	7.7
がん種*										
口唇, 口腔及び咽頭	1073	2.0	431	1.7	57	2.0	374	2.0	211	2.9
食道	1539	2.8	709	2.8	42	1.5	574	3.1	214	3.0
胃	6748	12.5	3034	11.9	330	11.7	2496	13.4	888	12.3
結腸	5065	9.4	2251	8.9	362	12.8	1886	10.1	566	7.8
直腸	2169	4.0	959	3.8	119	4.2	780	4.2	311	4.3
肝・肝内胆管	3768	7.0	1882	7.4	197	7.0	1298	7.0	391	5.4
胆のう・胆道	2830	5.2	1342	5.3	174	6.2	955	5.1	359	5.0
膵	5541	10.2	2484	9.8	189	6.7	2033	10.9	835	11.6
喉頭	139	0.3	61	0.2	9	0.3	48	0.3	21	0.3
肺	10313	19.0	5099	20.1	430	15.2	3315	17.7	1469	20.4
皮膚	258	0.5	111	0.4	29	1.0	81	0.4	37	0.5
乳房	1912	3.5	772	3.0	119	4.2	727	3.9	294	4.1
子宮	886	1.6	338	1.3	45	1.6	343	1.8	160	2.2
卵巢	656	1.2	234	0.9	20	0.7	268	1.4	134	1.9
前立腺	2024	3.7	853	3.4	155	5.5	803	4.3	213	3.0
膀胱	1297	2.4	639	2.5	110	3.9	406	2.2	142	2.0
中枢神経系	424	0.8	186	0.7	38	1.4	142	0.8	58	0.8
悪性リンパ腫	1743	3.2	1052	4.1	75	2.7	443	2.4	173	2.4
白血病	1195	2.2	815	3.2	40	1.4	240	1.3	100	1.4
その他の造血組織	637	1.2	377	1.5	38	1.4	163	0.9	59	0.8
その他	3950	7.3	1807	7.1	246	8.7	1312	7.0	585	8.1
同居者の有無										
欠損	811	1.5	432	1.7	96	3.4	204	1.1	79	1.1
有	47016	86.8	21691	85.3	1542	54.6	17536	93.8	6247	86.5
無	6340	11.7	3313	13.0	1186	42.0	947	5.1	894	12.4

*厚生労働省人口動態調査死亡票情報から再集計した
PCU：ホスピス緩和ケア病院

患者	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
診断から亡くなるまでの期間										
欠損	704	1.3	355	1.4	57	2.0	238	1.3	54	0.8
24時間以内	303	0.6	184	0.7	38	1.4	68	0.4	13	0.2
1週間以内	855	1.6	631	2.5	47	1.7	132	0.7	45	0.6
1カ月以内	3695	6.8	2344	9.2	158	5.6	806	4.3	387	5.4
3カ月以内	7737	14.3	3865	15.2	416	14.7	2496	13.4	960	13.3
1年以内	15926	29.4	7235	28.4	849	30.1	5629	30.1	2213	30.7
5年以内	18314	33.8	7913	31.1	841	29.8	6828	36.5	2732	37.8
10年以内	3895	7.2	1714	6.7	187	6.6	1479	7.9	515	7.1
10年より長い	2187	4.0	955	3.8	127	4.5	832	4.5	273	3.8
わからない	551	1.0	240	0.9	104	3.7	179	1.0	28	0.4
亡くなる1カ月前のADL										
欠損	444	0.8	234	0.9	17	0.6	145	0.8	48	0.7
自立	11095	20.5	6604	26.0	70	2.5	2904	15.5	1517	21.0
一部介助	18542	34.2	8534	33.6	624	22.1	6807	36.4	2577	35.7
ほぼ全介助	23936	44.2	9964	39.2	2095	74.2	8812	47.2	3065	42.5
わからない	150	0.3	100	0.4	18	0.6	19	0.1	13	0.2
亡くなる1カ月前の意思伝達能力										
欠損	362	0.7	178	0.7	15	0.5	135	0.7	34	0.5
問題なし	30513	56.3	14580	57.3	723	25.6	10971	58.7	4239	58.7
困難はあるが伝えられた	17129	31.6	7474	29.4	1212	42.9	6208	33.2	2235	31.0
ほとんど伝えられない	4001	7.4	1986	7.8	546	19.3	990	5.3	479	6.6
全く伝えられない	1964	3.6	1108	4.4	302	10.7	344	1.8	210	2.9
わからない	198	0.4	110	0.4	26	0.9	39	0.2	23	0.3
認知症の診断歴										
欠損	526	1.0	263	1.0	27	1.0	181	1.0	55	0.8
有	7218	13.3	3168	12.5	1291	45.7	2140	11.5	619	8.6
無	45329	83.7	21476	84.4	1386	49.1	16040	85.8	6427	89.0
わからない	1094	2.0	529	2.1	120	4.3	326	1.7	119	1.7
亡くなる3カ月前の認知症症状の有無										
欠損	2991	5.5	1359	5.3	110	3.9	1133	6.1	389	5.4
有	4771	8.8	2069	8.1	853	30.2	1441	7.7	408	5.7
無	44754	82.6	21142	83.1	1591	56.3	15744	84.3	6277	86.9
わからない	1651	3.0	866	3.4	270	9.6	369	2.0	146	2.0
亡くなる3カ月前の食事摂取量										
欠損	447	0.8	238	0.9	22	0.8	144	0.8	43	0.6
いつも通り	11772	21.7	6016	23.7	496	17.6	3765	20.2	1495	20.7
少し減少していた(数口より多い)	21096	38.9	9615	37.8	935	33.1	7683	41.1	2863	39.7
減少していた(数口程度)	16045	29.6	7001	27.5	988	35.0	5803	31.1	2253	31.2
食べられない	4216	7.8	2209	8.7	286	10.1	1213	6.5	508	7.0
わからない	591	1.1	357	1.4	97	3.4	79	0.4	58	0.8

表3 全体・死亡場所別 患者特性

患者	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
亡くなる3カ月前時点の透析療法の利用										
欠損	988	1.8	478	1.9	28	1.0	371	2.0	111	1.5
受けていない	50269	92.8	23263	91.5	2671	94.6	17614	94.3	6721	93.1
血液透析を受けていた	1209	2.2	767	3.0	32	1.1	279	1.5	131	1.8
腹膜透析を受けていた	199	0.4	94	0.4	8	0.3	64	0.3	33	0.5
血液・腹膜透析を併用していた	243	0.4	140	0.6	9	0.3	63	0.3	31	0.4
わからない	1259	2.3	694	2.7	76	2.7	296	1.6	193	2.7
亡くなる前1カ月間の救急搬送										
欠損	986	1.8	544	2.1	58	2.1	258	1.4	126	1.8
ない	44033	81.3	19341	76.0	2443	86.5	16431	87.9	5818	80.6
1回	7592	14.0	4652	18.3	219	7.8	1611	8.6	1110	15.4
2回以上	1370	2.5	803	3.2	65	2.3	352	1.9	150	2.1
わからない	186	0.3	96	0.4	39	1.4	35	0.2	16	0.2
死亡前1カ月間で最も長く過ごした場所										
欠損	1048	1.9	545	2.1	48	1.7	324	1.7	131	1.8
自宅	23963	44.2	6924	27.2	93	3.3	15639	83.7	1307	18.1
病院	19371	35.8	15491	60.9	197	7.0	1810	9.7	1873	25.9
ホスピス・PCU	5605	10.3	1385	5.5	67	2.4	342	1.8	3811	52.8
介護施設・老人ホーム	3908	7.2	948	3.7	2401	85.0	482	2.6	77	1.1
そのほかの場所	206	0.4	90	0.4	16	0.6	82	0.4	18	0.3
わからない	66	0.1	53	0.2	2	0.1	8	0.0	3	0.0
医療・介護費用総額/月										
欠損	1386	2.6	646	2.5	56	2.0	508	2.7	176	2.4
<10万	12221	22.6	5187	20.4	422	14.9	5576	29.8	1036	14.4
<20万	17071	31.5	8433	33.2	1177	41.7	5323	28.5	2138	29.6
<40万	12830	23.7	6281	24.7	791	28.0	3657	19.6	2101	29.1
<60万	3795	7.0	1748	6.9	160	5.7	1118	6.0	769	10.7
≧60万	1923	3.6	886	3.5	67	2.4	596	3.2	374	5.2
わからない	4941	9.1	2255	8.9	151	5.4	1909	10.2	626	8.7
世帯収入額/年										
欠損	1662	3.1	843	3.3	81	2.9	560	3.0	178	2.5
<100万	4546	8.4	2253	8.9	343	12.2	1346	7.2	604	8.4
<200万	9667	17.8	4783	18.8	602	21.3	3060	16.4	1222	16.9
<400万	20261	37.4	9389	36.9	974	34.5	7127	38.1	2771	38.4
<600万	7457	13.8	3366	13.2	308	10.9	2756	14.8	1027	14.2
<800万	3556	6.6	1591	6.3	194	6.9	1309	7.0	462	6.4
≧800万	3089	5.7	1327	5.2	168	6.0	1172	6.3	422	5.8
わからない	3929	7.3	1884	7.4	154	5.5	1357	7.3	534	7.4

表 4 全体・死亡場所別 遺族特性

遺族	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
性別										
欠損	610	1.1	321	1.3	51	1.8	193	1.0	45	0.6
男性	18525	34.2	9204	36.2	1225	43.4	5471	29.3	2625	36.4
女性	35032	64.7	15911	62.6	1548	54.8	13023	69.7	4550	63.0
年齢 平均値, 標準偏差	65.0	11.9	64.8	11.9	65.0	10.2	65.5	11.9	64.3	12.0
欠損	689	1.3	355	1.4	56	2.0	223	1.2	55	0.8
20代以下	206	0.4	101	0.4	4	0.1	66	0.4	35	0.5
30代	1001	1.8	495	2.0	20	0.7	345	1.9	141	2.0
40代	4273	7.9	2038	8.0	122	4.3	1439	7.7	674	9.3
50代	11224	20.7	5347	21.0	648	23.0	3647	19.5	1582	21.9
60代	16672	30.8	7888	31.0	1136	40.2	5572	29.8	2076	28.8
70代	14248	26.3	6489	25.5	587	20.8	5208	27.9	1964	27.2
80代	5468	10.1	2534	10.0	218	7.7	2056	11.0	660	9.1
90代以上	386	0.7	189	0.7	33	1.2	131	0.7	33	0.5
続柄										
欠損	670	1.2	357	1.4	45	1.6	216	1.2	52	0.7
配偶者	23882	44.1	10965	43.1	401	14.2	8995	48.1	3521	48.8
子	21519	39.7	10172	40.0	1741	61.7	6977	37.3	2629	36.4
嫁・婿	4393	8.1	2058	8.1	357	12.6	1507	8.1	471	6.5
親	1172	2.2	570	2.2	73	2.6	375	2.0	154	2.1
その他の親族	2216	4.1	1163	4.6	181	6.4	526	2.8	346	4.8
その他	315	0.6	151	0.6	26	0.9	91	0.5	47	0.7
介護時の就労状況										
欠損	1242	2.3	631	2.5	85	3.0	406	2.2	120	1.7
無職	26051	48.1	11534	45.4	1160	41.1	10015	53.6	3342	46.3
辞職	2985	5.5	1275	5.0	126	4.5	1192	6.4	392	5.4
休暇取得	4598	8.5	1790	7.0	78	2.8	2080	11.1	650	9.0
パートタイム	5531	10.2	2897	11.4	390	13.8	1506	8.1	738	10.2
フルタイム	13760	25.4	7309	28.7	985	34.9	3488	18.7	1978	27.4
介護していた時間										
欠損	957	1.8	549	2.2	81	2.9	247	1.3	80	1.1
付き添っていない	4000	7.4	2430	9.6	497	17.6	644	3.5	429	5.9
週1-3日	7320	13.5	4204	16.5	1041	36.9	996	5.3	1079	14.9
週4-6日	5504	10.2	3294	13.0	406	14.4	807	4.3	997	13.8
毎日	36386	67.2	14959	58.8	799	28.3	15993	85.6	4635	64.2
身体健康状態										
欠損	697	1.3	364	1.4	58	2.1	213	1.1	62	0.9
非常によくなかった	1707	3.2	823	3.2	95	3.4	548	2.9	241	3.3
よくなかった	7714	14.2	3690	14.5	452	16.0	2463	13.2	1109	15.4
まあまあだった	28623	52.8	13434	52.8	1495	52.9	9777	52.3	3917	54.3
よかった	15426	28.5	7125	28.0	724	25.6	5686	30.4	1891	26.2
こころ健康状態										
欠損	816	1.5	423	1.7	60	2.1	257	1.4	76	1.1
非常によくなかった	4910	9.1	2411	9.5	179	6.3	1536	8.2	784	10.9
よくなかった	15856	29.3	7767	30.5	697	24.7	4994	26.7	2398	33.2
まあまあだった	25236	46.6	11612	45.7	1404	49.7	8995	48.1	3225	44.7
よかった	7349	13.6	3223	12.7	484	17.1	2905	15.6	737	10.2

A-1 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス

設問	患者さまがお亡くなりになった場所で受けた医療・ケアについてお伺いします お亡くなりになる前の状況について、最も近い番号を1つずつお選びください
回答選択肢	「1 全くそう思わない」「2 そう思わない」「3 あまりそう思わない」「4 ややそう思う」 「5 そう思う」「6 非常にそう思う」「0 わからない」のうち○は1つ
集計方法	「4 ややそう思う」～「6 非常にそう思う」の合計回答割合(%)について、人口動態死亡数の都道府 県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される95%信頼区間を示した

●全体の結果（主解析）

がん患者の遺族全体では、医療者は患者のつらい症状にすみやかに対応していたと回答した割合は82.4%、患者の不安や心配をやわらげるように、医師、看護師、介護職員は努めていたと回答した割合は82.2%であった。

●全体の考察

医療者への評価は概ね良好であり、これまでがん対策として取り組まれてきた基本的な緩和ケアの普及啓発の結果が表れていると考えられる。

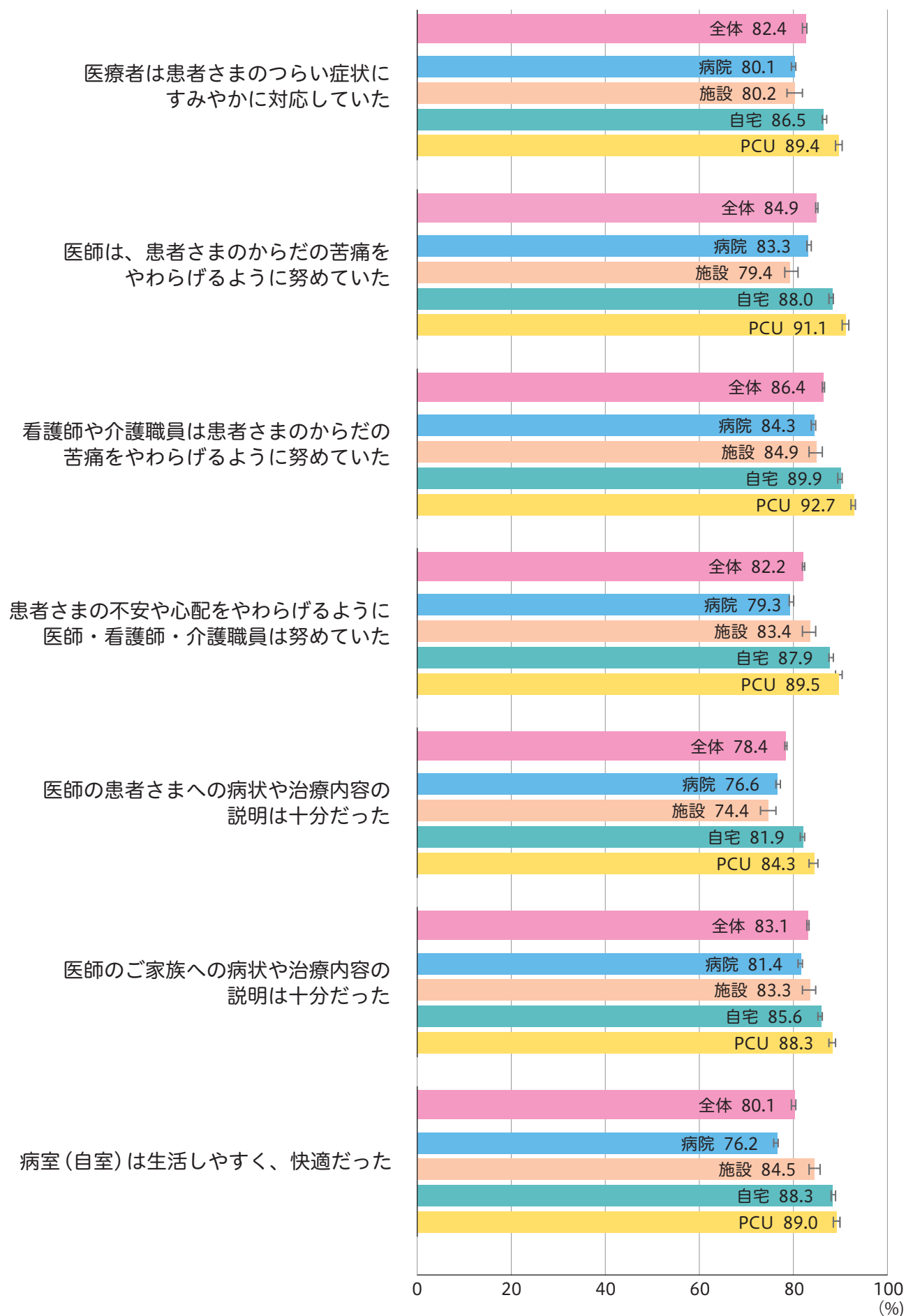
●死亡場所別の結果（副次解析）

死亡場所別のがん患者遺族では、医療者は患者のつらい症状にすみやかに対応していたと回答した割合は、病院 80.1% 施設 80.2% 自宅 86.5% PCU 89.4%、患者の不安や心配をやわらげるように、医師、看護師、介護職員は努めていたと回答した割合は、病院 79.3% 施設 83.4% 自宅 87.9% PCU 89.5%であった。

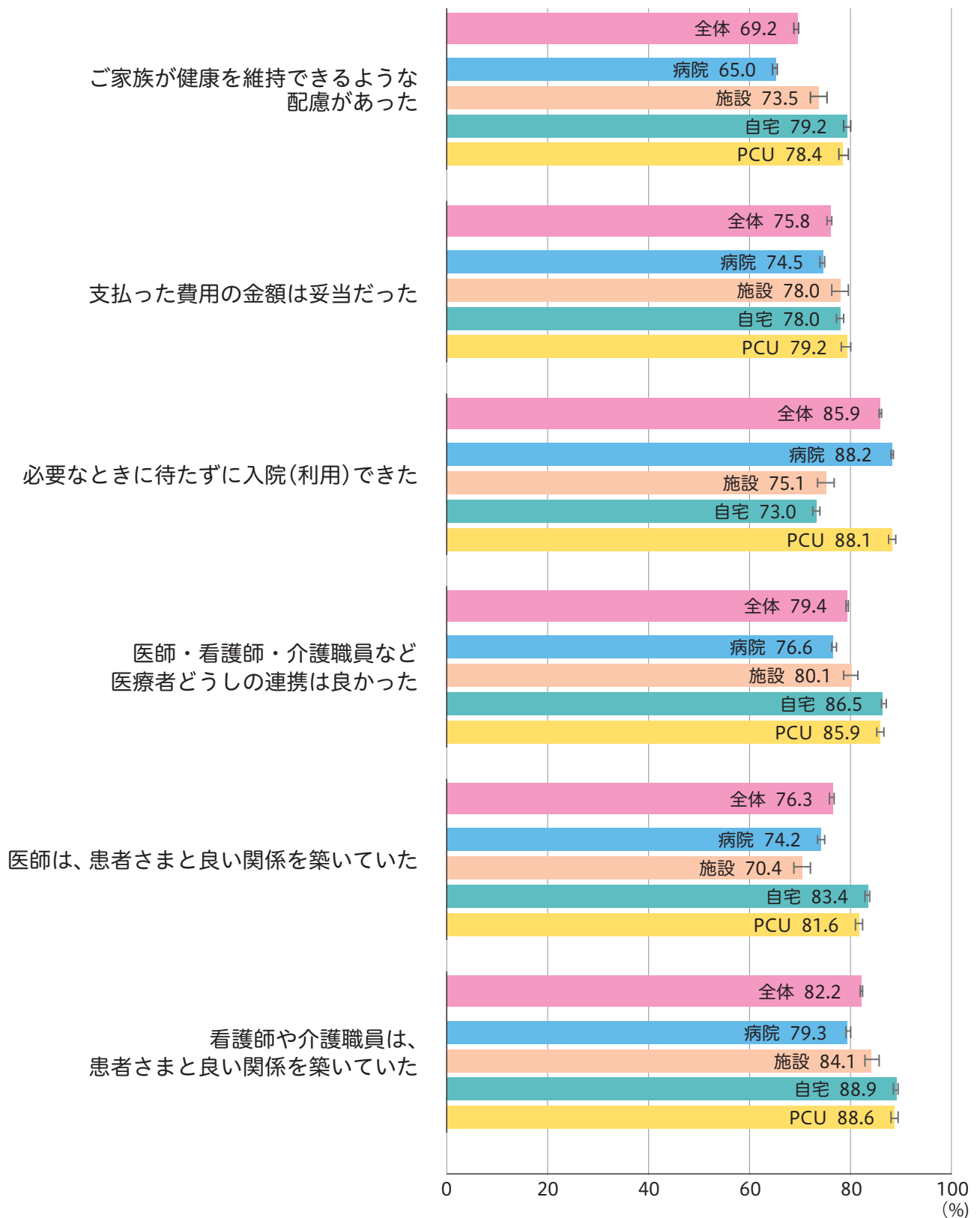
●死亡場所別の考察と留意点

療養場所に依らず、医療者の対応への評価は概ね良好であると考えられる。

A-1 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス



A-1 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス



A-2 死亡場所で受けた医療に対する全般的満足度

設問	お亡くなりになった場所で受けた医療は全般的に満足でしたか
回答選択肢	「1 非常に不満足」「2 不満足」「3 やや不満足」「4 やや満足」「5 満足」「6 非常に満足」 「7 わからない」のうち○は1つ
集計方法	「4 やや満足」～「6 非常に満足」の合計回答割合(%)について、人口動態死亡数の都道府県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される95%信頼区間を示した

●全体の結果（主解析）

がん患者の遺族全体では、死亡場所で患者が受けた医療に対して全般的に満足していたと回答した割合は72.0%であった。

●全体の考察

患者が受けた医療の構造・プロセスに関する項目別の回答を踏まえると、家族の健康への配慮や支払った医療費の妥当性についての回答割合が他の項目に比べてやや低いことから、改善の余地があることが示唆された。

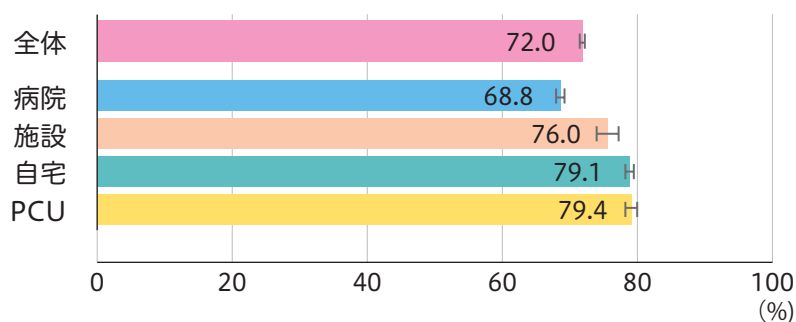
●死亡場所別の結果（副次解析）

死亡場所別のがん患者遺族では、死亡場所で患者が受けた医療に対して全般的に満足していたと回答した割合は、病院 68.8% 施設 76.0% 自宅 79.1% PCU 79.4% であった。

●死亡場所別の考察と留意点

病院で死亡したがん患者遺族では、施設などの他の場所で死亡した患者と比べて満足度がやや低かった。他の場所と比べて、患者の病状が重たいことや、患者が病気の治癒や治療に対する希望がより強いため、医療に対する満足度に影響したことが考えられる。

A-2 死亡場所で受けた医療に対する全般的満足度



B 死亡前 1 カ月間の患者の療養生活の質

設問	療養生活について、患者さまはどのように感じていたと思いますか お亡くなりになる前の 1 カ月間の状況について、最も近い番号を 1 つずつお選びください
回答選択肢	「1 全くそう思わない」「2 そう思わない」「3 あまりそう思わない」「4 どちらともいえない」 「5 ややそう思う」「6 そう思う」「7 とてもそう思う」「0 わからない」のうち○は 1 つ
集計方法	「5 ややそう思う」～「7 とてもそう思う」の合計回答割合 (%) について、人口動態死亡数の都道府県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される 95% 信頼区間を示した

●全体の結果（主解析）

がん患者の遺族全体では、患者は痛みが少なく過ごせたと回答した割合は 47.2%、からだの苦痛が少なく過ごせたと回答した割合は 41.5% であった。

●全体の考察

医療者の対応に関する遺族の自由回答を踏まえると、苦痛症状への基本的な対応はなされているが、死亡前の痛みの主な理由には、基本的な対応のみでは緩和されない難治性の症状がある場合や、認知症などの併存があるために痛みの評価が難しい場合、がん以外の症状が混在するなど複雑な場合があることが明らかになり、緩和ケアの効果が十分に得られなかった可能性が示唆された。

がん患者の苦痛緩和は改善の余地があり、医療者への基本的緩和ケアの教育機会を提供することに加え、複雑な場面での診断方法や難治性の症状に対する新たな治療方法の開発を検討する必要がある。

●死亡場所別の結果（副次解析）

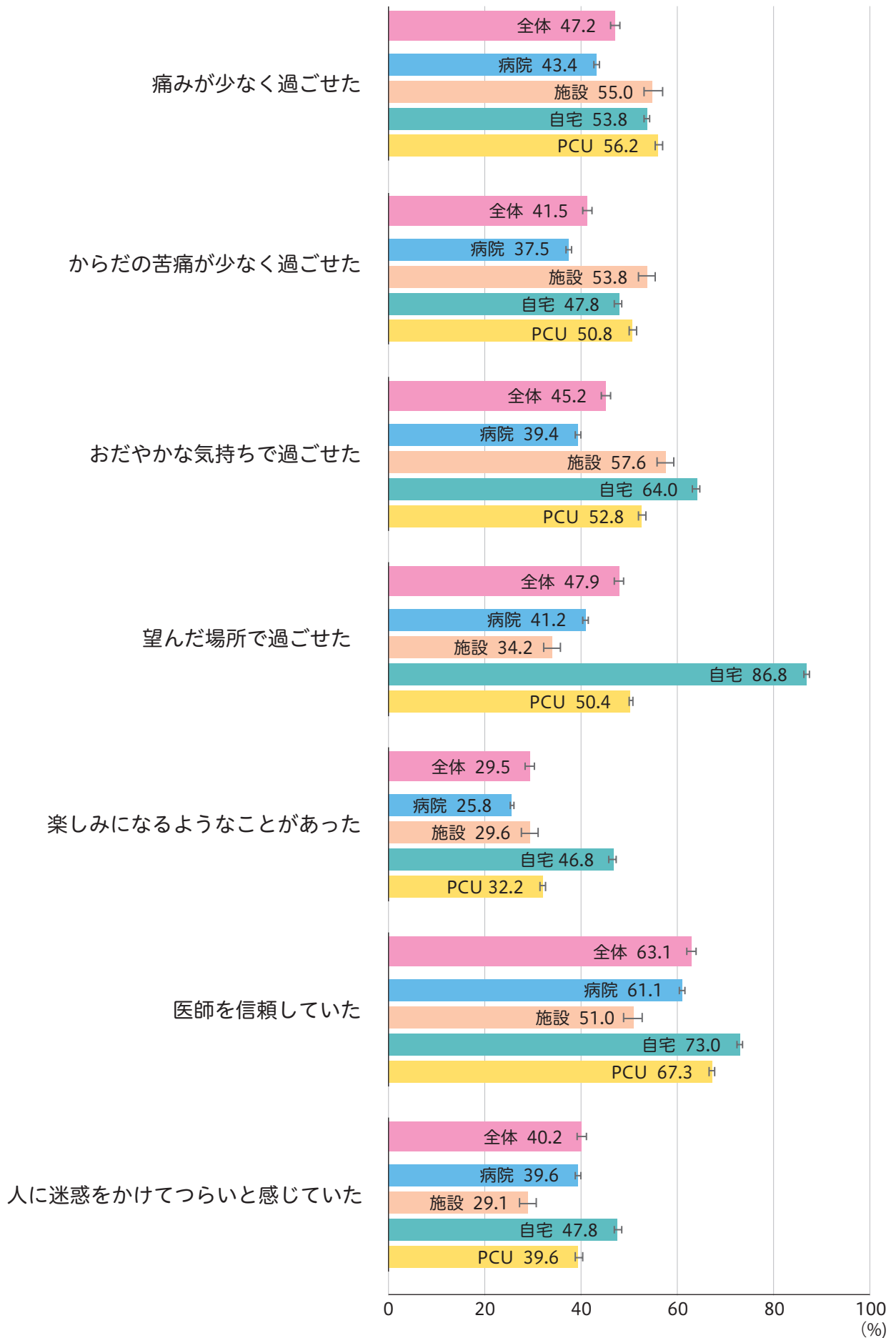
死亡場所別のがん患者遺族の回答割合は、痛みが少なく過ごせたと 病院 43.4% 施設 55.0% 自宅 53.8% PCU 56.2%、からだの苦痛が少なく過ごせたと 病院 37.5% 施設 53.8% 自宅 47.8% PCU 50.8%、おだやかな気持ちで過ごせたと 病院 39.4% 施設 57.6% 自宅 64.0% PCU 52.8%、望んだ場所で過ごせたと 病院 41.2% 施設 34.2% 自宅 86.8% PCU 50.4% であった。

●死亡場所別の考察と留意点

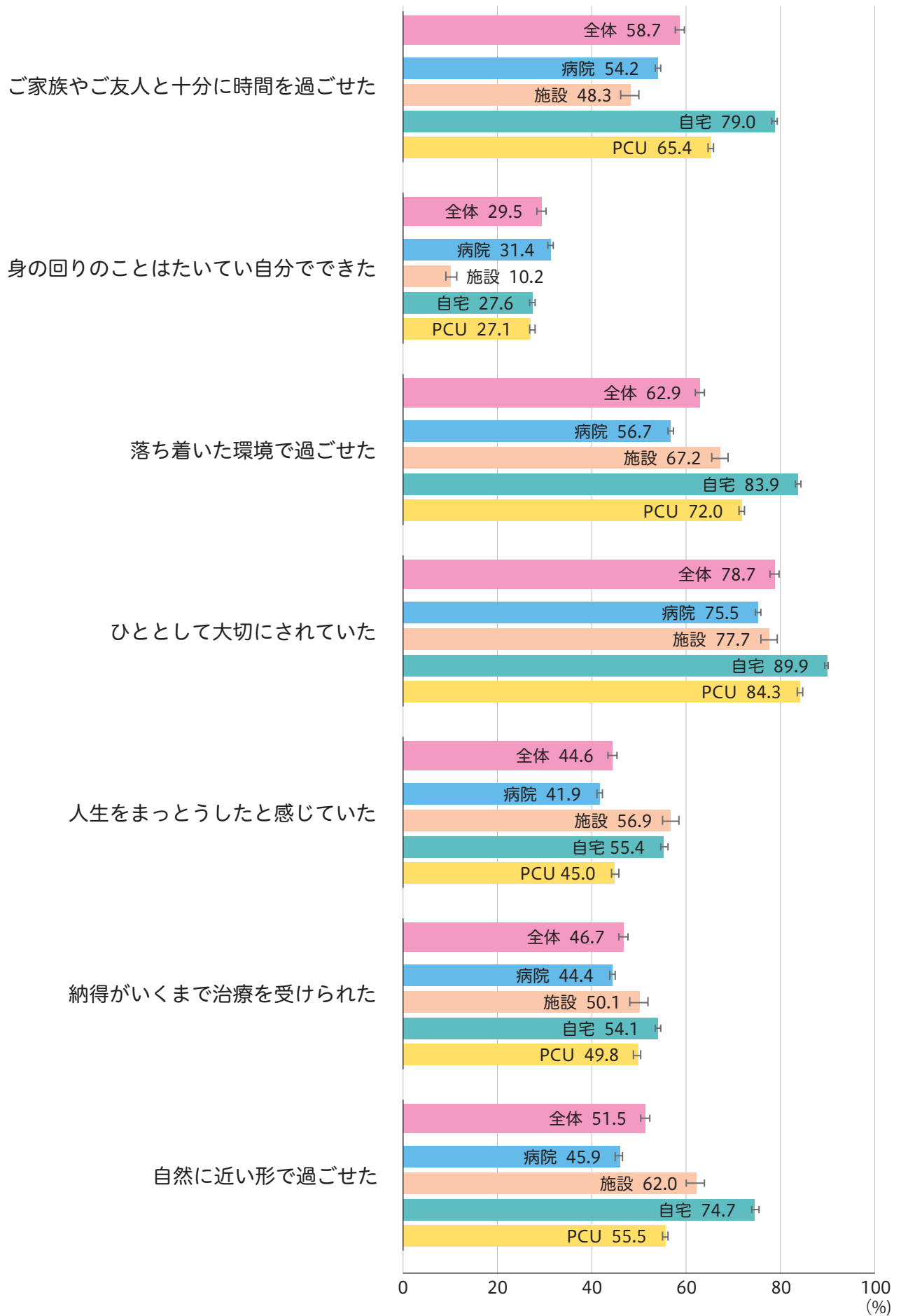
病院で死亡したがん患者の遺族は、施設など他の場所で死亡したがん患者と比べて、からだの苦痛や気持ちのつらさがなく過ごせたと回答した割合が低かった。他の場所と比べて、患者が若年であるため、患者が積極的な治療を希望することが多く、治療や処置に伴う避けられない苦痛を感じていた可能性や、就労などの心理社会的な課題を負うなど、複合的な理由が潜在すると考えられる。

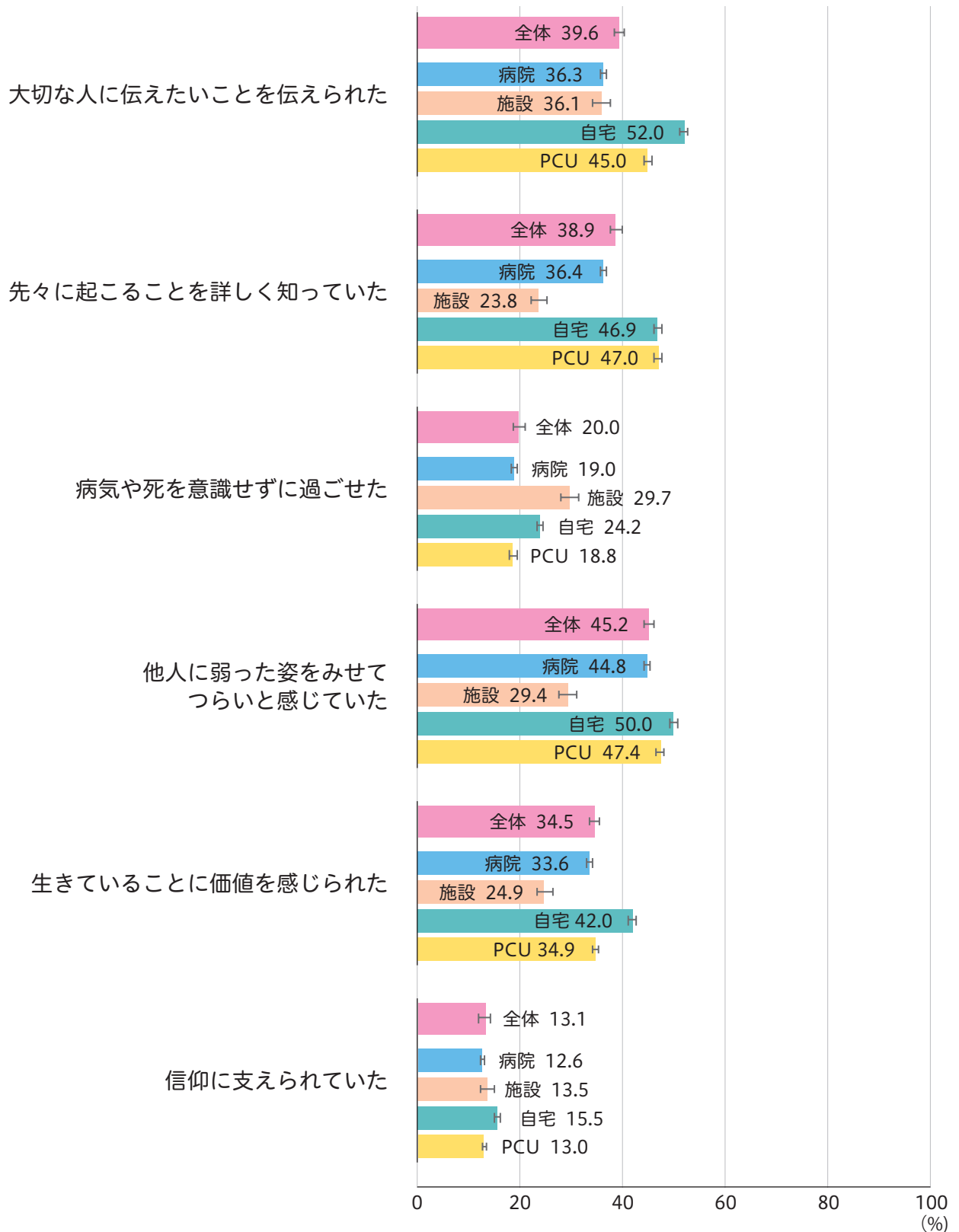
自宅で死亡したがん患者の遺族は、病院など他の場所で死亡したがん患者と比べて、患者は望んだ場所で過ごせたと、落ち着いた環境で過ごせたとなど、療養環境に関連する回答における割合が高かった。他の場所と比べて、患者が希望する療養場所での生活を継続したことに加えて、遺族が患者と接する時間が長いことから、患者の療養状況をより理解できることが回答内容に影響したと考えられる。

B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質



B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質





C 死亡前1週間の患者の苦痛症状

設問	患者さまは療養中の苦痛症状について、どのように感じていたと思いますか お亡くなりになる前の1週間の状況について、最も近い番号を1つずつお選びください
回答選択肢	「0 わからない」「1 症状はなかった」「2 少し」「3 まあまあ」「4 ひどい」「5 とてもひどい」のうち ○は1つ
集計方法	「4 ひどい」「5 とてもひどい」の合計回答割合(%)について、人口動態死亡数の都道府県比率、 死亡場所比率で調節した補正值と、推定される95%信頼区間を示した

●全体の結果（主解析）

がん患者の遺族全体では、患者が死亡前に強い痛みを感じていたと回答した割合は28.7%であった。

●全体の考察

該当遺族が回答した痛みの主な理由は、痛みに対して医療者は何らかの対処をしたが、不十分であったからと回答した割合が28.4%と最も高かった。その他の理由には、患者の認知機能が低下していることにより痛みの評価が難しい場合や、褥瘡や骨折・腰痛などのがん以外の併存症・医療処置による痛みがある場合も含まれており、複数の要因が影響していたと考えられる（資料 p72）。

痛みは患者の療養生活の質に影響する重要な要因であるため、改善を図る必要がある。

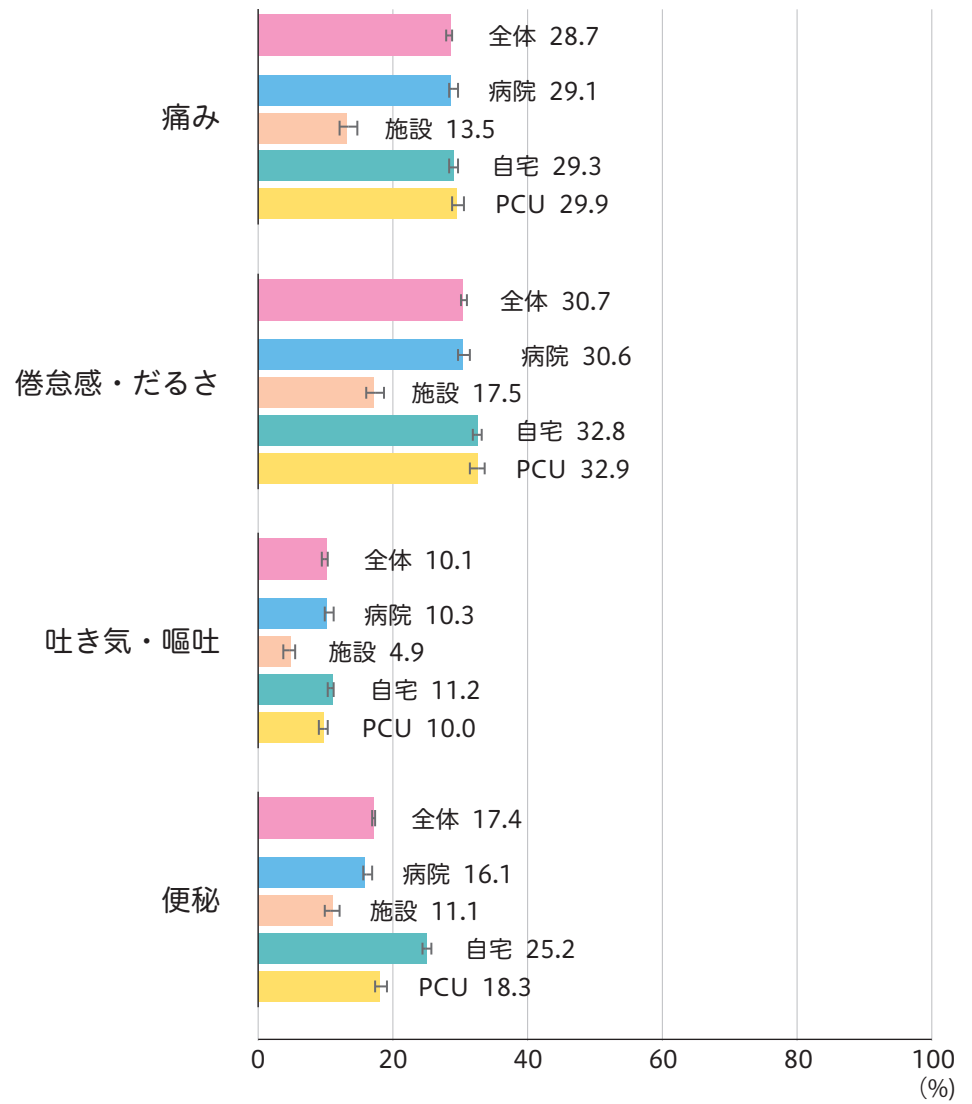
●死亡場所別の結果（副次解析）

死亡場所別のがん患者遺族では、患者が死亡前に強い痛みを感じていたと回答した割合は、病院 29.1% 施設 13.5% 自宅 29.3% PCU 29.9% であった。

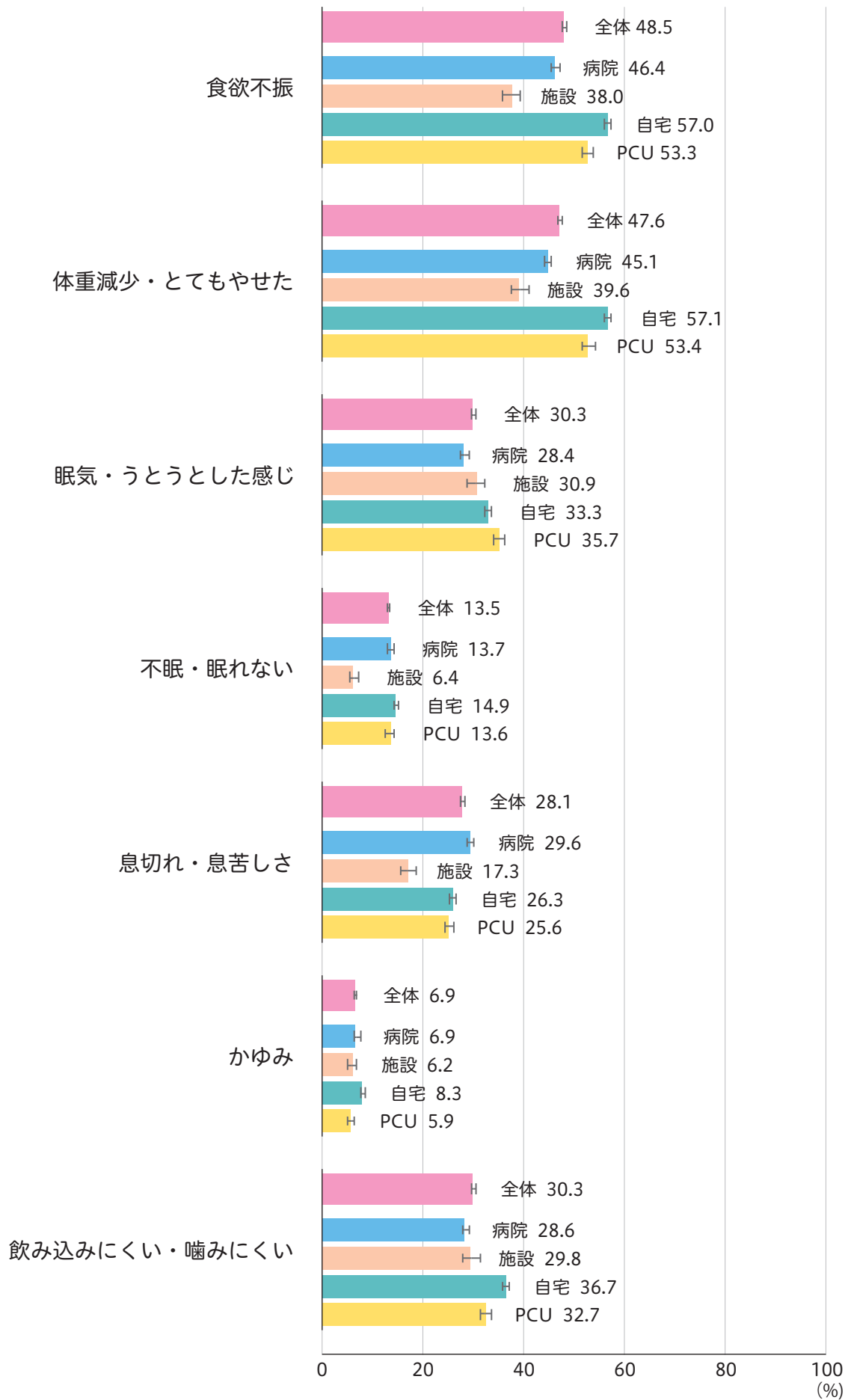
●死亡場所別の考察と留意点

施設で死亡したがん患者の遺族は、病院など他の場所で死亡したがん患者と比べて、死亡前に痛みや倦怠感、息苦しさなどの苦痛となる症状を抱えていたと回答した割合が低かった。他の場所と比べて、患者が高齢であるため、日常生活動作や認知機能の低下を併存しており、症状がはっきりと現れず非定型的となる可能性があることや、症状が比較的落ちついているため、施設での療養が可能となり、施設の利用を選択して療養していたと考えられる。

C 死亡前1週間の患者の苦痛症状



C 死亡前1週間の患者の苦痛症状



D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

<p>設問 回答選択肢</p>	<p>患者さまがお亡くなりになる1カ月前の状況についてご回答ください</p> <p>1. 患者さまがお亡くなりになる1カ月前頃までに、最期をどこで過ごすかについて、患者さまは主治医等と十分に話し合いができましたか</p> <p>回答選択肢 「1 まったくそう思わない」「2 そう思わない」「3 そう思う」「4 とてもそう思う」「5 急に亡くなったので、話し合える状況ではなかった」「6 わからない」のうち○は1つ</p> <p>2. 患者さまは主治医等と、症状が悪化して心臓や呼吸が止まった場合に備え、蘇生処置を行うかについて、十分に話し合いができましたか</p> <p>回答選択肢 「1 まったくそう思わない」「2 そう思わない」「3 そう思う」「4 とてもそう思う」「5 わからない」「6 該当しない」のうち○は1つ</p> <p>3. あなたと患者さまは、意思決定できなかった時に備えて、療養場所や蘇生処置など、どのような医療や療養を受けたいか、十分に話し合いができましたか</p> <p>回答選択肢 「1 まったくそう思わない」「2 そう思わない」「3 そう思う」「4 とてもそう思う」「5 わからない」のうち○は1つ</p> <p>4. あなたは患者さまの主治医等と、患者さまの病状が悪化して心臓や呼吸が止まった場合に備え、蘇生処置を行うかどうかについて、十分に話し合いができましたか</p> <p>回答選択肢 「1 まったくそう思わない」「2 そう思わない」「3 そう思う」「4 とてもそう思う」「5 わからない」「6 該当しない」のうち○は1つ</p>
<p>集計方法</p>	<p>「3 そう思う」「4 とてもそう思う」の合計回答割合(%)について、人口動態死亡数の都道府県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される95%信頼区間を示した</p>

●全体の結果（主解析）

がん患者の遺族全体では、患者と医師の間で最期の療養場所の希望や医療に関する話し合いがあったと回答した割合は35.7%、患者と医師の間で心肺停止時の蘇生処置の実施について話し合いがあったと回答した割合は35.1%であった。

●全体の考察

患者の意向・希望に沿った医療を提供するためには、主治医等の医療者から提供される情報に基づく患者本人による意思決定が基本となるため、改善を図る必要がある。患者と医師間で話し合いが十分にできていないことにより生じる影響を調査したうえで、具体的な対策の検討が必要である。

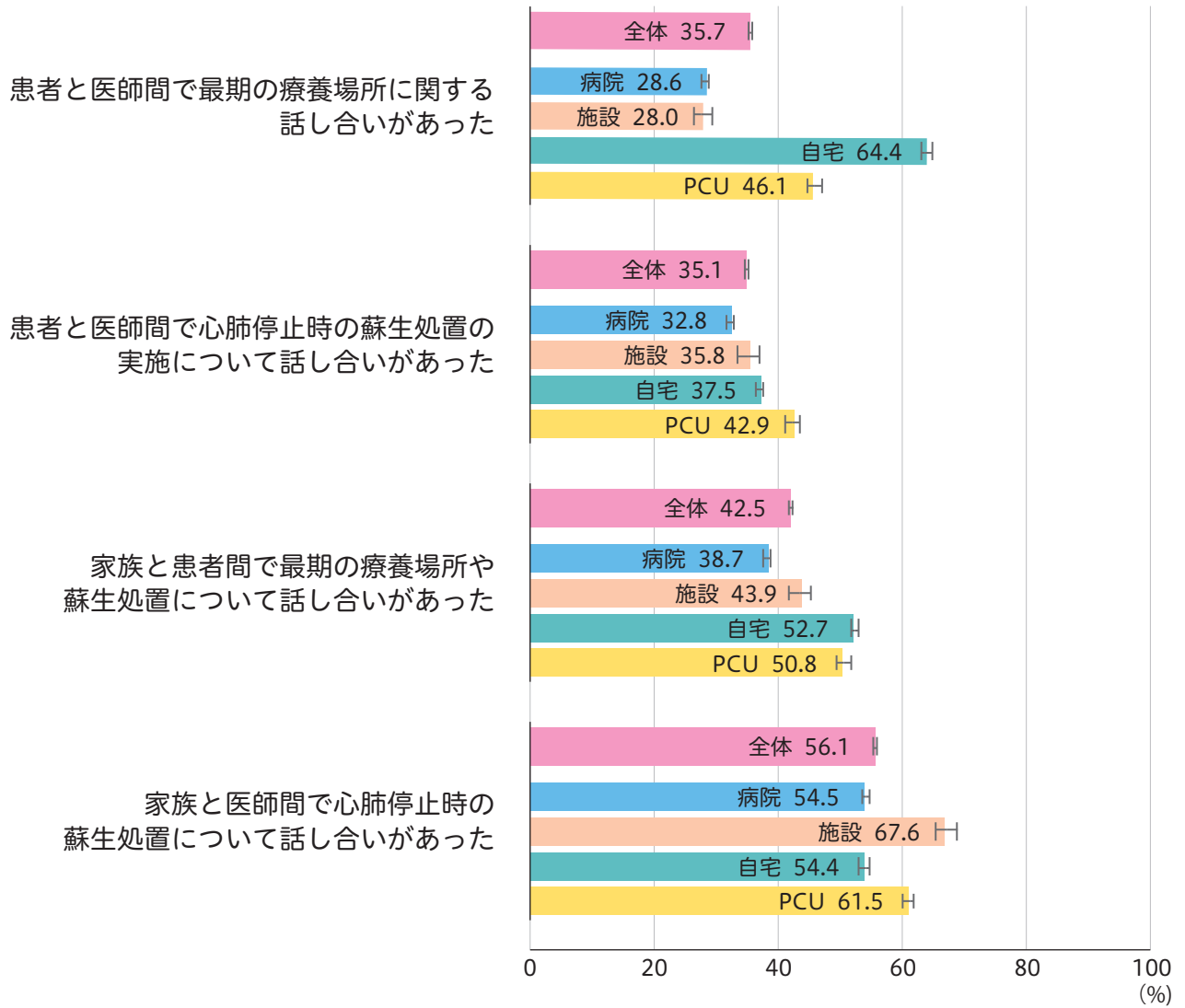
●死亡場所別の結果（副次解析）

死亡場所別のがん患者遺族では、患者と医師間で最期の療養場所の希望に関する話し合いがあったと回答した割合は、病院28.6% 施設28.0% 自宅64.4% PCU46.1%、患者と医師の間で心肺停止時の蘇生処置の実施について話し合いがあったと回答した割合は、病院32.8% 施設35.8% 自宅37.5% PCU42.9%であった。

●死亡場所別の考察と留意点

病院や施設で死亡したがん患者の遺族では、患者と医師の間で話し合いがあったと回答した割合は限られていた。他の場所と比べて、病院で死亡した患者の場合は、治癒や治療に対する希望があるため、最期の療養生活に関する話し合いに至らなかったことが考えられる。施設で死亡した患者の場合は、高齢で認知症を併存しているため、患者との話し合いが難しいことが影響したと考えられる。

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い



E 家族の介護負担感

設問	あなたの介護体験についてお伺いします。最も近い番号を1つお選びください
回答選択肢	「1 全くそう思わない」「2 そう思わない」「3 あまりそう思わない」「4 どちらともいえない」「5 ややそう思う」「6 そう思う」「7 とてもそう思う」のうち○は1つ
集計方法	「5 ややそう思う」～「7 とてもそう思う」の合計回答割合（%）について、人口動態死亡数の都道府県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される95%信頼区間を示した

●全体の結果（主解析）

がん患者の遺族全体では、介護をしたことで全般的に介護負担感が大きかったと回答した割合は38.9%であった。

●全体の考察

家族の介護負担感は決して低い割合ではなかった。介護負担は、患者の高齢化による、認知機能の低下やそれに伴う行動・心理症状などにより増加することが考えられる。今後も高齢者が増加するわが国では、介護者が必要に応じて適切な社会的支援を利用できる体制の整備を推進する必要がある。

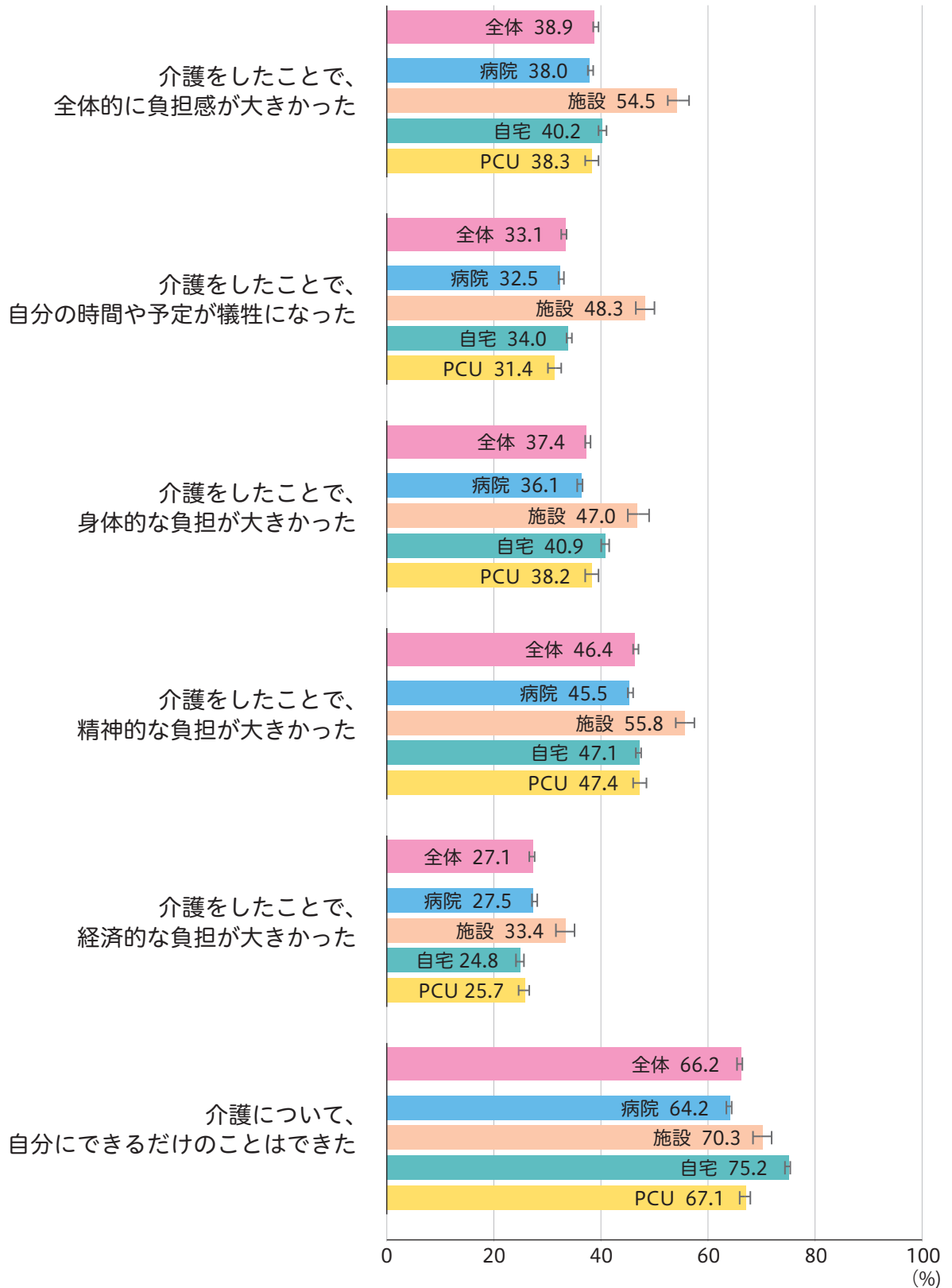
●死亡場所別の結果（副次解析）

死亡場所別のがん患者遺族では、介護をしたことで全般的に介護負担感が大きかったと回答した割合は、病院 38.0% 施設 54.5% 自宅 40.2% PCU 38.3% であった。

●死亡場所別の考察と留意点

施設で死亡したがん患者の遺族では、病院など他の場所と比べて、介護負担感が高かった。施設に患者が入所しても家族の関与が必要なことや、他の場所と比べて、患者が高齢であるため、病気の進行が比較的緩やかで療養期間が長くなる可能性があること、日常生活動作や認知機能が低下していること、主介護者が配偶者より子が多くなること、複合的な理由によって介護の負担をより感じた家族が、患者の療養場所として施設の利用を選択していることが影響したと考えられる。

E 家族の介護負担感



F 最近 2 週間の遺族の抑うつ症状

設問	あなたご自身の現在のお気持ちについてお伺いします この 2 週間に、次のような問題にどのくらい頻繁に悩まされていますか 最も近い番号を 1 つずつお選びください 1. 物事に対してほとんど興味が無い、または楽しめない 2. 気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的な気持ちになる
回答選択肢	「1 全くない (0 点)」「2 数日 (1 点)」「3 半分以上 (2 点)」「4 ほとんど毎日 (3 点)」のうち○は 1 つ
集計方法	各項目「2 数日～4 ほとんど毎日」の合計回答割合 (%) と、設問 1・2 の合計得点 3 点以上で「抑うつ症状」有りとし、該当割合について、人口動態死亡数の都道府県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される 95% 信頼区間を示した

●全体の結果（主解析）

がん患者の遺族全体では、死別後 1-2 年が経過した時点で抑うつ症状を抱えていた割合は 19.3% であった。

●全体の考察

今回の調査では、抑うつ症状は 2 項目のみで評価しているため、がん患者の遺族のおおよその割合であると理解することが望ましい。したがって、うつ病の治療を必要とする割合を直接示すものではない。死別後遺族の有症率としては、類似の調査と比べて高い割合ではないが、治療を必要とする遺族が少なからず存在する可能性があるため、死別後の遺族への配慮が必要である。

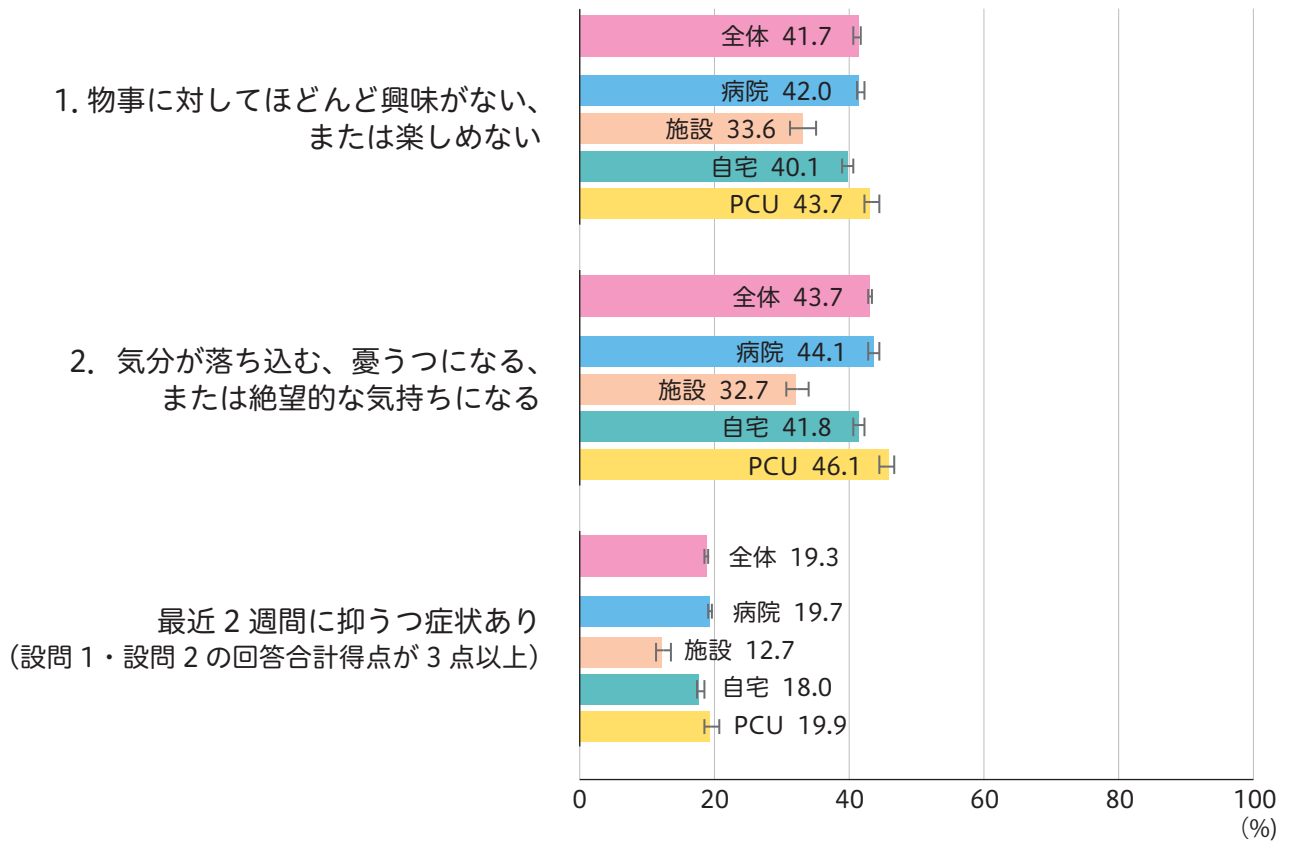
●死亡場所別の結果（副次解析）

死亡場所別のがん患者の遺族では、死別後 1-2 年が経過した時点で抑うつ症状を抱えていた割合は、病院 19.7% 施設 12.7% 自宅 18.0% PCU 19.9% であった。

●死亡場所別の考察と留意点

がん患者の遺族では、どの療養場所でも死別後 1-2 年が経過した時点で抑うつ症状を抱えていた割合は 19.9% 以下であり、療養場所に依らず、高い割合ではなかった。

F 最近2週間の遺族の抑うつ症状



G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆

設問	お亡くなりになられた患者さまに対する、あなたのお気持ちについてお伺いします 1.この1カ月間に、亡くなった方を慕い、会いたいと思いがれることがどのくらいありましたか 2.この1カ月間に、亡くなった方との関係が失われたことにまつわる心の痛みや、悲哀、悲しみが急にこみ上げるなどの強い感情を体験することがどのくらいありましたか
回答選択肢	「1 全くなかった」「2 少なくとも1回はあった」「3 少なくとも週に1回はあった」 「4 少なくとも1日に1回はあった」「5 1日に数回あった」のうち○は1つ
集計方法	各項目「4 少なくとも1日に1回はあった」「5 1日に数回あった」の合計回答割合（%）と、設問1・2のうち、いずれかの回答が4以上で「強い悲嘆」有りとし、その割合について、人口動態死亡数の都道府県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される95%信頼区間を示した

●全体の結果（主解析）

がん患者の遺族全体では、死別後1-2年が経過した時点で強い悲嘆を抱えていた割合は30.9%であった。

●全体の考察

今回の調査では、長引く悲嘆症状は2項目のみで評価しているため、がん患者遺族のおおよその割合であると理解することが望ましい。悲嘆の多くは正常な反応で、反応の長さや強さは個人差がある。悲嘆が長引く要因には、配偶者などの故人との関係性の深さ、突然死など死別の状況に加え、遺族自身の健康状態や過去の喪失経験などがある。

死別後遺族の有症率としては類似の調査と比べて低い割合ではなく、死別後に強い悲嘆を抱えている遺族は一定数存在する可能性がある。また、抑うつ症状を伴う場合もあるため、死別後の遺族への配慮とともに、遺族が必要に応じて専門的な支援を利用できる体制の整備が必要である。

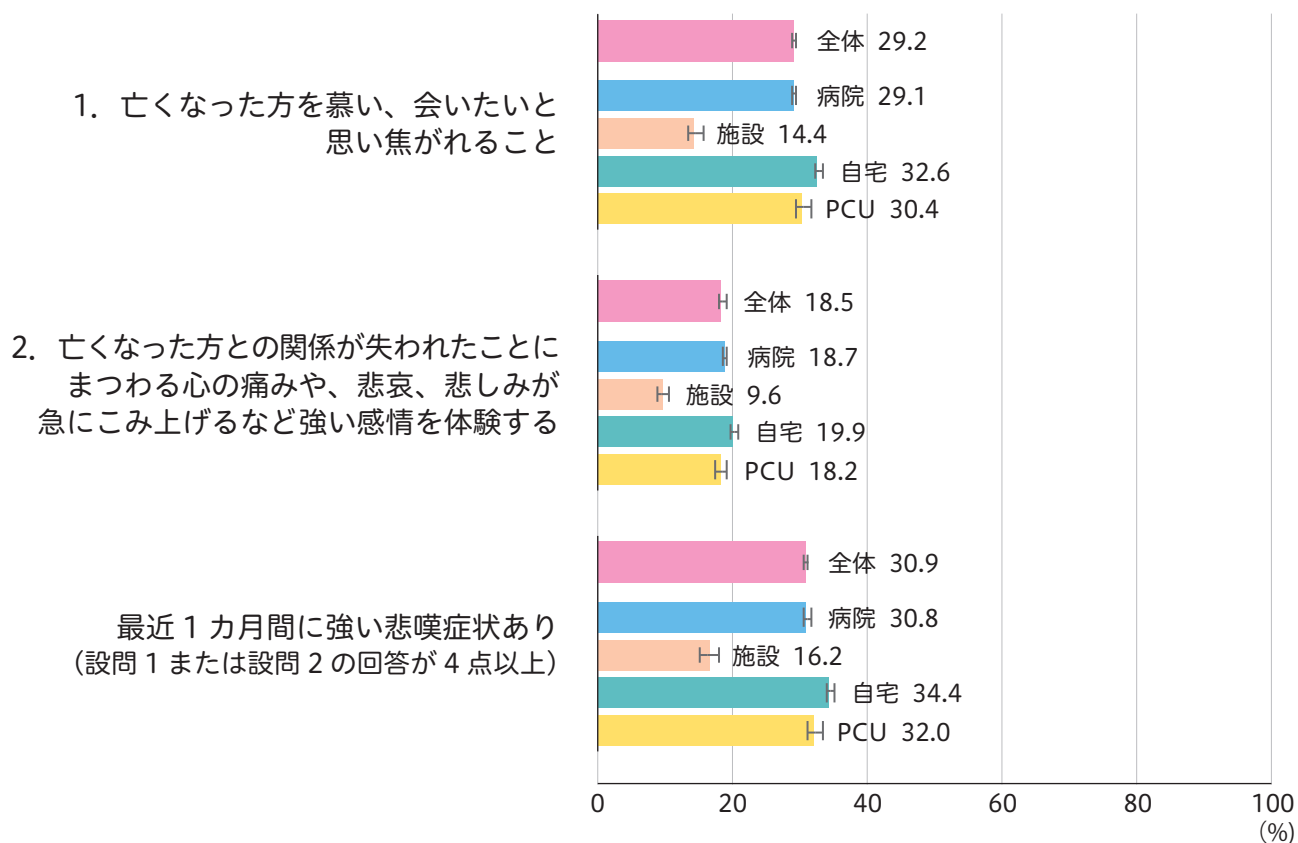
●死亡場所別の結果（副次解析）

死亡場所別のがん患者遺族では、死別後1-2年が経過した時点で強い悲嘆を抱えていた割合は、病院30.8% 施設16.2% 自宅34.4% PCU32.0%であった。

●死亡場所別の考察と留意点

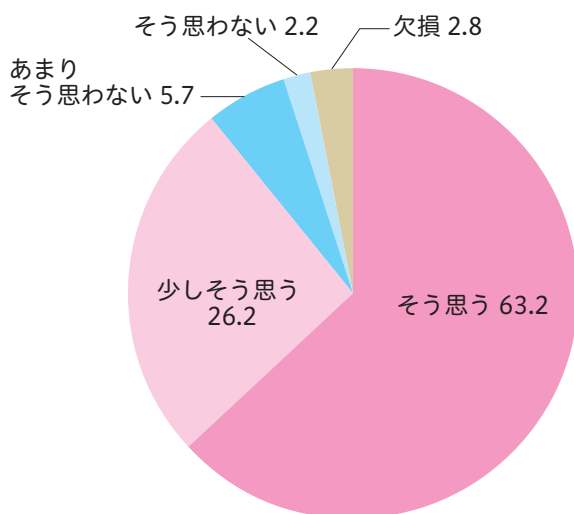
施設で死亡したがん患者の遺族では、他の場所と比べて、死別後1-2年が経過した時点で強い悲嘆を抱えていた割合が低かった。施設で死亡したがん患者が高齢であるため、遺族の続柄に子が多いことが影響したと考えられる。

G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆

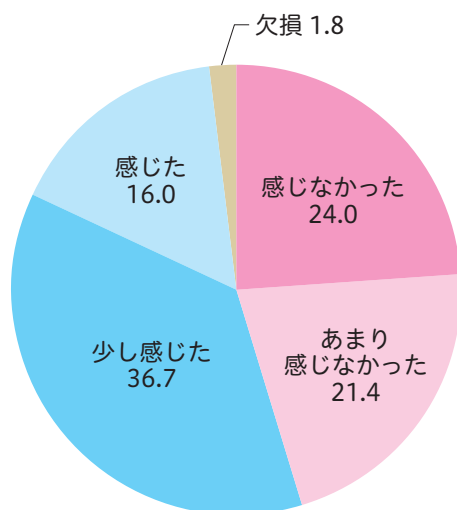


5) 調査の感想

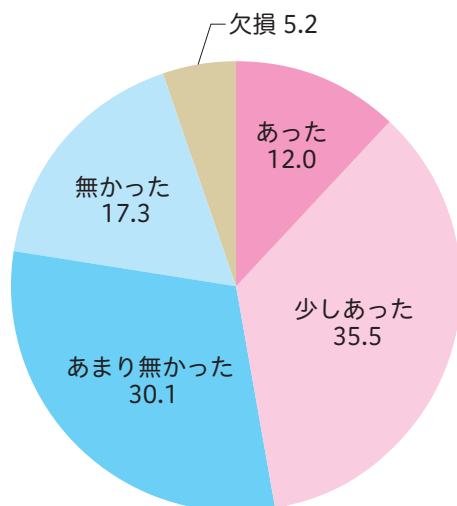
1) このようなアンケートを行い、医療を改善していくことは良いことだと思いますか



2) このアンケートに回答されて、つらいと感じましたか



3) このアンケートに回答して、自分にとってよかったと思われることはありましたか



2 一般病院・がん診療連携拠点病院別

一般病院・がん診療連携拠点病院別の集計結果を示す。死亡場所が PCU と推定される回答は除いて集計した。

1) 回答数

有効回答数は一般病院 17,058 名、がん診療連携拠点病院 8,378 名であった。

2) 回答者特性

①患者特性

患者特性は、表 5 一般病院・がん診療連携拠点病院別 患者特性 に示す。

- ・一般病院・がん診療連携拠点病院別のがん患者の死亡時の年齢は、80 歳以上の割合が一般病院 57.8% がん診療連携拠点病院 32.7% であった。
- ・一般病院・がん診療連携拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、患者が死亡前 1 カ月間で日常生活動作に何らの介助が必要だったと回答した割合は、一般病院 77.4% がん診療連携拠点病院 63.1%、患者が認知症を併存していたと回答した割合は、一般病院 16.1% がん診療連携拠点病院 4.9% であった。

②遺族特性

回答遺族の特性は、表 6 一般病院・がん診療連携拠点病院別 遺族特性 に示す。

調査に回答した遺族の続柄は、配偶者の割合が一般病院 38.0% がん診療連携拠点病院 53.5% であり、子の割合が一般病院 43.9% がん診療連携拠点病院 31.9% であった。

3) 回答結果

評価項目ごとに一般病院・がん診療連携拠点病院別の回答割合を示す。

《一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果を解釈するうえでの留意点》

- 一般病院は、一般病床だけでなく療養病床を有する病院も含まれることに注意する。
- 一般病院で死亡したがん患者は、がん診療連携拠点病院と比べて患者が高齢であるため、積極的治療や通院による負担を避け、近隣の一般病院を選択して療養している可能性がある。
- 調査に回答した遺族の続柄は、一般病院で死亡したがん患者の遺族は、がん診療連携拠点病院と比べて子が多くなった。一般病院で死亡した患者の死亡時の年齢で 80 歳以上の割合が高いためと考えられる。

表5 一般病院・がん診療連携拠点病院別 患者特性

患者	一般病院 (n=17058)		拠点病院 (n=8378)	
	No	%	No	%
性別*				
男性	10172	59.6	5394	64.4
女性	6886	40.4	2984	35.6
年齢* 平均値, 標準偏差				
20-30代	33	0.2	71	0.9
40-50代	679	4.0	822	9.8
60-70代	6479	38.0	4750	56.7
80代以上	9867	57.8	2735	32.7
地域*				
北海道・東北	2501	14.7	1677	20.0
中部	3414	20.0	1948	23.3
関西	2369	13.9	1098	13.1
中国・四国	3359	19.7	1637	19.5
九州	2893	17.0	847	10.1
関東	2522	14.8	1171	14.0
がん種*				
上部消化管	2613	15.3	1130	13.5
下部消化管	2372	13.9	838	10.0
肝胆膵	3928	23.0	1780	21.3
乳房	503	3.0	269	3.2
婦人科	319	1.9	253	3.0
泌尿器	1120	6.6	372	4.4
血液	1233	7.2	1011	12.1
その他	1685	9.9	911	10.9
肺	3285	19.3	1814	21.7
同居者の有無				
欠損	310	1.8	122	1.5
有	14170	83.1	7521	89.8
無	2578	15.1	735	8.8
診断から亡くなるまでの期間				
欠損, わからない	441	2.6	154	1.8
1週間以内	520	3.1	295	3.5
1年以内	9234	54.1	4210	50.3
1年より長い	6863	40.2	3719	44.4
亡くなる1カ月前のADL				
欠損, わからない	234	1.4	100	1.2
自立	3616	21.2	2988	35.7
一部介助	5492	32.2	3042	36.3
ほぼ全介助	7716	45.2	2248	26.8
亡くなる1カ月前の意思伝達能力				
欠損	132	0.8	46	0.6
問題なし	8794	51.6	5786	69.1
困難はあるが伝えられた	5480	32.1	1994	23.8
ほとんど伝えられない	1635	9.6	351	4.2
全く伝えられない	942	5.5	166	2.0
わからない	75	0.4	35	0.4

*厚生労働省人口動態調査死亡票情報から再集計した
拠点病院：がん診療連携拠点病院

患者	一般病院 (n=17058)		拠点病院 (n=8378)	
	No	%	No	%
認知症の診断歴				
欠損, わからない	627	3.7	165	2.0
有	2754	16.1	414	4.9
無	13677	80.2	7799	93.1
亡くなる3カ月前の食事摂取量				
欠損, わからない	467	2.7	128	1.5
いつも通り	3679	21.6	2337	27.9
少し減少していた(数口より多い)	6315	37.0	3300	39.4
減少していた(数口程度)	4908	28.8	2093	25.0
食べられない	1689	9.9	520	6.2
亡くなる前1カ月間の救急搬送				
欠損, わからない	482	2.8	158	1.9
ない	13162	77.2	6179	73.8
1回	2875	16.9	1777	21.2
2回以上	539	3.2	264	3.2
死亡前1カ月間で最も長く過ごした場所				
欠損, わからない	396	2.3	202	2.4
自宅	3962	23.2	2962	35.4
病院	10805	63.3	4686	55.9
ホスピス・PCU	1023	6.0	362	4.3
介護施設・老人ホーム	799	4.7	149	1.8
そのほかの場所	73	0.4	17	0.2
医療・介護費用総額/月				
欠損, わからない	1840	10.8	1061	12.7
<10万	3555	20.8	1632	19.5
<20万	5949	34.9	2484	29.7
<40万	4143	24.3	2138	25.5
<60万	1073	6.3	675	8.1
≧60万	498	2.9	388	4.6
世帯収入額/年				
欠損, わからない	1830	10.7	897	10.7
<100万	1622	9.5	631	7.5
<200万	3408	20.0	1375	16.4
<400万	6222	36.5	3167	37.8
<600万	2142	12.6	1224	14.6
<800万	1007	5.9	584	7.0
≧800万	827	4.9	500	6.0

表 6 一般病院・がん診療連携拠点病院別 遺族特性

遺族	一般病院 (n=17058)		拠点病院 (n=8378)	
	No	%	No	%
性別				
欠損	221	1.3	100	1.2
男性	6364	37.3	2840	33.9
女性	10473	61.4	5438	64.9
年齢 平均値, 標準偏差				
欠損	249	1.5	106	1.3
20-30代	341	2.0	255	3.0
40-50代	4828	28.3	2557	30.5
60-70代	9665	56.7	4712	56.2
80代以上	1975	11.6	748	8.9
続柄				
欠損	243	1.4	114	1.4
配偶者	6480	38.0	4485	53.5
子	7496	43.9	2676	31.9
嫁・婿	1519	8.9	539	6.4
親	374	2.2	196	2.3
その他	946	5.6	368	4.4
介護時の就労状況				
欠損	441	2.6	190	2.3
無職	7717	45.2	3817	45.6
辞職	841	4.9	434	5.2
休暇取得	985	5.8	805	9.6
パートタイム	1968	11.5	929	11.1
フルタイム	5106	29.9	2203	26.3
介護していた時間				
欠損	379	2.2	170	2.0
付き添っていない	1763	10.3	667	8.0
週 1-3 日	3107	18.2	1097	13.1
週 4-6 日	2262	13.3	1032	12.3
毎日	9547	56.0	5412	64.6
家族の身体の状態				
欠損	244	1.4	120	1.4
非常によくなかった, よくなかった	3055	17.9	1458	17.4
まあまあだった, よかった	13759	80.7	6800	81.2
患者とお互いの気持ちを理解できる関係だった				
欠損	284	1.7	135	1.6
そう思わない, あまりそう思わない	1746	10.2	694	8.3
ややそう思う, そう思う	15028	88.1	7549	90.1

A-1 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス

設問	患者さまがお亡くなりになった場所で受けた医療・ケアについてお伺いします お亡くなりになる前の状況について、最も近い番号を1つずつお選びください
回答選択肢	「1 全くそう思わない」「2 そう思わない」「3 あまりそう思わない」「4 ややそう思う」「5 そう思う」 「6 非常にそう思う」「0 わからない」のうち○は1つ
集計方法	「4 ややそう思う」～「6 非常にそう思う」の合計回答割合（%）について、粗集計値と推定される 95% 信頼区間を示した

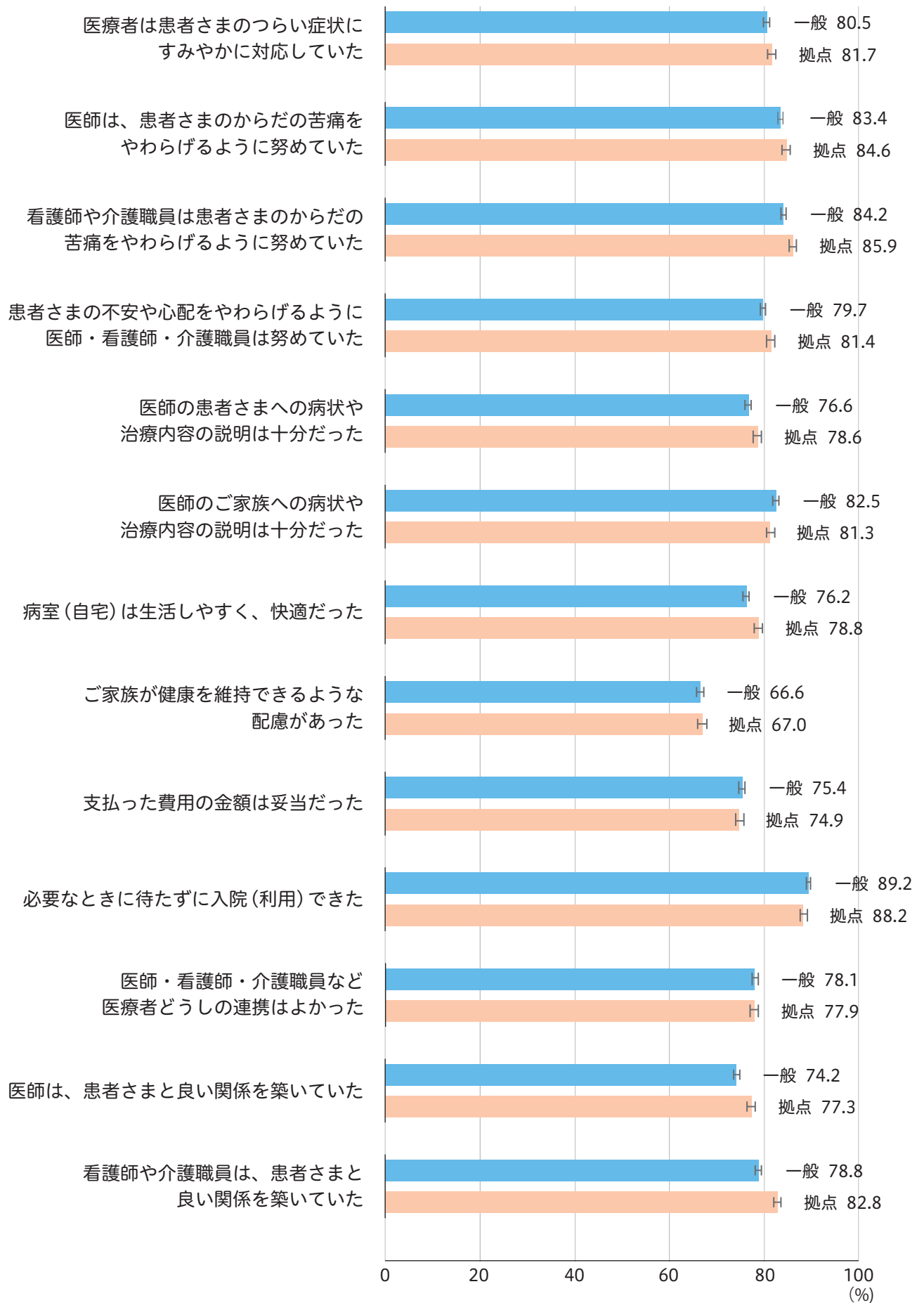
●一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果（副次解析）

一般病院・がん診療連携拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、医療者は患者のつらい症状にすみやかに対応していたと回答していた割合は、一般病院 80.5% がん診療連携拠点病院 81.7%、患者さまの不安や心配をやわらげるように、医師、看護師、介護職員は努めていたと回答していた割合は、一般病院 79.7% がん診療連携拠点病院 81.4% であった。

●一般病院・がん診療連携拠点病院別の考察と留意点

一般病院・がん診療連携拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、いずれも医療者の評価は概ね良好であると考えられる。

A-1 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス



A-2 死亡場所で受けた医療に対する全般的満足度

設問	お亡くなりになった場所で受けた医療は全般的に満足でしたか
回答選択肢	「1 非常に不満足」「2 不満足」「3 やや不満足」「4 やや満足」「5 満足」 「6 非常に満足」「7 わからない」のうち○は1つ
集計方法	「4 やや満足」～「6 非常に満足」の合計回答割合（%）について、粗集計値と推定される95%信頼区間を示した

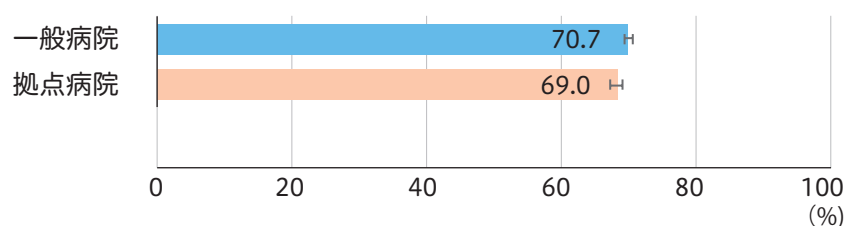
●一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果（副次解析）

一般病院・がん診療連携拠点病院別のがん患者の遺族では、死亡場所で患者が受けた医療に対して全般的に満足していたと回答した割合は、一般病院 70.7% がん診療連携拠点病院 69.0% であった。

●一般病院・がん診療連携拠点病院別の考察と留意点

一般病院・がん診療連携拠点病院で死亡したがん患者遺族では、医療に対する全般的な満足度に大きな違いはなかった。

A-2 死亡場所で受けた医療に対する全般的満足度



B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質

設問	療養生活について、患者さまはどのように感じていたと思いますか お亡くなりになる前の1カ月間の状況について、最も近い番号を1つずつお選びください
回答選択肢	「1 全くそう思わない」「2 そう思わない」「3 あまりそう思わない」「4 どちらともいえない」「5 ややそう思う」「6 そう思う」「7 とてもそう思う」「0 わからない」のうち○は1つ
集計方法	「5 ややそう思う」～「7 とてもそう思う」の合計回答割合（%）について、粗集計値と推定される95%信頼区間を示した

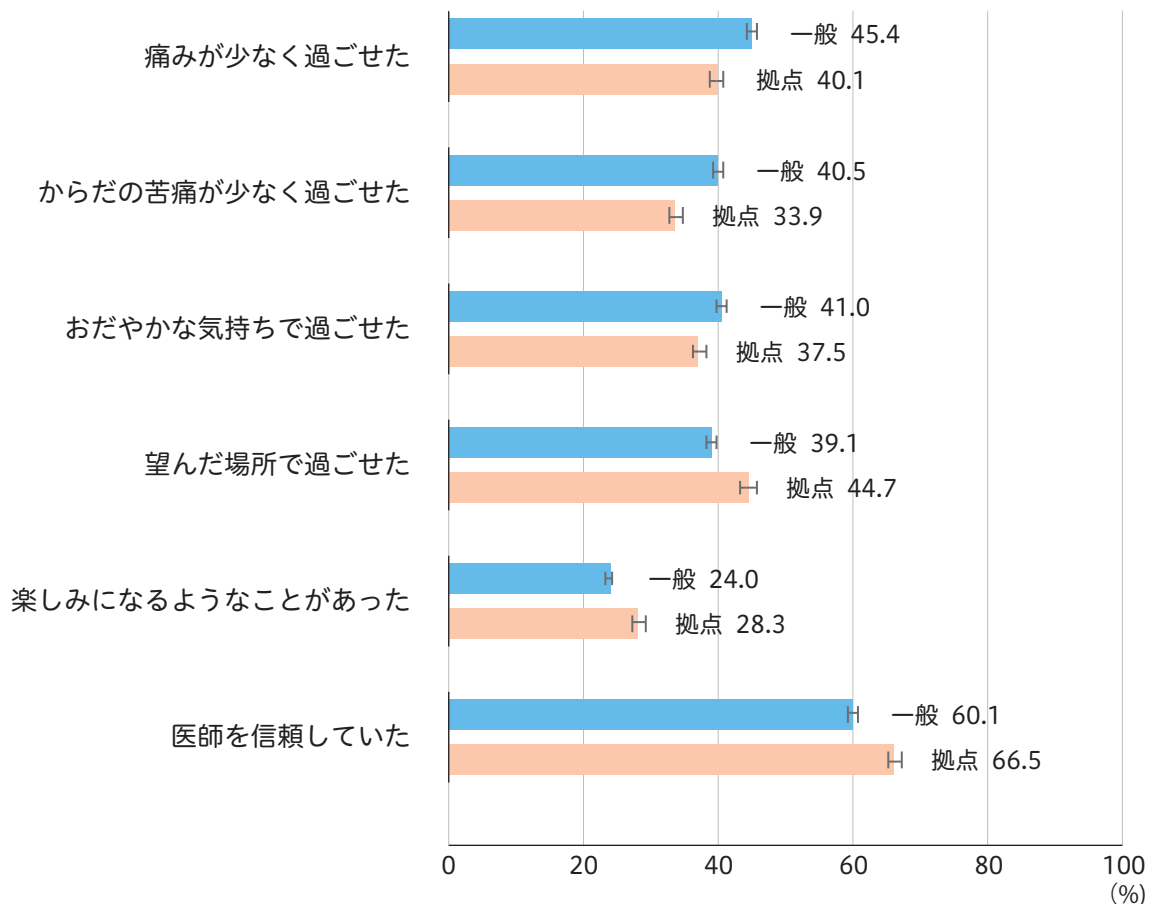
●一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果（副次解析）

一般病院・がん診療連携拠点病院別のがん患者遺族の回答割合は、痛みが少なく過ごせた 一般病院 45.4% がん診療連携拠点病院 40.1%、からだの苦痛が少なく過ごせた 一般病院 40.5% がん診療連携拠点病院 33.9%、おだやかな気持ちで過ごせた 一般病院 41.0% がん診療連携拠点病院 37.5%、望んだ場所で過ごせた 一般病院 39.1% がん診療連携拠点病院 44.7% であった。

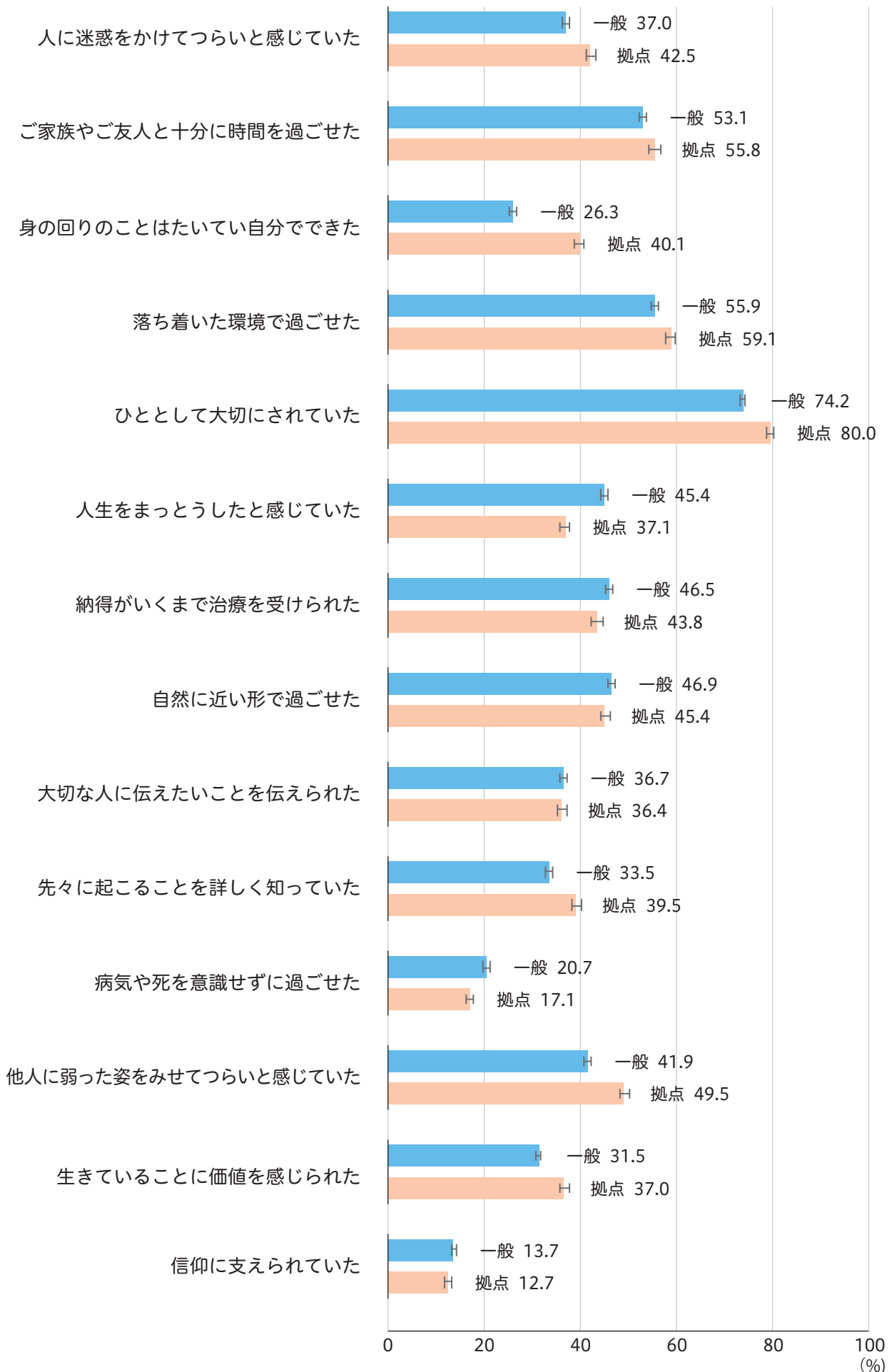
●一般病院・がん診療連携拠点病院別の考察と留意点

がん診療連携拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、一般病院で死亡したがん患者と比べて、死亡前に痛みや倦怠感、息苦しさなどの苦痛となる症状を抱えていたと回答した割合が高かった。一般病院と比べて、患者が若年であるため、積極的な治療を希望することによって、治療や処置に伴う避けられない苦痛をより感じていた可能性がある。

B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質



B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質



C 死亡前1週間の患者の苦痛症状

設問	患者さまは療養中の苦痛症状について、どのように感じていたと思いますか お亡くなりになる前の1週間の状況について、最も近い番号を1つずつお選びください
回答選択肢	「0 わからない」「1 症状はなかった」「2 少し」「3 まあまあ」「4 ひどい」「5 とてもひどい」のうち ○は1つ
集計方法	「4 ひどい」「5 とてもひどい」の合計回答割合（%）について、粗集計値と推定される95%信頼区 間を示した

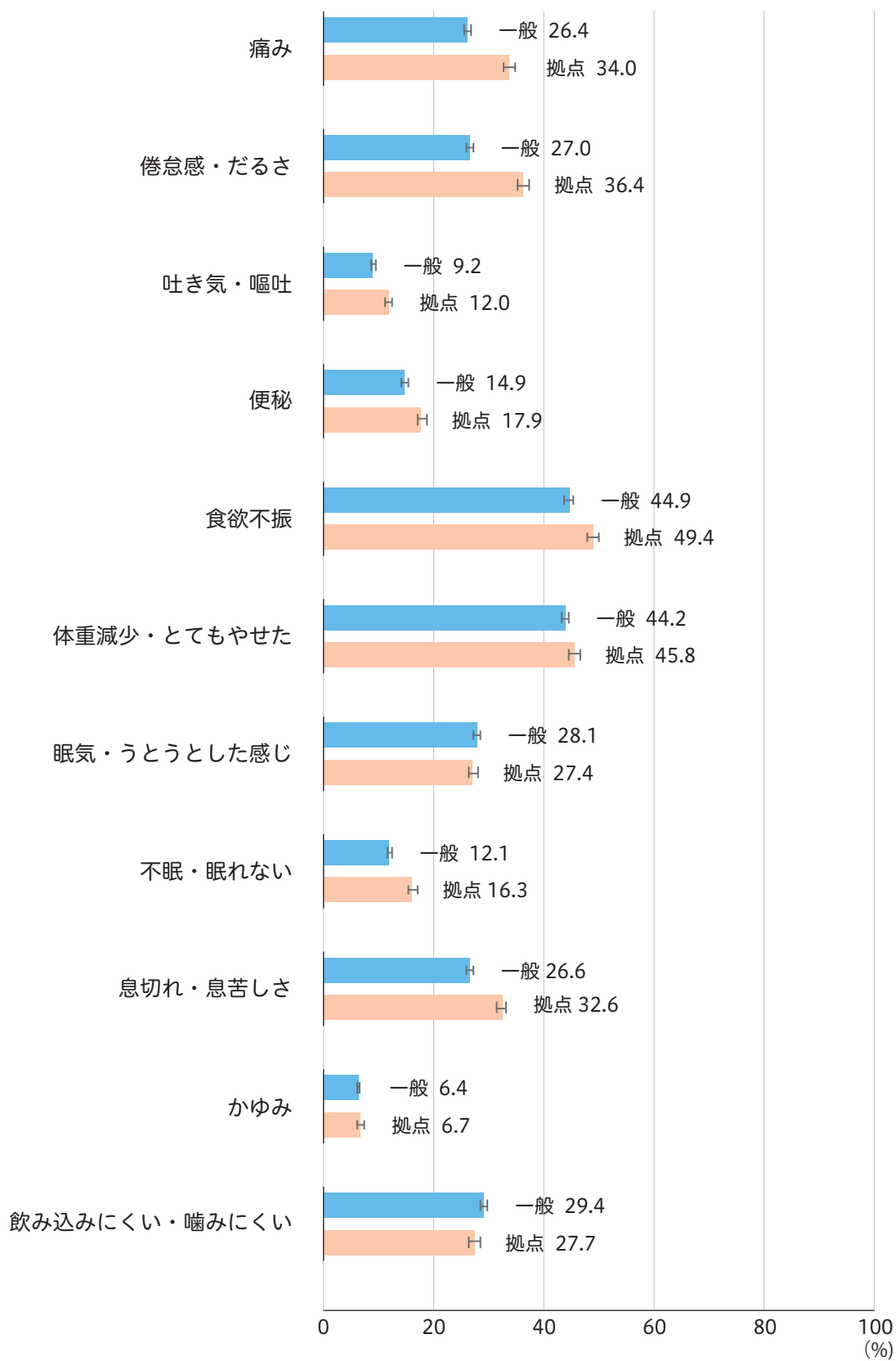
●一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果（副次解析）

一般病院・がん診療連携拠点病院別のがん患者遺族では、患者が死亡前に強い痛みを感じていたと回答した割合は、一般病院 26.4% がん診療連携拠点病院 34.0% であった。

●一般病院・がん診療連携拠点病院別の考察と留意点

がん診療連携拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、一般病院で死亡したがん患者と比べて、死亡前に痛みや倦怠感、息苦しさなどの苦痛となる症状を抱えていたと回答した割合が高かった。一般病院と比べて、患者の症状が重いため、がん診療連携拠点病院から他の療養場所に移ることが難しいことが影響したと考えられる。

C 死亡前1週間の患者の苦痛症状



D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

<p>設問 回答選択肢</p>	<p>患者さまがお亡くなりになる 1 カ月前の状況についてご回答ください</p> <p>1. 患者さまがお亡くなりになる 1 カ月前頃までに、最期をどこで過ごすかについて、患者さまは主治医等と十分に話し合いができましたか</p> <p>回答選択肢</p> <p>「1 まったくそう思わない」「2 そう思わない」「3 そう思う」「4 とてもそう思う」「5 急に亡くなったので、話し合える状況ではなかった」「6 わからない」のうち○は1つ</p> <p>2. 患者さまは主治医等と、症状が悪化して心臓や呼吸が止まった場合に備え、蘇生処置を行うかについて、十分に話し合いができましたか</p> <p>回答選択肢</p> <p>「1 まったくそう思わない」「2 そう思わない」「3 そう思う」「4 とてもそう思う」「5 わからない」「6 該当しない」のうち○は1つ</p> <p>3. あなたと患者さまは、意思決定できなかった時に備えて、療養場所や蘇生処置など、どのような医療や療養を受けたいか、十分に話し合いができましたか</p> <p>回答選択肢</p> <p>「1 まったくそう思わない」「2 そう思わない」「3 そう思う」「4 とてもそう思う」「5 わからない」のうち○は1つ</p> <p>4. あなたは患者さまの主治医等と、患者さまの病状が悪化して心臓や呼吸が止まった場合に備え、蘇生処置を行うかどうかについて、十分に話し合いができましたか</p> <p>回答選択肢</p> <p>「1 まったくそう思わない」「2 そう思わない」「3 そう思う」「4 とてもそう思う」「5 わからない」「6 該当しない」のうち○は1つ</p>
<p>集計方法</p>	<p>「3 そう思う」「4 とてもそう思う」の合計回答割合 (%) について、人口動態死亡数の都道府県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される 95% 信頼区間を示した</p>

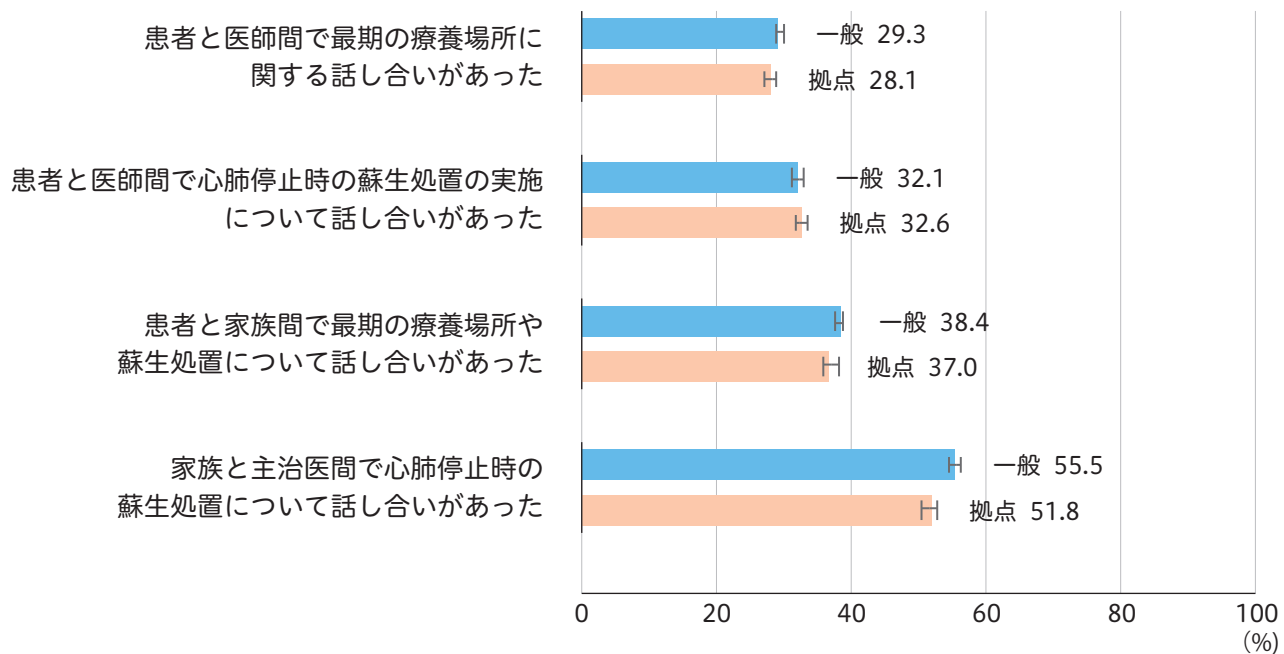
●一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果（副次解析）

一般病院・がん診療連携拠点病院別のがん患者の遺族では、患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあったと回答した割合は、一般病院 29.3%、がん診療連携拠点病院 28.1%、患者と医師の間で心肺停止時の蘇生処置の実施について話し合いがあったと回答した割合は、一般病院 32.1%、がん診療連携拠点病院 32.6% であった。

●一般病院・がん診療連携拠点病院別の考察と留意点

一般病院・がん診療連携拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、患者と医師の間で話し合いがあったと回答した割合は、いずれも低かった。

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い



E 家族の介護負担感

設問	あなたの介護体験についてお伺いします。最も近い番号を1つお選びください
回答選択肢	「1 全くそう思わない」「2 そう思わない」「3 あまりそう思わない」「4 どちらともいえない」「5 ややそう思う」「6 そう思う」「7 とてもそう思う」のうち○は1つ
集計方法	「5 ややそう思う」～「7 とてもそう思う」の合計回答割合（%）について、粗集計値と推定される95%信頼区間を示した

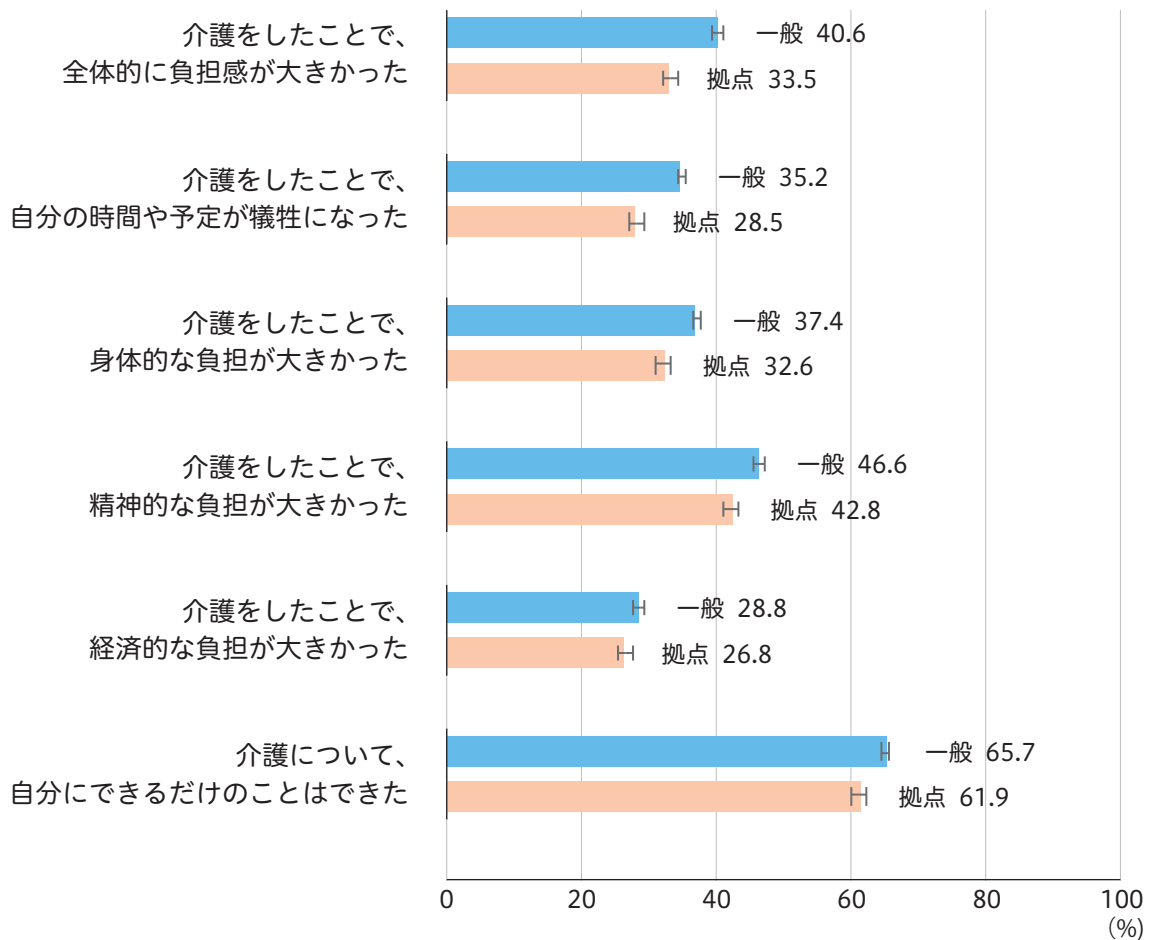
●一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果（副次解析）

一般病院・がん診療連携拠点病院別のがん患者遺族では、介護をしたことで全体的に負担感が大きかったと回答した割合は、一般病院 40.6% がん診療連携拠点病院 33.5% であった。

●一般病院・がん診療連携拠点病院別の考察と留意点

一般病院で死亡したがん患者の遺族では、がん診療連携拠点病院で死亡したがん患者と比べて、介護負担感がやや高かった。がん診療連携拠点病院と比べて、患者が高齢であるため、日常生活動作や認知機能の低下を併存しており、介護の負担が大きかったことに加えて、病状に不安を感じた家族が、患者の療養場所として一般病院の利用を選択していることが影響したと考えられる。

E 家族の介護負担感



F 最近2週間の遺族の抑うつ症状

設問	あなたご自身の現在のお気持ちについてお伺いします この2週間に、次のような問題にどのくらい頻繁に悩まされていますか 最も近い番号を1つずつお選びください 1. 物事に対してほとんど興味がない、または楽しめない 2. 気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的な気持ちになる
回答選択肢	「1 全くない (0点)」「2 数日 (1点)」「3 半分以上 (2点)」「4 ほとんど毎日 (3点)」のうち ○は1つ
集計方法	各項目「2 数日～4 ほとんど毎日」の合計回答割合 (%) と、設問1・2の合計得点3点以上で「抑うつ症状」有りとし、該当割合について、人口動態死亡数の都道府県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される95%信頼区間を示した

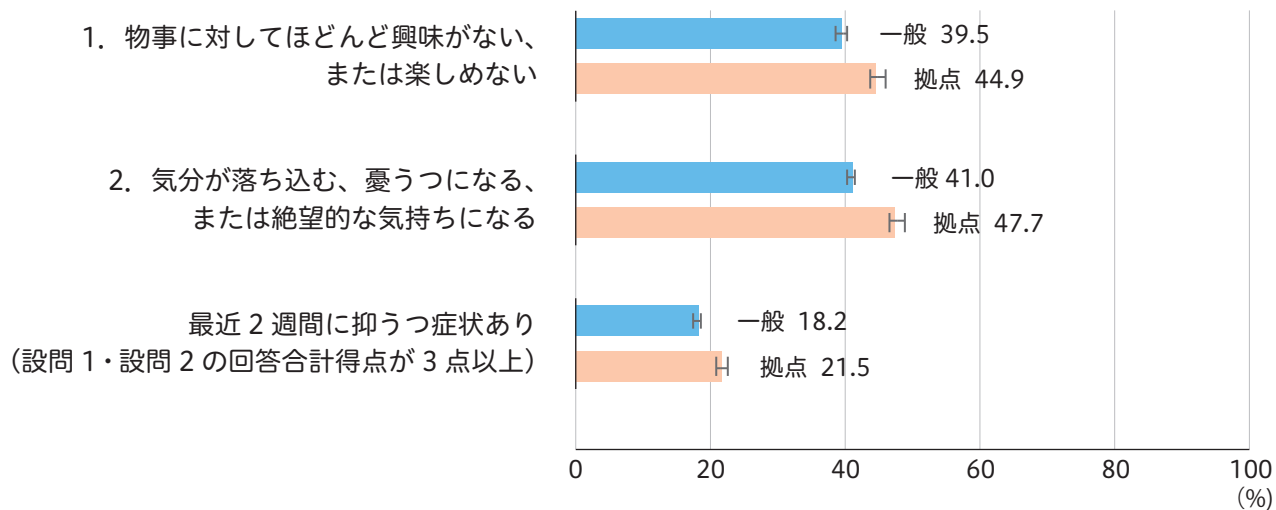
●一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果（副次解析）

一般病院・がん診療連携拠点病院別のがん患者遺族では、死別後1-2年が経過した時点で抑うつ症状を抱えていた割合は、一般病院18.2%、がん診療連携拠点病院21.5%であった。

●一般病院・がん診療連携拠点病院別の考察と留意点

一般病院・がん診療連携拠点病院のがん患者遺族では、死別後1-2年が経過した時点で抑うつ症状を抱えていた割合は、いずれも高くなかった。

F 最近2週間の遺族の抑うつ症状



G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆

設問	お亡くなりになられた患者さまに対する、あなたのお気持ちについてお伺いします 1. この1カ月間に、亡くなった方を慕い、会いたいと思いがれることがどのくらいありましたか 2. この1カ月間に、亡くなった方との関係が失われたことにまつわる心の痛みや、悲哀、悲しみが急にこみ上げるなどの強い感情を体験することがどのくらいありましたか
回答選択肢	「1 全くなかった」「2 少なくとも1回はあった」「3 少なくとも週に1回はあった」 「4 少なくとも1日に1回はあった」「5 1日に数回あった」のうち○は1つ
集計方法	各項目「4 少なくとも1日に1回はあった」「5 1日に数回あった」の合計回答割合(%)と、設問1・2のうち、いずれかの回答が4以上で「長引く悲嘆」有りとし、その割合について、人口動態死亡数の都道府県比率、死亡場所比率で調節した補正值と、推定される95%信頼区間を示した

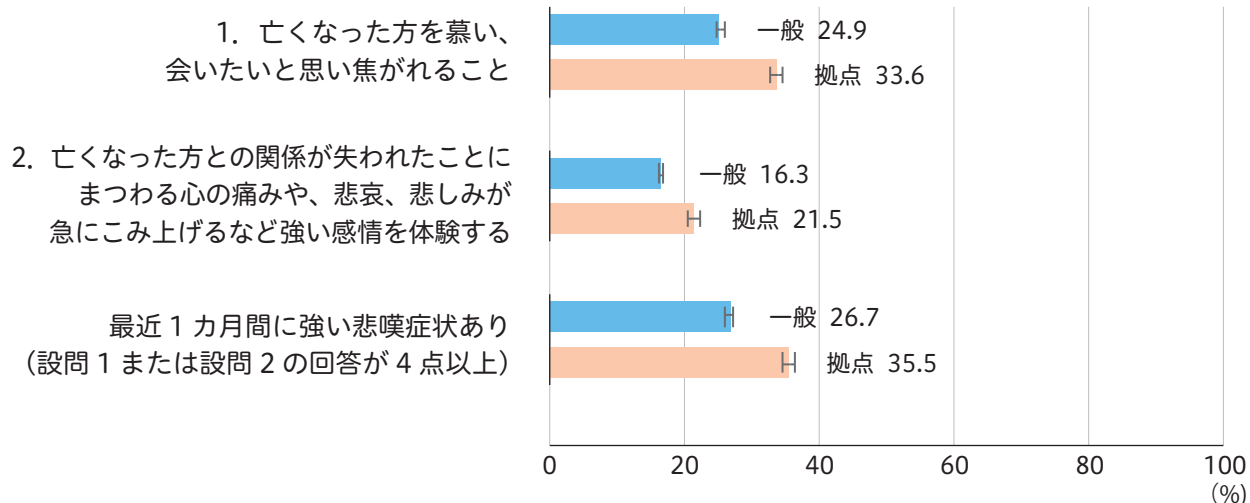
●一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果（副次解析）

一般病院・がん診療連携拠点病院別のがん患者遺族では、死別後1-2年が経過した時点で強い悲嘆症状を抱えていた割合は、一般病院 26.7% がん診療連携拠点病院 35.5% であった。

●一般病院・がん診療連携拠点病院別の考察と留意点

がん診療連携拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、一般病院で死亡したがん患者の遺族と比べて、強い悲嘆症状を抱えていた割合が高かった。一般病院と比べて患者がやや若年であるため、遺族の続柄に配偶者が多いことが影響したと考えられる。

G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆



Ⅲ 考察のまとめ

本調査は、わが国のがん患者が人生の最終段階の療養生活をどのように過ごしたか、その全体像を記述したものである。本結果は全体を重視して解釈すべきものであり、最期の療養場所として、どこで死亡することが良い・悪いと単純に比較・判断することは困難である。例えば「介護施設で死亡した患者は、もともと痛みなどの症状が少なかったので、医学的な介入を必要とせず入院することがなかった」など、療養場所によって患者のももとの病状が異なる。したがって、療養場所の違いを考察する際には病状や本人の治療への希望などに留意し、注意深く考察することが必要となる。

本考察では、結果で記述した内容の繰り返しになるが、全体の結果から見たわが国の現状を述べるとともに、最期の療養場所別の結果を解釈するうえで留意すべき、結果に影響する患者や家族の背景について、考えられる要因等をまとめて記述する。

1 全体の結果から見た人生の最終段階の療養生活の現状

患者・遺族の背景の全体像

- がん患者全体では、死亡時の年齢は 80 歳以上の割合が 50.2% であり、半数以上を占めていた。
- がん患者の遺族全体では、患者ががんと診断されてから亡くなるまでの期間は 1 年以内と回答した割合は 52.6% であった。
- がん患者の遺族全体では、患者が死亡前 1 カ月間で日常生活動作に何らの介助が必要だったと回答した割合は 78.4%、患者が認知症を併存していたと回答した割合は 13.3% であった。
- がん患者の遺族全体では、患者が希望する最期の療養場所として自宅を希望していたと回答した割合が 56.6% と最も高かった。
- がん患者の遺族全体では、患者が死亡前 6 カ月間に在宅診療を利用していたと回答した割合は 37.3%、介護保険サービスを利用していたと回答した割合は 54.6% であった。
- がん患者の遺族全体では、患者が医師から病名をはっきり説明されたと回答した割合は 78.1% であった。
- 調査に回答したがん患者遺族の年齢は、60-70 代の割合が 57.1% と最も高く、続柄は、配偶者が 44.1%、子が 39.7% であった。

A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス

- がん患者の遺族全体では、医療者は患者のつらい症状にすみやかに対応していたと回答した割合は 82.4%、患者の不安や心配をやわらげるように、医師、看護師、介護職員は努めていたと回答した割合は 82.2% であった。医療者への評価は概ね良好であり、これまでがん対策として取り組まれてきた基本的な緩和ケアの普及啓発の結果が表れていると考えられる。

B 死亡前 1 カ月間の患者の療養生活の質

- がん患者の遺族全体では、患者は痛みが少なく過ごせたと回答した割合は 47.2%、からだの苦痛が少なく過ごせたと回答した割合は 41.5% であった。
- 医療者の対応に関する遺族の自由回答を踏まえると、苦痛症状への基本的な対応はなされているが、死亡前の痛みの主な理由には、基本的な対応のみでは緩和されない難治性の症状がある場合や、認知症などの併存があるために痛みの評価が難しい場合、がん以外の症状が混在するなど複雑な場合があることが明らかになり、緩和ケアの効果が十分に得られなかった可能性が示唆された。
- がん患者の苦痛緩和は改善の余地があり、医療者への基本的緩和ケアの教育機会を提供することに加え、複雑な場面での診断方法や難治性の症状に対する新たな治療方法の開発を検討する必要がある。

C 死亡前 1 週間の患者の苦痛症状

- がん患者の遺族全体では、患者が死亡前に強い痛みを感じていたと回答した割合は 28.7% であった。該当遺族が回答した痛みの主な理由は、痛みに対して医療者は何らかの対処をしたが、不十分であったからと回答した割合が 28.4% と最も高かった。他の理由には、患者の認知機能が低下していることにより痛みの評価が難しい場合や、褥瘡や骨折・腰痛などのがん以外の併存症・医療処置による痛みがある場合も含まれており、複数の要因が影響していたと考えられる。
- 痛みは患者の療養生活の質に影響する重要な要因であるため、改善を図る必要がある。

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

- がん患者の遺族全体では、患者と医師の間で最期の療養場所の希望や医療に関する話し合いがあったと回答した割合は 35.7%、患者と医師の間で心肺停止時の蘇生処置の実施について話し合いがあったと回答した割合は 35.1% であった。
- 患者と医師の間で話し合いをした割合は 35.7% 以下であった。患者の意向・希望に沿った医療を提供するためには、主治医等の医療者から提供される情報に基づく患者本人による意思決定が基本となるため、改善を図る必要がある。患者と医師間で話し合いが十分にできていないことにより生じる影響を調査したうえで、具体的な対策の検討が必要である。

E 家族の介護負担感

- がん患者の遺族全体では、介護をしたことで全般的に介護負担感が大きかったと回答した割合は 38.9% であった。
- 家族の介護負担感は決して低い割合ではなかった。介護負担は、患者の高齢化による、認知機能の低下やそれに伴う行動・心理症状などにより増加することが考えられる。今後も高齢者が増加するわが国では、介護者が必要に応じて適切な社会的支援を利用できる体制の整備を推進する必要がある。

F 最近 2 週間の遺族の抑うつ症状

- がん患者の遺族全体では、死別後 1-2 年が経過した時点で抑うつ症状を抱えていた割合は 19.3% であった。
- 今回の調査では、抑うつ症状は 2 項目のみで評価しているため、がん患者の遺族のおおよその割合であると理解することが望ましい。したがって、うつ病の治療を必要とする割合を直接示すものではない。死別後遺族の有症率としては、類似の調査と比べて高い割合ではないが、治療を必要とする遺族が少なからず存在する可能性があるため、死別後の遺族への配慮が必要である。

G 最近 1 カ月間の遺族の強い悲嘆

- がん患者の遺族全体では、死別後 1-2 年が経過した時点で強い悲嘆を抱えていた割合は 30.9% であった。
- 今回の調査では、長引く悲嘆症状は 2 項目のみで評価しているため、がん患者遺族のおおよその割合であると理解することが望ましい。悲嘆の多くは正常な反応で、反応の長さや強さは個人差があり、悲嘆が長引く要因には、患者との続柄や関係性の深さ、死別の状況に加え、遺族自身の健康状態や過去の喪失経験などが潜在する。
- 死別後遺族の有症率としては類似の調査と比べて低い割合ではなく、死別後に強い悲嘆を抱えている遺族は一定数存在する可能性がある。また、抑うつ症状を伴う場合もあるため、死別後の遺族への配慮とともに、遺族が必要に応じて専門的な支援を利用できる体制の整備が必要である。

2 死亡場所別の結果を解釈するうえで留意する点

患者・遺族の背景の違い

- 施設や自宅で死亡したがん患者は、病院や緩和ケア病棟（以下、PCU と示す。）で死亡したがん患者と比べて、症状が比較的落ち着いているため、施設や自宅での療養が可能になるなど、療養場所によって患者の病状や療養場所の希望が異なることが考えられる。
- 施設で死亡したがん患者は、病院など他の場所で死亡したがん患者と比べて、年齢が 80 歳以上の割合が 86.3% と高く、日常生活動作の低下や認知症を併存していた割合が高かった。
- 自宅で死亡したがん患者の遺族の回答では、死亡前 6 カ月間に在宅診療を利用していただと回答した割合は 76.2% であり、必ずしも医師の訪問診療を受けていないことに注意する。外来通院中や急死、回答遺族が当時の状況を把握していないことなどが考えられる。
- PCU で死亡したがん患者は、遺族の回答をもとに死亡場所を特定したため、実際の死亡場所とは異なる可能性がある。
- 調査に回答した遺族の続柄は、病院・自宅・PCU で死亡したがん患者の遺族では配偶者の割合が 43.1% 以上、施設で死亡した患者の遺族では子の割合が 61.7% とそれぞれ最も高かった。他の場所と比べて、施設で死亡した患者の年齢が 80 歳以上の割合が高いため、回答遺族の続柄は子が多くなったと考えられる。

A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス

- がん患者の遺族は、どの療養場所でも医療者は患者のつらい症状にすみやかに対応していたと回答していた割合が 80.1% 以上であった。療養場所に依らず、医療者への評価は概ね良好であると考えられる。

B 死亡前 1 カ月間の患者の療養生活の質

- 病院で死亡したがん患者の遺族は、施設など他の場所で死亡したがん患者と比べて、からだの苦痛や気持ちのつらさがなく過ごせたと回答した割合が低かった。他の場所と比べて、患者が若年であるため、患者が積極的な治療を希望することが多く、治療や処置に伴う避けられない苦痛を感じていた可能性や、就労などの心理社会的な課題を負うなど、複合的な理由が潜在すると考えられる。
- 自宅で死亡したがん患者の遺族は、病院など他の場所で死亡したがん患者と比べて、患者は望んだ場所で過ごせた、落ち着いた環境で過ごせたなど、療養環境に関連する回答における割合が高かった。他の場所と比べて、患者が希望する療養場所での生活を継続したことに加えて、遺族が患者と接する時間が長いことから、患者の療養状況をより理解できることが回答内容に影響したと考えられる。

C 死亡前 1 週間の患者の苦痛症状

- 施設で死亡したがん患者の遺族は、病院など他の場所で死亡したがん患者と比べて、死亡前に痛みや倦怠感、息苦しさなどの苦痛となる症状を抱えていたと回答した割合が低かった。他の場所と比べて、患者が高齢であるため、日常生活動作や認知機能の低下を併存しており、症状がはっきりと現れず非定型的となる可能性があることや、症状が比較的落ち着いているため、施設での療養が可能となり、施設の利用を選択して療養していたと考えられる。

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

- 病院や施設で死亡したがん患者の遺族では、患者と医師の間で最期の療養場所に関する話し合いがあったと回答した割合は 28.0% 以下、患者と医師の間で心肺停止時の蘇生処置の実施について話し合いがあったと回答した割合は 35.8% 以下と限られた割合だった。
- 他の場所と比べて、病院で死亡した患者の場合は、治療や治療に対する希望があるため、最期の療養生活に関する話し合いをする心の準備に至らなかったことが考えられる。施設で死亡した患者の場合は、高齢で認知症を併存しているため、患者との話し合いが難しいことが影響したと考えられる。

E 家族の介護負担感

- 施設で死亡したがん患者の遺族では、病院など他の場所と比べて、介護負担感が高かった。施設に患者が入所しても家族の関与が必要なことや、他の場所と比べて、患者が高齢であるため、病気の進行が比較的緩やかで療養期間が長くなる可能性があること、日常生活動作や認知機能が低下していること、主介護者が配偶者より子が多くなることなど、複合的な理由によって介護の負担をより感じた家族が、患者の療養場所として施設の利用を選択していることが影響したと考えられる。

F 最近 2 週間の遺族の抑うつ症状

- がん患者の遺族では、どの療養場所でも死別後 1-2 年が経過した時点で抑うつ症状を抱えていた割合は 19.9% 以下であり、療養場所に依らず、高い割合ではなかった。

G 最近 1 カ月間の遺族の強い悲嘆

- 施設で死亡したがん患者の遺族では、他の場所と比べて、死別後 1-2 年が経過した時点で強い悲嘆を抱えていた割合が低かった。施設で死亡したがん患者が高齢であるため、遺族の続柄に子が多いことが影響したと考えられる。

3 一般病院・がん診療連携拠点病院別の結果を解釈するうえで留意する点

患者・遺族の背景の違い

- 一般病院で死亡したがん患者は、がん診療連携拠点病院（以下、拠点病院と示す）で死亡したがん患者と比べて、年齢が 80 歳以上の割合が高いため、日常生活動作の低下や認知症を併存している割合が高かった。一般病院は、一般病床だけでなく療養病床を有する病院も含まれることや、患者が高齢であるため、積極的治療や通院による負担を避け、近隣の一般病院を選択して療養している可能性がある。
- 調査に回答した遺族の続柄は、拠点病院で死亡した患者の遺族では配偶者の割合が 53.5%、一般病院で死亡した患者の遺族では子の割合が 43.9% とそれぞれ最も高かった。拠点病院と比べて、一般病院で死亡した患者の年齢が 80 歳以上の割合が高いため、回答遺族の続柄は子が多くなったと考えられる。

A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス

- 一般病院・拠点病院で死亡したがん患者の遺族は、いずれも医療者は患者のつらい症状にすみやかに対応していたと回答していた割合が 80.5% 以上であった。医療者の評価は概ね良好であると考えられる。

B 死亡前 1 カ月間の患者の療養生活の質

- 拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、一般病院で死亡したがん患者と比べて、からだの苦痛や気持ちのつらさがなく過ごせたと回答した割合がやや低かった。一般病院と比べて、患者が若年であるため、積極的な治療を希望することによって、治療や処置に伴う避けられない苦痛を感じていた可能性がある。

C 死亡前 1 週間の患者の苦痛症状

- 拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、一般病院で死亡したがん患者と比べて、死亡前に痛みや倦怠感、息苦しさなどの苦痛となる症状を抱えていたと回答した割合が高かった。一般病院と比べて、患者の症状が重いため、拠点病院から他の療養場所に移ることが難しいことが影響したと考えられる。

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

- 一般病院・拠点病院で死亡したがん患者の遺族は、患者と医師の間で最期の療養場所に関する話し合いがあったと回答した割合は 29.3% 以下、心肺停止時の蘇生処置の実施について、患者と医師の間で話し合いがあったと回答した割合は 32.6% 以下であり、一般病院・拠点病院のいずれも低い割合だった。

E 家族の介護負担感

● 一般病院で死亡したがん患者の遺族では、拠点病院で死亡したがん患者と比べて、介護負担感がやや高かった。拠点病院と比べて、患者が高齢であるため、日常生活動作や認知機能の低下を併存しており、介護の負担に加えて、病状に不安を感じた家族が、患者の療養場所として一般病院の利用を選択していることが影響したと考えられる。

F 最近 2 週間の遺族の抑うつ症状

● がん患者の遺族では、一般病院・拠点病院ともに死別後 1-2 年が経過した時点で抑うつ症状を抱えていた割合は、21.5% 以下であり、一般病院・拠点病院のいずれも高い割合ではなかった。

G 最近 1 カ月間の遺族の強い悲嘆

● 拠点病院で死亡したがん患者の遺族では、一般病院で死亡したがん患者の遺族と比べて、強い悲嘆症状を抱えていた割合が高かった。一般病院と比べて患者がやや若年であるため、遺族の続柄に配偶者が多いことが影響したと考えられる。

4 結語

- 本調査は、2017 年と 2018 年にがんで死亡した者の遺族を対象に行い、54,167 名から回答を得た。
- 本調査によって、がん患者の人生の最終段階の療養生活の状況は、より症状の重い患者・家族が、がん診療連携拠点病院を含む病院の利用を選択し、症状が比較的穏やかで高齢の患者・家族が介護施設の利用を選択していたことが明らかになった。医療・介護施設がそれぞれ担う機能に応じて、患者・家族が最期の療養場所を選択していたことが示唆された。
- 療養場所によって患者の病状や治療への希望が異なるため、本調査によって、最期の療養場所として、どちらが良い・悪いと単純に比較・判断することは困難である。
- がん患者の遺族全体では、患者の苦痛に対して医療者は良く対応をしていたと回答した割合は 82.4% であった。一方で、からだの苦痛が少なく過ごせたと回答した割合は 41.5% であった。基本的な対応では症状を緩和することが難しい場合が一定数存在する可能性がある。痛みを含む苦痛症状は、がん患者の療養生活の質に影響する重要な要因であるため、改善を図る必要がある。
- がん患者の遺族全体では、患者と医師の間で最期の療養場所の希望や医療に関する話し合いがあったと回答した割合は 35.7% であった。患者の意向・希望に沿った医療の提供を実現するためには、主治医等の医療者から提供される情報に基づく患者本人による意思決定が基本となるため、改善を図る必要がある。話し合いが十分にできていないことにより生じる影響を調査したうえで、具体的な対策の検討が必要である。
- 本調査結果と海外の状況については、似たような調査結果を用いて比較できる可能性はあるが、海外とは文化や医療制度など民族的・文化的・社会的背景が異なるため、直接比較して解釈できるものではない。
- 本調査の報告書には、都道府県別に回答を集計した結果も記載した。都道府県別の結果は予備的な解析であり、参考値として示す。今後、より詳細な調査解析が必要である。
- 今後はさらにこの調査を発展させ、以下のような調査研究を行うことで、わが国の現状をさらに精密に把握し、具体的な政策の提言につなげることができると考える。
 - ・ 本調査結果の推移を把握するための定期的な継続調査
 - ・ 患者と医療者の間での療養場所や医療に関する情報提供や意思決定支援の把握
 - ・ 多死社会を踏まえた、がん以外の疾患も含めた遺族を対象とする調査
 - ・ 認知機能低下等の高齢者特有の併存症をもつ高齢・超高齢者への望ましい医療提供体制の把握

IV 調査組織

実施組織

厚生労働省委託事業「がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業」

責任者

小川 朝生 (2021年8月以降)	国立がん研究センター 先端医療開発センター 東病院 精神腫瘍科 (併任) がん対策研究所 がん医療支援部 (併任)	精神腫瘍学開発分野 (本務)
加藤 雅志 (2021年6月まで)	国立がん研究センター がん対策情報センター	がん医療支援部

事務局

中澤 葉宇子	国立がん研究センター がん対策研究所	がん医療支援部
竹内 恵美	国立がん研究センター がん対策研究所	がん医療支援部
山崎 里紗	国立がん研究センター がん対策研究所	がん医療支援部

遺族調査 専門委員会 委員 (五十音順)

奥村 泰之	一般社団法人臨床疫学研究推進機構
川越 正平	あおぞら診療所
木澤 義之	神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科
宮下 光令	東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野
森田 達也	聖隷三方原病院 緩和支援治療科
山本 寛	東京都健康長寿医療センター 呼吸器内科

調査協力

厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課

V 資料

1 回答分布 全体・死亡場所別

A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス

	粗集計値		全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	お亡くなりになる前の状況について、最も近い番号を1つずつお選びください											
医療者は、患者さまのつらい症状にすみやかに対応していた												
欠損	1350	2.5	625	2.5	94	3.3	520	2.8	111	1.5		
わからない	1459	2.7	804	3.2	146	5.2	380	2.0	129	1.8		
全くそう思わない	1016	1.9	582	2.3	50	1.8	287	1.5	97	1.3		
そう思わない	1743	3.2	997	3.9	105	3.7	450	2.4	191	2.7		
あまりそう思わない	3123	5.8	1853	7.3	155	5.5	813	4.4	302	4.2		
ややそう思う	7672	14.2	4152	16.3	454	16.1	2141	11.5	925	12.8		
そう思う	28040	51.8	13025	51.2	1442	51.1	9655	51.7	3918	54.3		
非常にそう思う	9764	18.0	3398	13.4	378	13.4	4441	23.8	1547	21.4		
医師は、患者さまのからだの苦痛をやわらげるように努めていた												
欠損	1278	2.4	588	2.3	102	3.6	486	2.6	102	1.4		
わからない	1481	2.7	808	3.2	173	6.1	392	2.1	108	1.5		
全くそう思わない	808	1.5	447	1.8	46	1.6	239	1.3	76	1.1		
そう思わない	1355	2.5	764	3.0	89	3.2	377	2.0	125	1.7		
あまりそう思わない	2584	4.8	1505	5.9	152	5.4	689	3.7	238	3.3		
ややそう思う	7459	13.8	4066	16.0	462	16.4	2083	11.2	848	11.8		
そう思う	28650	52.9	13432	52.8	1470	52.1	9750	52.2	3998	55.4		
非常にそう思う	10552	19.5	3826	15.0	330	11.7	4671	25.0	1725	23.9		
看護師や介護職員は、患者さまのからだの苦痛をやわらげるように努めていた												
欠損	1358	2.5	606	2.4	97	3.4	554	3.0	101	1.4		
わからない	1412	2.6	834	3.3	111	3.9	371	2.0	96	1.3		
全くそう思わない	554	1.0	334	1.3	21	0.7	156	0.8	43	0.6		
そう思わない	952	1.8	604	2.4	56	2.0	205	1.1	87	1.2		
あまりそう思わない	2341	4.3	1502	5.9	123	4.4	491	2.6	225	3.1		
ややそう思う	7990	14.8	4630	18.2	427	15.1	2022	10.8	911	12.6		
そう思う	28123	51.9	13181	51.8	1538	54.5	9525	51.0	3879	53.7		
非常にそう思う	11437	21.1	3745	14.7	451	16.0	5363	28.7	1878	26.0		
患者さまの不安や心配をやわらげるように、医師・看護師・介護職員は努めていた												
欠損	1467	2.7	694	2.7	100	3.5	557	3.0	116	1.6		
わからない	1855	3.4	1158	4.6	119	4.2	411	2.2	167	2.3		
全くそう思わない	675	1.2	402	1.6	24	0.9	190	1.0	59	0.8		
そう思わない	1192	2.2	749	2.9	60	2.1	272	1.5	111	1.5		
あまりそう思わない	3188	5.9	2017	7.9	149	5.3	701	3.8	321	4.5		
ややそう思う	8933	16.5	4978	19.6	465	16.5	2408	12.9	1082	15.0		
そう思う	26525	49.0	12067	47.4	1480	52.4	9270	49.6	3708	51.4		
非常にそう思う	10332	19.1	3371	13.3	427	15.1	4878	26.1	1656	22.9		

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	医師の患者さまへの病状や治療内容の説明は十分だった									
欠損	1515	2.8	682	2.7	114	4.0	596	3.2	123	1.7
わからない	2356	4.3	1222	4.8	269	9.5	589	3.2	276	3.8
全くそう思わない	1126	2.1	638	2.5	58	2.1	341	1.8	89	1.2
そう思わない	1940	3.6	1104	4.3	99	3.5	525	2.8	212	2.9
あまりそう思わない	3959	7.3	2136	8.4	196	6.9	1155	6.2	472	6.5
ややそう思う	8959	16.5	4490	17.7	452	16.0	2856	15.3	1161	16.1
そう思う	24371	45.0	11200	44.0	1263	44.7	8500	45.5	3408	47.2
非常にそう思う	9941	18.4	3964	15.6	373	13.2	4125	22.1	1479	20.5
医師のご家族への病状や治療内容の説明は十分だった										
欠損	1316	2.4	610	2.4	101	3.6	493	2.6	112	1.6
わからない	562	1.0	278	1.1	58	2.1	173	0.9	53	0.7
全くそう思わない	1077	2.0	615	2.4	50	1.8	319	1.7	93	1.3
そう思わない	1686	3.1	964	3.8	68	2.4	451	2.4	203	2.8
あまりそう思わない	3771	7.0	2085	8.2	183	6.5	1074	5.8	429	5.9
ややそう思う	8390	15.5	4262	16.8	436	15.4	2615	14.0	1077	14.9
そう思う	25684	47.4	11937	46.9	1435	50.8	8776	47.0	3536	49.0
非常にそう思う	11681	21.6	4685	18.4	493	17.5	4786	25.6	1717	23.8
病室（自宅）は生活しやすく、快適だった										
欠損	1332	2.5	640	2.5	103	3.7	467	2.5	122	1.7
わからない	1279	2.4	764	3.0	70	2.5	337	1.8	108	1.5
全くそう思わない	672	1.2	464	1.8	24	0.9	136	0.7	48	0.7
そう思わない	1513	2.8	1035	4.1	67	2.4	279	1.5	132	1.8
あまりそう思わない	4389	8.1	2925	11.5	178	6.3	896	4.8	390	5.4
ややそう思う	11356	21.0	6477	25.5	587	20.8	3047	16.3	1245	17.2
そう思う	24467	45.2	10412	40.9	1359	48.1	9304	49.8	3392	47.0
非常にそう思う	9159	16.9	2719	10.7	436	15.4	4221	22.6	1783	24.7
ご家族が健康を維持できるような配慮があった										
欠損	2007	3.7	973	3.8	141	5.0	732	3.9	161	2.2
わからない	4191	7.7	2388	9.4	283	10.0	1081	5.8	439	6.1
全くそう思わない	1040	1.9	633	2.5	43	1.5	253	1.4	111	1.5
そう思わない	1919	3.5	1206	4.7	86	3.1	423	2.3	204	2.8
あまりそう思わない	5309	9.8	3265	12.8	193	6.8	1219	6.5	632	8.8
ややそう思う	10689	19.7	5495	21.6	484	17.1	3271	17.5	1439	19.9
そう思う	22665	41.8	9462	37.2	1305	46.2	8701	46.6	3197	44.3
非常にそう思う	6347	11.7	2014	7.9	289	10.2	3007	16.1	1037	14.4
支払った費用の金額は妥当だった										
欠損	1615	3.0	760	3.0	110	3.9	602	3.2	143	2.0
わからない	6697	12.4	3473	13.7	271	9.6	2123	11.4	830	11.5
全くそう思わない	499	0.9	250	1.0	32	1.1	167	0.9	50	0.7
そう思わない	1092	2.0	546	2.2	65	2.3	339	1.8	142	2.0
あまりそう思わない	2500	4.6	1278	5.0	151	5.4	755	4.0	316	4.4
ややそう思う	9152	16.9	4678	18.4	503	17.8	2777	14.9	1194	16.5
そう思う	27212	50.2	12528	49.3	1439	51.0	9586	51.3	3659	50.7
非常にそう思う	5400	10.0	1923	7.6	253	9.0	2338	12.5	886	12.3

A 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
必要なときに待たずに入院（利用）できた										
欠損	2868	5.3	668	2.6	218	7.7	1864	10.0	118	1.6
わからない	2264	4.2	373	1.5	186	6.6	1648	8.8	57	0.8
全くそう思わない	1005	1.9	445	1.8	49	1.7	384	2.1	127	1.8
そう思わない	1313	2.4	586	2.3	94	3.3	435	2.3	198	2.7
あまりそう思わない	1742	3.2	758	3.0	139	4.9	541	2.9	304	4.2
ややそう思う	5413	10.0	2522	9.9	336	11.9	1678	9.0	877	12.2
そう思う	27657	51.1	14117	55.5	1381	48.9	8533	45.7	3626	50.2
非常にそう思う	11905	22.0	5967	23.5	421	14.9	3604	19.3	1913	26.5
医師・看護師・介護職員など医療者どうしの連携はよかった										
欠損	1439	2.7	658	2.6	106	3.8	561	3.0	114	1.6
わからない	2811	5.2	1783	7.0	143	5.1	550	2.9	335	4.6
全くそう思わない	901	1.7	518	2.0	43	1.5	246	1.3	94	1.3
そう思わない	1277	2.4	793	3.1	61	2.2	307	1.6	116	1.6
あまりそう思わない	3081	5.7	1834	7.2	171	6.1	705	3.8	371	5.1
ややそう思う	8630	15.9	4637	18.2	487	17.3	2339	12.5	1167	16.2
そう思う	25558	47.2	11816	46.5	1376	48.7	8786	47.0	3580	49.6
非常にそう思う	10470	19.3	3397	13.4	437	15.5	5193	27.8	1443	20.0
医師は、患者さまと良い関係を築いていた										
欠損	1245	2.3	585	2.3	109	3.9	454	2.4	97	1.3
わからない	3570	6.6	2063	8.1	332	11.8	752	4.0	423	5.9
全くそう思わない	1178	2.2	666	2.6	59	2.1	328	1.8	125	1.7
そう思わない	1545	2.9	856	3.4	92	3.3	421	2.3	176	2.4
あまりそう思わない	3816	7.0	2136	8.4	205	7.3	986	5.3	489	6.8
ややそう思う	9624	17.8	4880	19.2	575	20.4	2848	15.2	1321	18.3
そう思う	22834	42.2	10335	40.6	1129	40.0	8213	44.0	3157	43.7
非常にそう思う	10355	19.1	3915	15.4	323	11.4	4685	25.1	1432	19.8
看護師や介護職員は、患者さまと良い関係を築いていた										
欠損	1296	2.4	597	2.4	86	3.1	520	2.8	93	1.3
わからない	2679	4.9	1718	6.8	130	4.6	540	2.9	291	4.0
全くそう思わない	604	1.1	387	1.5	28	1.0	145	0.8	44	0.6
そう思わない	977	1.8	598	2.4	46	1.6	227	1.2	106	1.5
あまりそう思わない	2760	5.1	1763	6.9	135	4.8	550	2.9	312	4.3
ややそう思う	9971	18.4	5488	21.6	526	18.6	2656	14.2	1301	18.0
そう思う	24989	46.1	11285	44.4	1365	48.3	8882	47.5	3457	47.9
非常にそう思う	10891	20.1	3600	14.2	508	18.0	5167	27.7	1616	22.4
お亡くなりになった場所で受けた医療は全般的に満足でしたか										
欠損	1613	3.0	765	3.0	82	2.9	584	3.1	182	2.5
非常に不満足	2885	5.3	1286	5.1	139	4.9	1055	5.7	405	5.6
不満足	2110	3.9	1418	5.6	77	2.7	394	2.1	221	3.1
やや不満足	4458	8.2	2812	11.1	222	7.9	923	4.9	501	6.9
やや満足	10029	18.5	5410	21.3	541	19.2	2814	15.1	1264	17.5
満足	23154	42.7	10190	40.1	1296	45.9	8541	45.7	3127	43.3
非常に満足	7487	13.8	2241	8.8	335	11.9	3623	19.4	1288	17.8
わからない	2431	4.5	1314	5.2	132	4.7	753	4.0	232	3.2

B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%

療養生活について、患者さまはどのように感じていたと思いますか、お亡くなりになる前の1カ月間の状況について、最も近い番号を1つずつお選びください

痛みが少なく過ごせた

欠損	2301	4.2	1246	4.9	108	3.8	736	3.9	211	2.9
わからない	4309	8.0	2433	9.6	382	13.5	1060	5.7	434	6.0
全くそう思わない	3665	6.8	1961	7.7	85	3.0	1192	6.4	427	5.9
そう思わない	5965	11.0	3162	12.4	176	6.2	1913	10.2	714	9.9
あまりそう思わない	4960	9.2	2562	10.1	195	6.9	1597	8.6	606	8.4
どちらともいえない	6157	11.4	2962	11.6	314	11.1	2085	11.2	796	11.0
ややそう思う	9504	17.5	4191	16.5	483	17.1	3396	18.2	1434	19.9
そう思う	14160	26.1	5883	23.1	914	32.4	5287	28.3	2076	28.8
とてもそう思う	3146	5.8	1036	4.1	167	5.9	1421	7.6	522	7.2

からだの苦痛が少なく過ごせた

欠損	2322	4.3	1242	4.9	101	3.6	753	4.0	226	3.1
わからない	3555	6.6	1967	7.7	329	11.7	885	4.7	374	5.2
全くそう思わない	4090	7.6	2209	8.7	89	3.2	1324	7.1	468	6.5
そう思わない	7148	13.2	3821	15.0	213	7.5	2262	12.1	852	11.8
あまりそう思わない	6218	11.5	3225	12.7	229	8.1	2018	10.8	746	10.3
どちらともいえない	6784	12.5	3226	12.7	320	11.3	2382	12.8	856	11.9
ややそう思う	10032	18.5	4315	17.0	562	19.9	3665	19.6	1490	20.6
そう思う	11858	21.9	4718	18.6	853	30.2	4462	23.9	1825	25.3
とてもそう思う	2160	4.0	713	2.8	128	4.5	936	5.0	383	5.3

おだやかな気持ちで過ごせた

欠損	2294	4.2	1242	4.9	116	4.1	692	3.7	244	3.4
わからない	3963	7.3	2298	9.0	263	9.3	888	4.8	514	7.1
全くそう思わない	2854	5.3	1792	7.1	85	3.0	631	3.4	346	4.8
そう思わない	4766	8.8	2901	11.4	151	5.4	1091	5.8	623	8.6
あまりそう思わない	4942	9.1	2972	11.7	180	6.4	1121	6.0	669	9.3
どちらともいえない	7752	14.3	4101	16.1	390	13.8	2193	11.7	1068	14.8
ややそう思う	10093	18.6	4295	16.9	573	20.3	3763	20.1	1462	20.3
そう思う	13366	24.7	4859	19.1	881	31.2	5881	31.5	1745	24.2
とてもそう思う	4137	7.6	976	3.8	185	6.6	2427	13.0	549	7.6

望んだ場所で過ごせた

欠損	2046	3.8	1222	4.8	106	3.8	478	2.6	240	3.3
わからない	4205	7.8	2610	10.3	429	15.2	429	2.3	737	10.2
全くそう思わない	3555	6.6	2573	10.1	233	8.3	288	1.5	461	6.4
そう思わない	4961	9.2	3462	13.6	408	14.5	371	2.0	720	10.0
あまりそう思わない	3057	5.6	2017	7.9	243	8.6	289	1.6	508	7.0
どちらともいえない	5206	9.6	3135	12.3	432	15.3	583	3.1	1056	14.6
ややそう思う	5598	10.3	2899	11.4	308	10.9	1397	7.5	994	13.8
そう思う	14516	26.8	5549	21.8	521	18.5	6662	35.7	1784	24.7
とてもそう思う	11023	20.4	1969	7.7	144	5.1	8190	43.8	720	10.0

B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
楽しみになるようなことがあった										
欠損	2781	5.1	1481	5.8	132	4.7	859	4.6	309	4.3
わからない	7847	14.5	3915	15.4	558	19.8	2343	12.5	1031	14.3
全くそう思わない	5463	10.1	3468	13.6	242	8.6	1015	5.4	738	10.2
そう思わない	6820	12.6	3999	15.7	345	12.2	1530	8.2	946	13.1
あまりそう思わない	5617	10.4	2972	11.7	301	10.7	1503	8.0	841	11.7
どちらともいえない	7220	13.3	3141	12.4	403	14.3	2586	13.8	1090	15.1
ややそう思う	7129	13.2	2762	10.9	393	13.9	2994	16.0	980	13.6
そう思う	8204	15.1	2849	11.2	370	13.1	4011	21.5	974	13.5
とてもそう思う	3086	5.7	849	3.3	80	2.8	1846	9.9	311	4.3
医師を信頼していた										
欠損	1965	3.6	1063	4.2	121	4.3	577	3.1	204	2.8
わからない	5266	9.7	2742	10.8	588	20.8	1269	6.8	667	9.2
全くそう思わない	1264	2.3	707	2.8	61	2.2	349	1.9	147	2.0
そう思わない	1584	2.9	874	3.4	93	3.3	396	2.1	221	3.1
あまりそう思わない	2095	3.9	1170	4.6	107	3.8	542	2.9	276	3.8
どちらともいえない	5901	10.9	3050	12.0	346	12.3	1712	9.2	793	11.0
ややそう思う	8487	15.7	4113	16.2	425	15.1	2758	14.8	1191	16.5
そう思う	19643	36.3	8691	34.2	891	31.6	7349	39.3	2712	37.6
とてもそう思う	7962	14.7	3026	11.9	192	6.8	3735	20.0	1009	14.0
人に迷惑をかけてつらいと感じていた										
欠損	2335	4.3	1263	5.0	121	4.3	694	3.7	257	3.6
わからない	7921	14.6	4019	15.8	607	21.5	2225	11.9	1070	14.8
全くそう思わない	2767	5.1	1334	5.2	179	6.3	875	4.7	379	5.3
そう思わない	6554	12.1	3168	12.5	440	15.6	2064	11.1	882	12.2
あまりそう思わない	4886	9.0	2290	9.0	258	9.1	1648	8.8	690	9.6
どちらともいえない	7270	13.4	3483	13.7	409	14.5	2331	12.5	1047	14.5
ややそう思う	10619	19.6	4675	18.4	448	15.9	4157	22.3	1339	18.6
そう思う	8173	15.1	3650	14.4	271	9.6	3184	17.0	1068	14.8
とてもそう思う	3642	6.7	1554	6.1	91	3.2	1509	8.1	488	6.8
ご家族やご友人と十分に時間を過ごせた										
欠損	1972	3.6	1115	4.4	110	3.9	532	2.9	215	3.0
わからない	2505	4.6	1438	5.7	233	8.3	489	2.6	345	4.8
全くそう思わない	1570	2.9	1070	4.2	106	3.8	230	1.2	164	2.3
そう思わない	3354	6.2	2137	8.4	255	9.0	550	2.9	412	5.7
あまりそう思わない	4298	7.9	2653	10.4	327	11.6	747	4.0	571	7.9
どちらともいえない	5942	11.0	3283	12.9	451	16.0	1327	7.1	881	12.2
ややそう思う	10899	20.1	5133	20.2	596	21.1	3497	18.7	1673	23.2
そう思う	15860	29.3	6402	25.2	591	20.9	6736	36.1	2131	29.5
とてもそう思う	7767	14.3	2205	8.7	155	5.5	4579	24.5	828	11.5

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
身の回りのことはたいい自分でできた										
欠損	2149	4.0	1174	4.6	119	4.2	627	3.4	229	3.2
わからない	997	1.8	627	2.5	104	3.7	150	0.8	116	1.6
全くそう思わない	15092	27.9	6589	25.9	1247	44.2	5307	28.4	1949	27.0
そう思わない	10470	19.3	4597	18.1	640	22.7	3817	20.4	1416	19.6
あまりそう思わない	6072	11.2	2704	10.6	273	9.7	2199	11.8	896	12.4
どちらともいえない	4160	7.7	1910	7.5	151	5.4	1511	8.1	588	8.1
ややそう思う	6088	11.2	2947	11.6	149	5.3	2124	11.4	868	12.0
そう思う	6848	12.6	3662	14.4	113	4.0	2184	11.7	889	12.3
とてもそう思う	2291	4.2	1226	4.8	28	1.0	768	4.1	269	3.7
落ち着いた環境で過ごせた										
欠損	1959	3.6	1132	4.5	97	3.4	508	2.7	222	3.1
わからない	2496	4.6	1589	6.3	188	6.7	417	2.2	302	4.2
全くそう思わない	1426	2.6	1022	4.0	62	2.2	189	1.0	153	2.1
そう思わない	2226	4.1	1595	6.3	99	3.5	304	1.6	228	3.2
あまりそう思わない	2744	5.1	1895	7.5	133	4.7	377	2.0	339	4.7
どちらともいえない	6021	11.1	3713	14.6	345	12.2	1129	6.0	834	11.6
ややそう思う	11681	21.6	5751	22.6	691	24.5	3503	18.8	1736	24.0
そう思う	18768	34.6	7123	28.0	993	35.2	8088	43.3	2564	35.5
とてもそう思う	6846	12.6	1616	6.4	216	7.7	4172	22.3	842	11.7
ひととして大切にされていた										
欠損	1907	3.5	1105	4.3	94	3.3	497	2.7	211	2.9
わからない	2393	4.4	1470	5.8	182	6.4	458	2.5	283	3.9
全くそう思わない	547	1.0	363	1.4	35	1.2	78	0.4	71	1.0
そう思わない	685	1.3	487	1.9	35	1.2	104	0.6	59	0.8
あまりそう思わない	1110	2.0	757	3.0	79	2.8	148	0.8	126	1.8
どちらともいえない	3046	5.6	1896	7.5	193	6.8	559	3.0	398	5.5
ややそう思う	8239	15.2	4531	17.8	561	19.9	2003	10.7	1144	15.8
そう思う	23788	43.9	10737	42.2	1250	44.3	8453	45.2	3348	46.4
とてもそう思う	12452	23.0	4090	16.1	395	14.0	6387	34.2	1580	21.9
人生をまっとうしたと感じていた										
欠損	1993	3.7	1120	4.4	98	3.5	565	3.0	210	2.9
わからない	7758	14.3	3881	15.3	530	18.8	2258	12.1	1089	15.1
全くそう思わない	4105	7.6	2248	8.8	74	2.6	1161	6.2	622	8.6
そう思わない	4571	8.4	2483	9.8	99	3.5	1300	7.0	689	9.5
あまりそう思わない	3135	5.8	1719	6.8	110	3.9	812	4.4	494	6.8
どちらともいえない	6398	11.8	3137	12.3	296	10.5	2042	10.9	923	12.8
ややそう思う	6455	11.9	3068	12.1	387	13.7	2098	11.2	902	12.5
そう思う	12683	23.4	5465	21.5	874	31.0	4831	25.9	1513	21.0
とてもそう思う	7069	13.1	2315	9.1	356	12.6	3620	19.4	778	10.8

B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
納得がいくまで治療を受けられた										
欠損	2163	4.0	1155	4.5	116	4.1	653	3.5	239	3.3
わからない	5952	11.0	2929	11.5	436	15.4	1787	9.6	800	11.1
全くそう思わない	2923	5.4	1663	6.5	80	2.8	814	4.4	366	5.1
そう思わない	4009	7.4	2107	8.3	172	6.1	1192	6.4	538	7.5
あまりそう思わない	3769	7.0	2042	8.0	161	5.7	1067	5.7	499	6.9
どちらともいえない	8338	15.4	3942	15.5	430	15.2	2800	15.0	1166	16.2
ややそう思う	7937	14.7	3719	14.6	446	15.8	2663	14.3	1109	15.4
そう思う	14021	25.9	6111	24.0	787	27.9	5277	28.2	1846	25.6
とてもそう思う	5055	9.3	1768	7.0	196	6.9	2434	13.0	657	9.1
自然に近い形で過ごせた										
欠損	2226	4.1	1243	4.9	118	4.2	598	3.2	267	3.7
わからない	3808	7.0	2260	8.9	246	8.7	739	4.0	563	7.8
全くそう思わない	2428	4.5	1656	6.5	75	2.7	406	2.2	291	4.0
そう思わない	3770	7.0	2496	9.8	134	4.8	635	3.4	505	7.0
あまりそう思わない	3689	6.8	2304	9.1	155	5.5	650	3.5	580	8.0
どちらともいえない	6458	11.9	3667	14.4	345	12.2	1408	7.5	1038	14.4
ややそう思う	9217	17.0	4167	16.4	560	19.8	3113	16.7	1377	19.1
そう思う	15809	29.2	5996	23.6	918	32.5	6953	37.2	1942	26.9
とてもそう思う	6762	12.5	1647	6.5	273	9.7	4185	22.4	657	9.1
大切な人に伝えたいことを伝えられた										
欠損	2085	3.8	1163	4.6	108	3.8	590	3.2	224	3.1
わからない	8121	15.0	3921	15.4	583	20.6	2574	13.8	1043	14.5
全くそう思わない	3618	6.7	2220	8.7	221	7.8	756	4.1	421	5.8
そう思わない	4986	9.2	2784	11.0	279	9.9	1265	6.8	658	9.1
あまりそう思わない	4322	8.0	2369	9.3	228	8.1	1133	6.1	592	8.2
どちらともいえない	7731	14.3	3666	14.4	385	13.6	2593	13.9	1087	15.1
ややそう思う	7978	14.7	3522	13.9	393	13.9	2898	15.5	1165	16.1
そう思う	11202	20.7	4516	17.8	508	18.0	4629	24.8	1549	21.5
とてもそう思う	4124	7.6	1275	5.0	119	4.2	2249	12.0	481	6.7
先々に起こることを詳しく知っていた										
欠損	2204	4.1	1214	4.8	113	4.0	642	3.4	235	3.3
わからない	8478	15.7	4147	16.3	647	22.9	2686	14.4	998	13.8
全くそう思わない	4075	7.5	2306	9.1	367	13.0	971	5.2	431	6.0
そう思わない	5716	10.6	3028	11.9	410	14.5	1603	8.6	675	9.4
あまりそう思わない	4313	8.0	2193	8.6	258	9.1	1326	7.1	536	7.4
どちらともいえない	7583	14.0	3520	13.8	376	13.3	2709	14.5	978	13.6
ややそう思う	8271	15.3	3707	14.6	292	10.3	3053	16.3	1219	16.9
そう思う	9850	18.2	4037	15.9	287	10.2	3969	21.2	1557	21.6
とてもそう思う	3677	6.8	1284	5.1	74	2.6	1728	9.3	591	8.2

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	病気や死を意識せずに過ごせた									
欠損	2140	4.0	1192	4.7	101	3.6	611	3.3	236	3.3
わからない	8163	15.1	4001	15.7	615	21.8	2484	13.3	1063	14.7
全くそう思わない	6550	12.1	3294	13.0	154	5.5	2124	11.4	978	13.6
そう思わない	9929	18.3	4844	19.0	326	11.5	3343	17.9	1416	19.6
あまりそう思わない	5669	10.5	2740	10.8	234	8.3	1871	10.0	824	11.4
どちらともいえない	9752	18.0	4396	17.3	519	18.4	3528	18.9	1309	18.1
ややそう思う	4732	8.7	2061	8.1	312	11.1	1766	9.5	593	8.2
そう思う	5671	10.5	2361	9.3	443	15.7	2231	11.9	636	8.8
とてもそう思う	1561	2.9	547	2.2	120	4.3	729	3.9	165	2.3
他人に弱った姿をみせてつらいと感じていた										
欠損	2118	3.9	1169	4.6	108	3.8	610	3.3	231	3.2
わからない	8212	15.2	4110	16.2	650	23.0	2383	12.8	1069	14.8
全くそう思わない	1736	3.2	808	3.2	138	4.9	590	3.2	200	2.8
そう思わない	4842	8.9	2227	8.8	360	12.8	1659	8.9	596	8.3
あまりそう思わない	4498	8.3	2065	8.1	288	10.2	1569	8.4	576	8.0
どちらともいえない	8019	14.8	3765	14.8	475	16.8	2682	14.4	1097	15.2
ややそう思う	10188	18.8	4564	17.9	402	14.2	3840	20.6	1382	19.1
そう思う	9870	18.2	4550	17.9	302	10.7	3631	19.4	1387	19.2
とてもそう思う	4684	8.6	2178	8.6	101	3.6	1723	9.2	682	9.5
生きていることに価値を感じられた										
欠損	2387	4.4	1302	5.1	115	4.1	711	3.8	259	3.6
わからない	14522	26.8	6998	27.5	917	32.5	4639	24.8	1968	27.3
全くそう思わない	1472	2.7	829	3.3	100	3.5	358	1.9	185	2.6
そう思わない	2749	5.1	1433	5.6	205	7.3	763	4.1	348	4.8
あまりそう思わない	2656	4.9	1375	5.4	195	6.9	721	3.9	365	5.1
どちらともいえない	10741	19.8	5033	19.8	594	21.0	3592	19.2	1522	21.1
ややそう思う	6135	11.3	2770	10.9	258	9.1	2231	11.9	876	12.1
そう思う	10153	18.7	4379	17.2	351	12.4	4111	22.0	1312	18.2
とてもそう思う	3352	6.2	1317	5.2	89	3.2	1561	8.4	385	5.3
信仰に支えられていた										
欠損	2541	4.7	1404	5.5	117	4.1	747	4.0	273	3.8
わからない	8433	15.6	4269	16.8	541	19.2	2571	13.8	1052	14.6
全くそう思わない	17391	32.1	8272	32.5	837	29.6	5914	31.7	2368	32.8
そう思わない	9761	18.0	4364	17.2	529	18.7	3450	18.5	1418	19.6
あまりそう思わない	3384	6.2	1512	5.9	181	6.4	1233	6.6	458	6.3
どちらともいえない	4737	8.7	2217	8.7	230	8.1	1656	8.9	634	8.8
ややそう思う	2748	5.1	1226	4.8	140	5.0	1033	5.5	349	4.8
そう思う	3167	5.8	1413	5.6	165	5.8	1172	6.3	417	5.8
とてもそう思う	2005	3.7	759	3.0	84	3.0	911	4.9	251	3.5

C 死亡前1週間の患者の苦痛症状

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
痛み										
欠損	3730	6.9	1932	7.6	177	6.3	1151	6.2	470	6.5
わからない	8025	14.8	4372	17.2	700	24.8	1880	10.1	1073	14.9
症状なし	9877	18.2	4306	16.9	728	25.8	3682	19.7	1161	16.1
少し	7345	13.6	3041	12.0	420	14.9	2895	15.5	989	13.7
まあまあ	9920	18.3	4436	17.4	447	15.8	3677	19.7	1360	18.8
ひどい	9078	16.8	4383	17.2	250	8.9	3175	17.0	1270	17.6
とてもひどい	6192	11.4	2966	11.7	102	3.6	2227	11.9	897	12.4
倦怠感・だるさ										
欠損	7089	13.1	3524	13.9	336	11.9	2305	12.3	924	12.8
わからない	9186	17.0	4850	19.1	805	28.5	2330	12.5	1201	16.6
症状なし	4488	8.3	2060	8.1	343	12.2	1549	8.3	536	7.4
少し	6382	11.8	2799	11.0	386	13.7	2420	13.0	777	10.8
まあまあ	10431	19.3	4555	17.9	483	17.1	3964	21.2	1429	19.8
ひどい	10159	18.8	4727	18.6	321	11.4	3700	19.8	1411	19.5
とてもひどい	6432	11.9	2921	11.5	150	5.3	2419	12.9	942	13.1
吐き気・嘔吐										
欠損	5989	11.1	3067	12.1	291	10.3	1809	9.7	822	11.4
わからない	6937	12.8	4147	16.3	637	22.6	1130	6.1	1023	14.2
症状なし	24439	45.1	10571	41.6	1306	46.3	9528	51.0	3034	42.0
少し	6495	12.0	2851	11.2	280	9.9	2467	13.2	897	12.4
まあまあ	4762	8.8	2227	8.8	182	6.4	1643	8.8	710	9.8
ひどい	3374	6.2	1573	6.2	94	3.3	1226	6.6	481	6.7
とてもひどい	2171	4.0	1000	3.9	34	1.2	884	4.7	253	3.5
便秘										
欠損	5925	10.9	3060	12.0	295	10.5	1773	9.5	797	11.0
わからない	10918	20.2	6679	26.3	922	32.7	1585	8.5	1732	24.0
症状なし	11899	22.0	5356	21.1	594	21.0	4505	24.1	1444	20.0
少し	7984	14.7	3266	12.8	384	13.6	3340	17.9	994	13.8
まあまあ	7322	13.5	3035	11.9	345	12.2	2959	15.8	983	13.6
ひどい	6174	11.4	2469	9.7	204	7.2	2737	14.7	764	10.6
とてもひどい	3945	7.3	1571	6.2	80	2.8	1788	9.6	506	7.0
食欲不振										
欠損	5308	9.8	2800	11.0	250	8.9	1543	8.3	715	9.9
わからない	4598	8.5	2864	11.3	438	15.5	692	3.7	604	8.4
症状なし	3220	5.9	1646	6.5	265	9.4	904	4.8	405	5.6
少し	6614	12.2	3030	11.9	415	14.7	2422	13.0	747	10.4
まあまあ	7415	13.7	3299	13.0	434	15.4	2722	14.6	960	13.3
ひどい	11885	21.9	5171	20.3	510	18.1	4568	24.4	1636	22.7
とてもひどい	15127	27.9	6626	26.1	512	18.1	5836	31.2	2153	29.8

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	体重減少									
欠損	4553	8.4	2371	9.3	214	7.6	1353	7.2	615	8.5
わからない	2934	5.4	1789	7.0	275	9.7	491	2.6	379	5.3
症状なし	3780	7.0	2023	8.0	233	8.3	1065	5.7	459	6.4
少し	7130	13.2	3564	14.0	493	17.5	2245	12.0	828	11.5
まあまあ	9212	17.0	4316	17.0	557	19.7	3110	16.6	1229	17.0
ひどい	11159	20.6	5034	19.8	536	19.0	4042	21.6	1547	21.4
とてもひどい	15399	28.4	6339	24.9	516	18.3	6381	34.2	2163	30.0
眠気										
欠損	5443	10.0	2811	11.1	257	9.1	1654	8.9	721	10.0
わからない	4902	9.0	2959	11.6	363	12.9	951	5.1	629	8.7
症状なし	4572	8.4	2435	9.6	198	7.0	1439	7.7	500	6.9
少し	7947	14.7	3695	14.5	431	15.3	2868	15.4	953	13.2
まあまあ	14957	27.6	6456	25.4	751	26.6	5733	30.7	2017	27.9
ひどい	9039	16.7	3933	15.5	513	18.2	3340	17.9	1253	17.4
とてもひどい	7307	13.5	3147	12.4	311	11.0	2702	14.5	1147	15.9
不眠										
欠損	6006	11.1	3053	12.0	291	10.3	1837	9.8	825	11.4
わからない	10506	19.4	5986	23.5	840	29.8	2145	11.5	1535	21.3
症状なし	13216	24.4	5627	22.1	884	31.3	5051	27.0	1654	22.9
少し	7605	14.0	3246	12.8	310	11.0	3096	16.6	953	13.2
まあまあ	9447	17.4	4100	16.1	331	11.7	3757	20.1	1259	17.4
ひどい	4650	8.6	2139	8.4	116	4.1	1767	9.5	628	8.7
とてもひどい	2737	5.1	1285	5.1	52	1.8	1034	5.5	366	5.1
呼吸困難										
欠損	5230	9.7	2677	10.5	254	9.0	1598	8.6	701	9.7
わからない	6152	11.4	3411	13.4	539	19.1	1299	7.0	903	12.5
症状なし	10762	19.9	4534	17.8	633	22.4	4267	22.8	1328	18.4
少し	8393	15.5	3505	13.8	472	16.7	3326	17.8	1090	15.1
まあまあ	9315	17.2	4045	15.9	449	15.9	3491	18.7	1330	18.4
ひどい	7465	13.8	3675	14.5	270	9.6	2585	13.8	935	13.0
とてもひどい	6850	12.6	3589	14.1	207	7.3	2121	11.4	933	12.9
掻痒感										
欠損	5372	9.9	2803	11.0	246	8.7	1606	8.6	717	9.9
わからない	11633	21.5	6498	25.6	857	30.4	2572	13.8	1706	23.6
症状なし	21844	40.3	9590	37.7	1010	35.8	8421	45.1	2823	39.1
少し	6586	12.2	2787	11.0	302	10.7	2612	14.0	885	12.3
まあまあ	4964	9.2	2098	8.3	245	8.7	1963	10.5	658	9.1
ひどい	2337	4.3	1012	4.0	108	3.8	956	5.1	261	3.6
とてもひどい	1431	2.6	648	2.6	56	2.0	557	3.0	170	2.4
嚥下困難										
欠損	5552	10.2	2924	11.5	250	8.9	1620	8.7	758	10.5
わからない	7527	13.9	4491	17.7	526	18.6	1401	7.5	1109	15.4
症状なし	8341	15.4	4166	16.4	356	12.6	2779	14.9	1040	14.4
少し	7828	14.5	3301	13.0	428	15.2	3126	16.7	973	13.5
まあまあ	7779	14.4	3222	12.7	449	15.9	3079	16.5	1029	14.3
ひどい	7483	13.8	3122	12.3	395	14.0	2985	16.0	981	13.6
とてもひどい	9657	17.8	4210	16.6	420	14.9	3697	19.8	1330	18.4

C-2 死亡前1週間の患者の苦痛症状「痛み」があった理由

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	「ひどい・とてもひどい」痛みがあった人									
痛みの理由（複数選択可）										
苦痛に対処してくれたが不十分だった	4336	28.4	2312	31.5	88	25.0	1324	24.5	612	28.2
診察回数や診察時間が不十分だった	1480	9.7	822	11.2	61	17.3	422	7.8	175	8.1
苦痛を伝えたが対処してくれなかった	484	3.2	289	3.9	25	7.1	132	2.4	38	1.8
担当医が定まらず、その場での対処だった	477	3.1	280	3.8	16	4.6	126	2.3	55	2.5
話しにくい雰囲気があった	355	2.3	215	2.9	7	2.0	89	1.7	44	2.0
苦痛について質問されなかった	353	2.3	213	2.9	9	2.6	94	1.7	37	1.7
その他	5721	37.5	2395	32.6	129	36.7	2393	44.3	804	37.1
わからない	2113	13.8	1122	15.3	53	15.1	610	11.3	328	15.1

痛みの理由「その他」の自由記述内容

記述内容	(n=5592) 記述数
医療従事者の疼痛管理の問題	
医療者は対処したが、薬の効果が切れてしまった	1763
医療者の治療や対処が十分ではなかった	318
医療者に症状を伝えたが対処してもらえなかった	90
医療者から痛みの治療について十分な説明がなかった	26
嚥下困難やルート確保が困難となり、服薬や治療が難しくなった	37
診療を担当する医師が毎回変わるため、場当り的な対処だった	23
病気の進行に対する患者・家族のあきらめ	
病状が悪化していったため	530
痛みは仕方がないものと思った	219
患者や家族の意思	
患者本人が痛みを我慢して医療者に伝えなかった	287
患者本人が薬を服用しようとしなかった	191
家族が痛みの治療を希望しなかった	28
併存症や医療処置が原因の痛み	
褥瘡や骨折、腰痛などの併存症による痛みがあった	128
吸引などの医療処置により痛みが生じていた	33
認知機能の低下等による痛みの評価の問題	
意識がなく、痛みについて意思表示できない状況だった	124
患者本人が医療者に痛みの状況を正確に伝えられなかった	71
認知症やせん妄によって、痛みに関する意思疎通が難しかった	47
医療へのアクセスの問題	
自宅や施設で療養しており、医師の診療がすぐに受けられない環境だった	52
急に発症して急死したため、治療を受けなかった	34
病気の診断が遅れ、適切な治療が受けられなかった	31
医療従事者の対処により改善した痛み	
痛みはあったが、医療者の対処によって改善した	1468
記述内容から解釈不可	
不明	92

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	患者本人の病状認識									
患者さまはお亡くなりになる1カ月前、ご自身の病気をどのようにお考えになっていましたか										
欠損	1292	2.4	676	2.7	79	2.8	413	2.2	124	1.7
重い病状で、治らないと考えていた	26758	49.4	11101	43.6	764	27.1	10611	56.8	4282	59.3
重い病状だが、治ると考えていた	9901	18.3	5454	21.4	207	7.3	2921	15.6	1319	18.3
それほど重い病状だとは考えていなかった	4488	8.3	2521	9.9	282	10.0	1276	6.8	409	5.7
病気の自覚がなかった	3950	7.3	1922	7.6	708	25.1	1027	5.5	293	4.1
わからない	7778	14.4	3762	14.8	784	27.8	2439	13.1	793	11.0
希望する最期の療養場所										
患者さまは最期をどこでむかえたいと希望していましたか										
欠損	1785	3.3	831	3.3	87	3.1	708	3.8	159	2.2
自宅	30611	56.5	10828	42.6	1054	37.3	16194	86.7	2535	35.1
病院	5148	9.5	4238	16.7	57	2.0	149	0.8	704	9.8
PCU	3013	5.6	860	3.4	40	1.4	156	0.8	1957	27.1
介護施設・老人ホーム	1053	1.9	267	1.1	625	22.1	130	0.7	+31	0.4
その他	139	0.3	81	0.3	6	0.2	34	0.2	18	0.3
希望はなかった	4088	7.5	2851	11.2	269	9.5	405	2.2	563	7.8
わからない	8330	15.4	5480	21.5	686	24.3	911	4.9	1253	17.4
最期の療養場所に関する患者と主治医間の話し合い										
患者さまがお亡くなりになる1カ月前頃までに、最期をどこで過ごすか（自宅や希望の病院など）について、患者さまは主治医等と十分に話し合いができましたか										
欠損	2651	4.9	1397	5.5	188	6.7	779	4.2	287	4.0
まったくそう思わない	4338	8.0	2543	10.0	296	10.5	985	5.3	514	7.1
そう思わない	7246	13.4	3819	15.0	484	17.1	1825	9.8	1118	15.5
そう思う	17901	33.0	6138	24.1	654	23.2	8522	45.6	2587	35.8
とてもそう思う	5591	10.3	1216	4.8	123	4.4	3634	19.5	618	8.6
急に亡くなったので、話し合える状況ではなかったなど	7272	13.4	5258	20.7	264	9.4	986	5.3	764	10.6
わからない	9168	16.9	5065	19.9	815	28.9	1956	10.5	1332	18.5
死亡前の蘇生処置										
患者さまがお亡くなりになる時、蘇生処置が行われましたか										
欠損	1673	3.1	795	3.1	90	3.2	616	3.3	172	2.4
はい	4583	8.5	3088	12.1	206	7.3	947	5.1	342	4.7
いいえ	42714	78.9	17973	70.7	2080	73.7	16621	88.9	6040	83.7
わからない	5197	9.6	3580	14.1	448	15.9	503	2.7	666	9.2
蘇生処置の希望										
患者さまは、心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置を希望していましたか										
欠損	1727	3.2	821	3.2	94	3.3	632	3.4	180	2.5
はい	1413	2.6	862	3.4	68	2.4	335	1.8	148	2.1
いいえ	31110	57.4	13675	53.8	1551	54.9	11294	60.4	4590	63.6
わからない	19917	36.8	10078	39.6	1111	39.3	6426	34.4	2302	31.9

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%

蘇生処置に関する患者と主治医間の話し合い

患者さまは主治医等と、病状が悪化して心臓や呼吸が止まった場合に備え、蘇生処置を行うかについて、十分に話し合いができましたか

欠損	2292	4.2	1059	4.2	122	4.3	857	4.6	254	3.5
まったくそう思わない	4074	7.5	2192	8.6	189	6.7	1270	6.8	423	5.9
そう思わない	6526	12.0	3286	12.9	311	11.0	2145	11.5	784	10.9
そう思う	15254	28.2	6775	26.6	778	27.6	5291	28.3	2410	33.4
とてもそう思う	3865	7.1	1435	5.6	195	6.9	1649	8.8	586	8.1
わからない	14686	27.1	7568	29.8	761	27.0	4459	23.9	1898	26.3
該当しない	7470	13.8	3121	12.3	468	16.6	3016	16.1	865	12.0

最期の医療に関する事前指示書の作成

患者さまは、意思決定ができなくなったときに備えて、療養場所や蘇生処置など、どのような医療・療養を受けたいか、あるいは受けたくないかなどについて記載した書面を作成していたと思いますか

欠損	1797	3.3	827	3.3	93	3.3	690	3.7	187	2.6
作成していない	31260	57.7	13860	54.5	1600	56.7	12071	64.6	3729	51.7
おそらく作成していない	6377	11.8	3351	13.2	303	10.7	1857	9.9	866	12.0
おそらく作成していた	2460	4.5	1208	4.8	124	4.4	664	3.6	464	6.4
作成していた	4511	8.3	1897	7.5	334	11.8	1436	7.7	844	11.7
わからない	7762	14.3	4293	16.9	370	13.1	1969	10.5	1130	15.7

家族の患者に対する病状認識

あなたは（家族）、患者さまの病気をどのようにお考えになっていましたか

欠損	1214	2.2	583	2.3	119	4.2	417	2.2	95	1.3
重い病状で、治らないと考えていた	41830	77.2	18222	71.6	2292	81.2	15416	82.5	5900	81.7
重い病状だが、治ると考えていた	7129	13.2	4162	16.4	119	4.2	1944	10.4	904	12.5
それほど重い病状だとは考えていなかった	2586	4.8	1528	6.0	189	6.7	633	3.4	236	3.3
重い病状であることを知らなかった	973	1.8	660	2.6	54	1.9	199	1.1	60	0.8
発症前だった	435	0.8	281	1.1	51	1.8	78	0.4	25	0.4

家族と患者で終末期医療に関する事前指示について話し合いができたか

あなた（家族）と患者さまは、意思決定できなくなったときに備えて、療養場所や蘇生処置など、どのような医療や療養を受けたいか、十分に話し合いができましたか

欠損	1984	3.7	943	3.7	114	4.0	740	4.0	187	2.6
まったくそう思わない	6489	12.0	3678	14.5	374	13.2	1706	9.1	731	10.1
そう思わない	13624	25.2	7228	28.4	707	25.0	3907	20.9	1782	24.7
そう思う	18936	35.0	7940	31.2	948	33.6	7240	38.7	2808	38.9
とてもそう思う	5248	9.7	1706	6.7	242	8.6	2540	13.6	760	10.5
わからない	7886	14.6	3941	15.5	439	15.6	2554	13.7	952	13.2

蘇生処置に関する家族と主治医間の話し合い

あなた（家族）は患者さまの主治医等と、患者さまの病状が悪化して心臓や呼吸が止まった場合に備え、蘇生処置を行うかについて、十分に話し合いができましたか

欠損	1750	3.2	829	3.3	95	3.4	647	3.5	179	2.5
まったくそう思わない	3919	7.2	2160	8.5	156	5.5	1212	6.5	391	5.4
そう思わない	7938	14.7	4093	16.1	303	10.7	2592	13.9	950	13.2
そう思う	23643	43.6	11226	44.1	1447	51.2	7590	40.6	3380	46.8
とてもそう思う	6636	12.3	2588	10.2	409	14.5	2681	14.4	958	13.3
わからない	5876	10.8	2810	11.1	245	8.7	2007	10.7	814	11.3
該当しない	4405	8.1	1730	6.8	169	6.0	1958	10.5	548	7.6

D-2 在宅療養の希望がかなわなかった理由

	全体 (n=14417)		病院 (n=10828)		施設 (n=1054)		PCU (n=2535)	
	No	%	No	%	No	%	No	%
自宅で最期を迎えることを希望していた人								
希望がかなわなかった理由（複数選択可）								
こんなに早く悪くなると思っていなかったので、相談や準備をしていなかった	4241	29.4	3417	31.6	147	14.0	677	26.7
急な変化があったときや夜間の対応が心配だった	4000	27.8	2704	25.0	378	35.9	918	36.2
痛みや呼吸困難などのからだの苦痛が取れなかった	3965	27.5	2985	27.6	137	13.0	843	33.3
症状は落ち着いていたが、自宅で介護（生活）をすることが大変だった	2638	18.3	1563	14.4	568	53.9	507	20.0
よくなると信じており、気持ちの整理ができず、相談や準備をしていなかった	1372	9.5	1119	10.3	37	3.5	216	8.5
治療を続けたかったので、相談や準備をしていなかった	1159	8.0	951	8.8	47	4.5	161	6.4
医師から自宅で過ごせることの説明がなかった	832	5.8	647	6.0	43	4.1	142	5.6
在宅で見えてくれる診療所の医師や看護師が見つからなかった	811	5.6	576	5.3	88	8.4	147	5.8
その他	2595	18.0	1818	16.8	278	26.4	499	19.7
わからない	240	1.7	193	1.8	19	1.8	28	1.1

E 家族の介護負担感

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	あなたの介護体験についてお伺いします、最も近い番号を1つずつお選びください									
介護をしたことで、全体的に負担感が大きかった										
欠損	2223	4.1	1282	5.0	139	4.9	580	3.1	222	3.1
全くそう思わない	7004	12.9	3299	13.0	143	5.1	2638	14.1	924	12.8
そう思わない	8643	16.0	4127	16.2	280	9.9	3008	16.1	1228	17.0
あまりそう思わない	8698	16.1	4057	16.0	389	13.8	3071	16.4	1181	16.4
どちらともいえない	5998	11.1	2931	11.5	355	12.6	1831	9.8	881	12.2
ややそう思う	10167	18.8	4634	18.2	690	24.4	3546	19.0	1297	18.0
そう思う	7784	14.4	3483	13.7	572	20.3	2707	14.5	1022	14.2
とてもそう思う	3650	6.7	1623	6.4	256	9.1	1306	7.0	465	6.4
介護をしたことで、自分の時間や予定が犠牲になった										
欠損	2207	4.1	1275	5.0	145	5.1	570	3.1	217	3.0
全くそう思わない	8953	16.5	4114	16.2	180	6.4	3426	18.3	1233	17.1
そう思わない	10149	18.7	4776	18.8	335	11.9	3574	19.1	1464	20.3
あまりそう思わない	8835	16.3	4183	16.5	450	15.9	3028	16.2	1174	16.3
どちらともいえない	5669	10.5	2702	10.6	368	13.0	1772	9.5	827	11.5
ややそう思う	9100	16.8	4279	16.8	686	24.3	2992	16.0	1143	15.8
そう思う	6381	11.8	2891	11.4	465	16.5	2232	11.9	793	11.0
とてもそう思う	2873	5.3	1216	4.8	195	6.9	1093	5.9	369	5.1
介護をしたことで、身体的な負担が大きかった										
欠損	2221	4.1	1299	5.1	145	5.1	556	3.0	221	3.1
全くそう思わない	6409	11.8	3083	12.1	138	4.9	2353	12.6	835	11.6
そう思わない	9259	17.1	4447	17.5	333	11.8	3164	16.9	1315	18.2
あまりそう思わない	9745	18.0	4649	18.3	521	18.5	3289	17.6	1286	17.8
どちらともいえない	5861	10.8	2844	11.2	376	13.3	1789	9.6	852	11.8
ややそう思う	10824	20.0	4835	19.0	650	23.0	3897	20.9	1442	20.0
そう思う	6590	12.2	2893	11.4	447	15.8	2403	12.9	847	11.7
とてもそう思う	3258	6.0	1386	5.5	214	7.6	1236	6.6	422	5.8
介護をしたことで、精神的な負担が大きかった										
欠損	2225	4.1	1280	5.0	149	5.3	572	3.1	224	3.1
全くそう思わない	5611	10.4	2634	10.4	127	4.5	2154	11.5	696	9.6
そう思わない	7947	14.7	3757	14.8	286	10.1	2792	14.9	1112	15.4
あまりそう思わない	7815	14.4	3638	14.3	400	14.2	2768	14.8	1009	14.0
どちらともいえない	5442	10.1	2589	10.2	319	11.3	1760	9.4	774	10.7
ややそう思う	11413	21.1	5292	20.8	682	24.2	3938	21.1	1501	20.8
そう思う	8487	15.7	3901	15.3	535	18.9	2883	15.4	1168	16.2
とてもそう思う	5227	9.7	2345	9.2	326	11.5	1820	9.7	736	10.2

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	介護をしたことで、経済的な負担が大きかった									
欠損	2203	4.1	1268	5.0	144	5.1	575	3.1	216	3.0
全くそう思わない	9585	17.7	4135	16.3	357	12.6	3815	20.4	1278	17.7
そう思わない	10723	19.8	4935	19.4	480	17.0	3788	20.3	1520	21.1
あまりそう思わない	10425	19.3	4779	18.8	557	19.7	3688	19.7	1401	19.4
どちらともいえない	6588	12.2	3166	12.5	330	11.7	2177	11.7	915	12.7
ややそう思う	7263	13.4	3523	13.9	462	16.4	2347	12.6	931	12.9
そう思う	4610	8.5	2273	8.9	307	10.9	1430	7.7	600	8.3
とてもそう思う	2770	5.1	1357	5.3	187	6.6	867	4.6	359	5.0
介護について、自分にできるだけのことではできた										
欠損	1700	3.1	1021	4.0	122	4.3	390	2.1	167	2.3
全くそう思わない	2146	4.0	1142	4.5	60	2.1	644	3.5	300	4.2
そう思わない	2654	4.9	1481	5.8	132	4.7	672	3.6	369	5.1
あまりそう思わない	3233	6.0	1746	6.9	160	5.7	839	4.5	488	6.8
どちらともいえない	7150	13.2	3652	14.4	400	14.2	2026	10.8	1072	14.9
ややそう思う	10153	18.7	4879	19.2	590	20.9	3288	17.6	1396	19.3
そう思う	18124	33.5	7980	31.4	959	34.0	6820	36.5	2365	32.8
とてもそう思う	9007	16.6	3535	13.9	401	14.2	4008	21.5	1063	14.7

F 最近 2 週間の遺族の抑うつ症状

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	この 2 週間に、次のような問題にどのくらい頻繁に悩まされていますか、最も近い番号を 1 つずつお選びください									
物事に対してほとんど興味が無い、楽しめない										
欠損	2928	5.4	1569	6.2	153	5.4	952	5.1	254	3.5
全くない	29359	54.2	13361	52.5	1771	62.7	10417	55.7	3810	52.8
数日	12512	23.1	5910	23.2	568	20.1	4215	22.6	1819	25.2
半分以上	5818	10.7	2880	11.3	215	7.6	1881	10.1	842	11.7
ほとんど毎日	3550	6.6	1716	6.8	117	4.1	1222	6.5	495	6.9
気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的になる										
欠損	2734	5.1	1455	5.7	146	5.2	920	4.9	213	3.0
全くない	28583	52.8	12988	51.1	1798	63.7	10100	54.1	3697	51.2
数日	15351	28.3	7298	28.7	637	22.6	5192	27.8	2224	30.8
半分以上	4699	8.7	2310	9.1	152	5.4	1551	8.3	686	9.5
ほとんど毎日	2800	5.2	1385	5.5	91	3.2	924	4.9	400	5.5
死んだ方が良かった、あるいは自分を何らかの方法で傷つけようと思ったことがある										
欠損	2923	5.4	1594	6.3	159	5.6	933	5.0	237	3.3
全くない	45845	84.6	21230	83.5	2473	87.6	15954	85.4	6188	85.7
数日	3642	6.7	1756	6.9	132	4.7	1222	6.5	532	7.4
半分以上	1161	2.1	575	2.3	42	1.5	365	2.0	179	2.5
ほとんど毎日	596	1.1	281	1.1	18	0.6	213	1.1	84	1.2

G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	お亡くなりになられた患者さまに対する、あなたのお気持ちについてお伺いします									
この1カ月間に、亡くなった方を慕い、会いたいと思いがれることがどのくらいありましたか										
欠損	2203	4.1	1186	4.7	126	4.5	730	3.9	161	2.2
全くなかった	9709	17.9	4554	17.9	865	30.6	3144	16.8	1146	15.9
少なくとも1回はあった	15177	28.0	7120	28.0	973	34.5	4974	26.6	2110	29.2
少なくとも週に1回はあった	11565	21.4	5510	21.7	489	17.3	3908	20.9	1658	23.0
少なくとも1日に1回はあった	10805	20.0	4910	19.3	286	10.1	4056	21.7	1553	21.5
1日に数回あった	4708	8.7	2156	8.5	85	3.0	1875	10.0	592	8.2
この1か月間に、亡くなった方との関係が失われたことにつわる心の痛みや、悲哀、悲しみが急にこみ上げるなどの強い感情を体験することがどのくらいありましたか										
欠損	2202	4.1	1194	4.7	121	4.3	735	3.9	152	2.1
全くなかった	14179	26.2	6517	25.6	1165	41.3	4772	25.5	1725	23.9
少なくとも1回はあった	16931	31.3	7967	31.3	907	32.1	5651	30.2	2406	33.3
少なくとも週に1回はあった	11062	20.4	5173	20.3	389	13.8	3881	20.8	1619	22.4
少なくとも1日に1回はあった	6662	12.3	3049	12.0	174	6.2	2514	13.5	925	12.8
1日に数回あった	3131	5.8	1536	6.0	68	2.4	1134	6.1	393	5.4

H 死別後の遺族の心残りや後悔、医療支援ニーズ

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
	お亡くなりになった患者さまの病気や療養生活について心残りや後悔はありますか									
欠損	1420	2.6	810	3.2	83	2.9	460	2.5	67	0.9
非常にある	11830	21.8	6149	24.2	309	10.9	3697	19.8	1675	23.2
少しある	23858	44.1	11343	44.6	1254	44.4	7918	42.4	3343	46.3
あまりない	11005	20.3	4768	18.8	709	25.1	4107	22.0	1421	19.7
全くない	6054	11.2	2366	9.3	469	16.6	2505	13.4	714	9.9
患者さまがお亡くなりになった後に、友人・知人・家族以外の医療者によるサポート（支援）を受けたいと思ったことはありましたか										
欠損	1747	3.2	975	3.8	93	3.3	574	3.1	105	1.5
受けた	3701	6.8	1502	5.9	152	5.4	1566	8.4	481	6.7
受けたいと思ったが受けなかった	8030	14.8	3802	15.0	341	12.1	2693	14.4	1194	16.5
受けたいと思ったことは無い	40689	75.1	19157	75.3	2238	79.3	13854	74.1	5440	75.4

I 在宅診療・介護保険の利用状況

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%

在宅診療の利用状況

患者さまは、亡くなる前6カ月間に、在宅で定期的に医師の訪問による診療（訪問診療）を受けた期間はありましたか

欠損	6382	11.8	3937	15.5	546	19.3	948	5.1	951	13.2
定期的な訪問診療を受けた	20213	37.3	3782	14.9	906	32.1	14233	76.2	1292	17.9
定期的な訪問診療を受けなかった	27572	50.9	17717	69.7	1372	48.6	3506	18.8	4977	68.9

在宅診療を定期的に利用していた人

	(n=20213)		(n=3782)		(n=906)		(n=14233)		(n=1292)	
在宅訪問診療を受けている間、必要ときに病状を知っている医師または看護師に連絡を取ることができていましたか										
欠損	198	1.0	86	2.3	16	1.8	78	0.6	18	1.4
そう思う	16256	80.4	2471	65.3	618	68.2	12252	86.1	915	70.8
ややそう思う	2459	12.2	667	17.6	166	18.3	1407	9.9	219	17.0
どちらとも言えない	527	2.6	208	5.5	40	4.4	225	1.6	54	4.2
あまりそう思わない	206	1.0	77	2.0	14	1.6	91	0.6	24	1.9
そう思わない	289	1.4	119	3.2	23	2.5	110	0.8	37	2.9
わからない	278	1.4	154	4.1	29	3.2	70	0.5	25	1.9

在宅訪問診療を利用して必要な医療を十分に受けることができたと思いますか

欠損	277	1.4	136	3.6	17	1.9	87	0.6	37	2.9
そう思う	12625	62.5	1777	47.0	496	54.8	9706	68.2	646	50.0
ややそう思う	4647	23.0	998	26.4	230	25.4	3068	21.6	351	27.2
どちらとも言えない	1237	6.1	331	8.8	83	9.2	710	5.0	113	8.8
あまりそう思わない	473	2.3	159	4.2	20	2.2	246	1.7	48	3.7
そう思わない	497	2.5	187	4.9	15	1.7	242	1.7	53	4.1
わからない	457	2.3	194	5.1	45	5.0	174	1.2	44	3.4

在宅訪問診療を利用して必要な支援を十分に受けることができたと感じますか

欠損	347	1.7	174	4.6	30	3.3	98	0.7	45	3.5
そう思う	11988	59.3	1626	43.0	470	51.9	9319	65.5	573	44.4
ややそう思う	5000	24.7	1009	26.7	251	27.7	3352	23.6	388	30.0
どちらとも言えない	1277	6.3	378	10.0	63	7.0	713	5.0	123	9.5
あまりそう思わない	459	2.3	145	3.8	26	2.9	233	1.6	55	4.3
そう思わない	492	2.4	186	4.9	21	2.3	230	1.6	55	4.3
わからない	650	3.2	264	7.0	45	5.0	288	2.0	53	4.1

I 在宅診療・介護保険の利用状況

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%

介護保険の利用状況

患者さまは、お亡くなりになる前6カ月間に、介護保険サービスを利用したことがありますか

欠損	3799	7.0	1983	7.8	235	8.3	1131	6.1	450	6.2
利用したことがある	29561	54.6	10021	39.4	2408	85.3	14248	76.3	2884	39.9
一回も利用したことがない	20807	38.4	13432	52.8	181	6.4	3308	17.7	3886	53.8

死亡前6カ月間に介護保険を利用したことがある人

	(n=29561)		(n=10021)		(n=2408)		(n=14248)		(n=2884)	
必要な介護保険を十分に受けることができましたと感じますか										
欠損	170	0.6	66	0.7	7	0.3	78	0.6	19	0.7
そう思う	15946	53.9	4746	47.4	1406	58.4	8560	60.1	1234	42.8
ややそう思う	8095	27.4	2892	28.9	607	25.2	3730	26.2	866	30.0
どちらとも言えない	2184	7.4	915	9.1	156	6.5	819	5.8	294	10.2
あまりそう思わない	1370	4.6	610	6.1	84	3.5	463	3.3	213	7.4
そう思わない	916	3.1	420	4.2	47	2.0	304	2.1	145	5.0
わからない	880	3.0	372	3.7	101	4.2	294	2.1	113	3.9

死亡前6カ月間に介護保険を利用したことがない人

	(n=20807)		(n=13432)		(n=181)		(n=3308)		(n=3886)	
介護保険を利用したことがない理由										
欠損	1783	8.6	1182	8.8	17	9.4	267	8.1	317	8.2
介護保険を知らなかった	1565	7.5	995	7.4	23	12.7	256	7.7	291	7.5
申請しなかった	9052	43.5	5915	44.0	63	34.8	1425	43.1	1649	42.4
申請したが利用できなかった	4849	23.3	2972	22.1	40	22.1	883	26.7	954	24.6
わからない	3558	17.1	2368	17.6	38	21.0	477	14.4	675	17.4

介護保険を利用したことが無く、申請したが利用できなかった人

	(n=4849)		(n=2972)		(n=40)		(n=883)		(n=954)	
介護保険を申請したが利用できなかった理由（複数選択可）										
介護認定は受けたが、患者さまや家族の意向で利用しなかった	447	9.2	253	8.5	7	17.5	74	8.4	113	11.8
介護認定に必要な調査を受ける前に患者さまが亡くなられた	2413	49.8	1539	51.8	11	27.5	452	51.2	411	43.1
介護認定の等級が低く、希望したサービスを利用できなかった	471	9.7	264	8.9	3	7.5	89	10.1	115	12.1
介護認定結果がでる前に、暫定ケアプランを利用できることを知らなかった	178	3.7	102	3.4	1	2.5	39	4.4	36	3.8
その他	1443	29.8	865	29.1	13	32.5	256	29.0	309	32.4
わからない	81	1.7	45	1.5	3	7.5	16	1.8	17	1.8

J 病名告知や受けた治療の状況

粗集計値	全体 (N=54167)		病院 (n=25436)		施設 (n=2824)		自宅 (n=18687)		PCU (n=7220)	
	No	%	No	%	No	%	No	%	No	%
お亡くなりになる前までに、医師から患者さまへ病名をどのように説明されましたか										
欠損	4619	8.5	2569	10.1	555	19.7	1399	7.5	96	1.3
はっきり説明された	42300	78.1	19216	75.6	1571	55.6	15009	80.3	6504	90.1
あいまいに説明された	3354	6.2	1645	6.5	255	9.0	1126	6.0	328	4.5
まったく異なる病名が説明された	1018	1.9	496	2.0	101	3.6	372	2.0	49	0.7
わからない	2876	5.3	1510	5.9	342	12.1	781	4.2	243	3.4
最終的に、医師から患者さまへ「がんの治癒」について、どのように説明されましたか										
欠損	8546	15.8	4494	17.7	599	21.2	2737	14.7	716	9.9
治らないことが説明された	28130	51.9	11983	47.1	1212	42.9	10467	56.0	4468	61.9
あいまいに説明された	8358	15.4	4220	16.6	329	11.7	2726	14.6	1083	15.0
治ると説明された	1572	2.9	919	3.6	73	2.6	446	2.4	134	1.9
わからない	7561	14.0	3820	15.0	611	21.6	2311	12.4	819	11.3
患者さまが受けたがんの治療をすべてお選びください（複数選択可）										
がんの治療は受けていない	13851	25.6	5989	23.6	1234	43.7	5008	26.8	1620	22.4
手術	15928	29.4	7050	27.7	528	18.7	5863	31.4	2487	34.5
放射線	11696	21.6	5112	20.1	263	9.3	4237	22.7	2084	28.9
抗がん剤治療	28376	52.4	13325	52.4	588	20.8	9916	53.1	4547	63.0
他のがん治療	4262	7.9	2018	7.9	200	7.1	1525	8.2	519	7.2
わからない	1546	2.9	931	3.7	111	3.9	343	1.8	161	2.2

抗がん剤治療を受けた人

	(n=28376)		(n=13325)		(n=588)		(n=9916)		(n=4547)	
抗がん剤治療をやめること（これ以上行わないこと）を医師と患者さまとの間で話し合いましたか										
欠損	1458	5.1	797	6.0	33	5.6	440	4.4	188	4.1
話し合わなかった	5229	18.4	2870	21.5	119	20.2	1571	15.8	669	14.7
話し合った	17662	62.2	7356	55.2	318	54.1	6864	69.2	3124	68.7
わからない	4027	14.2	2302	17.3	118	20.1	1041	10.5	566	12.5
抗がん剤の最後の投与日はいつ頃でしたか										
欠損	1494	5.3	733	5.5	64	10.9	518	5.2	179	3.9
亡くなる2週間以内	3430	12.1	2214	16.6	44	7.5	761	7.7	411	9.0
亡くなる1か月以内	4491	15.8	2342	17.6	35	6.0	1363	13.8	751	16.5
亡くなる2-3か月前	6833	24.1	2694	20.2	86	14.6	2784	28.1	1269	27.9
亡くなる4-6か月前	3378	11.9	1194	9.0	65	11.1	1512	15.3	607	13.4
亡くなる半年以上前	4368	15.4	1586	11.9	132	22.5	1904	19.2	746	16.4
わからない	4382	15.4	2562	19.2	162	27.6	1074	10.8	584	12.8
抗がん剤治療をやめた時期について、あなたはどのように感じていますか										
欠損	2029	7.2	1113	8.4	70	11.9	616	6.2	230	5.1
もっと早くやめればよかった	2302	8.1	974	7.3	33	5.6	945	9.5	350	7.7
もう少し早くやめればよかった	2092	7.4	830	6.2	35	6.0	862	8.7	365	8.0
ちょうどよかった	5149	18.2	2083	15.6	134	22.8	2031	20.5	901	19.8
もう少し続けたかった	2374	8.4	1028	7.7	27	4.6	848	8.6	471	10.4
もっと続けたかった	1583	5.6	775	5.8	15	2.6	507	5.1	286	6.3
わからない	12847	45.3	6522	49.0	274	46.6	4107	41.4	1944	42.8

2 該当割合 表

1) 全体・死亡場所別

	全体 (N=54167)				病院 (n=25436)			
	粗集計値	補正值	95% 信頼区間		粗集計値	補正值	95% 信頼区間	
	%	%			%	%		
A-1 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス								
「4. ややそう思う～6. 非常にそう思う」 回答割合								
医療者は患者さまのつらい症状にすみやかに対応していた	84.0	82.4	82.1	82.7	80.9	80.1	79.6	80.6
医師は、患者さまのからだの苦痛をやわらげるように努めていた	86.1	84.9	84.6	85.3	83.8	83.3	82.8	83.7
看護師や介護職員は患者さまのからだの苦痛をやわらげるように努めていた	87.8	86.4	86.1	86.7	84.8	84.3	83.9	84.8
患者さまの不安や心配をやわらげるように医師・看護師・介護職員は努めていた	84.5	82.2	81.8	82.5	80.3	79.3	78.8	79.8
医師の患者さまへの病状や治療内容の説明は十分だった	79.9	78.4	78.1	78.8	77.3	76.6	76.1	77.1
医師のご家族への病状や治療内容の説明は十分だった	84.5	83.1	82.8	83.4	82.1	81.4	81.0	81.9
病室(自宅)は生活しやすく、快適だった	83.0	80.1	79.7	80.4	77.1	76.2	75.7	76.8
ご家族が健康を維持できるような配慮があった	73.3	69.2	68.8	69.6	66.7	65.0	64.4	65.6
支払った費用の金額は妥当だった	77.1	75.8	75.5	76.2	75.2	74.5	74.0	75.0
必要なときに待たずに入院(利用)できた	83.0	85.9	85.6	86.2	88.9	88.2	87.8	88.6
医師・看護師・介護職員など医療者どうしの連携はよかった	82.4	79.4	79.1	79.7	78.0	76.6	76.1	77.1
医師は、患者さまと良い関係を築いていた	79.0	76.3	76.0	76.7	75.2	74.2	73.6	74.7
看護師や介護職員は、患者さまと良い関係を築いていた	84.6	82.2	81.9	82.5	80.1	79.3	78.9	79.8

A-2 死亡場所で受けた医療に対する満足度

「4. やや満足～6. 非常に満足」 回答割合

お亡くなりになった場所で受けた医療は全般的に満足でしたか	75.1	72.0	71.7	72.4	70.1	68.8	68.3	69.4
------------------------------	------	------	------	------	------	------	------	------

B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質

「5. ややそう思う～7. とてもそう思う」 回答割合

痛みが少なく過ごせた	49.5	47.2	46.7	47.6	43.7	43.4	42.8	44.0
からだの苦痛が少なく過ごせた	44.4	41.5	41.1	41.9	38.3	37.5	36.9	38.1
おだやかな気持ちで過ごせた	50.9	45.2	44.8	45.6	39.8	39.4	38.8	40.0
望んだ場所で過ごせた	57.5	47.9	47.4	48.3	41.0	41.2	40.6	41.8
楽しみになるようなことがあった	34.0	29.5	29.1	29.9	25.4	25.8	25.3	26.3
医師を信頼していた	66.6	63.1	62.7	63.6	62.2	61.1	60.5	61.7
人に迷惑をかけてつらいと感じていた	41.4	40.2	39.8	40.6	38.8	39.6	39.0	40.2
ご家族やご友人と十分に時間を過ごせた	63.7	58.7	58.3	59.2	54.0	54.2	53.6	54.8
身の回りのことはたいてい自分でできた	28.1	29.5	29.1	29.9	30.8	31.4	30.9	32.0
落ち着いた環境で過ごせた	68.9	62.9	62.5	63.3	57.0	56.7	56.1	57.3
ひととして大切にされていた	82.1	78.7	78.3	79.0	76.1	75.5	74.9	76.0
人生をまっとうしたと感じていた	48.4	44.6	44.2	45.0	42.7	41.9	41.3	42.6
納得がいくまで治療を受けられた	49.9	46.7	46.3	47.1	45.6	44.4	43.8	45.0
自然に近い形で過ごせた	58.7	51.5	51.1	51.9	46.4	45.9	45.2	46.5
大切な人に伝えたいことを伝えられた	43.0	39.6	39.2	40.0	36.6	36.3	35.7	36.9
先々に起こることを詳しく知っていた	40.2	38.9	38.5	39.3	35.5	36.4	35.8	37.0
病気や死を意識せずに過ごせた	22.1	20.0	19.7	20.3	19.5	19.0	18.5	19.5
他人に弱った姿をみせてつらいと感じていた	45.7	45.2	44.8	45.7	44.4	44.8	44.2	45.4
生きていることに価値を感じられた	36.3	34.5	34.1	34.9	33.3	33.6	33.1	34.2
信仰に支えられていた	14.6	13.1	12.8	13.4	13.4	12.6	12.2	13.0

施設 (n=2824)				自宅 (n=18687)				PCU (n=7220)			
粗集計値	補正值	95% 信頼区間		粗集計値	補正值	95% 信頼区間		粗集計値	補正值	95% 信頼区間	
%	%			%	%			%	%		
80.5	80.2	78.7	81.7	86.9	86.5	86.0	86.9	88.5	89.4	88.7	90.1
80.1	79.4	77.9	80.9	88.3	88.0	87.5	88.5	91.0	91.1	90.4	91.7
85.6	84.9	83.5	86.2	90.5	89.9	89.4	90.3	92.4	92.7	92.1	93.3
84.0	83.4	82.0	84.8	88.6	87.9	87.4	88.4	89.3	89.5	88.8	90.2
73.9	74.4	72.8	76.0	82.8	81.9	81.3	82.4	83.8	84.3	83.5	85.1
83.7	83.3	81.9	84.6	86.6	85.6	85.1	86.1	87.7	88.3	87.5	89.0
84.4	84.5	83.1	85.8	88.7	88.3	87.9	88.8	88.9	89.0	88.3	89.8
73.6	73.5	71.8	75.1	80.2	79.2	78.6	79.8	78.6	78.4	77.4	79.3
77.7	78.0	76.4	79.5	78.7	78.0	77.4	78.6	79.5	79.2	78.3	80.2
75.7	75.1	73.5	76.7	73.9	73.0	72.4	73.7	88.9	88.1	87.3	88.8
81.4	80.1	78.6	81.6	87.3	86.5	86.0	87.0	85.7	85.9	85.0	86.7
71.8	70.4	68.6	72.0	84.3	83.4	82.8	83.9	81.9	81.6	80.7	82.5
85.0	84.1	82.7	85.4	89.4	88.9	88.5	89.4	88.3	88.6	87.9	89.3

76.9	76.0	74.4	77.6	80.2	79.1	78.5	79.7	78.7	79.4	78.4	80.3
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

55.4	55.0	53.1	56.8	54.1	53.8	53.1	54.5	55.8	56.2	55.1	57.4
54.6	53.8	51.9	55.6	48.5	47.8	47.1	48.5	51.2	50.8	49.6	51.9
58.0	57.6	55.8	59.5	64.6	64.0	63.3	64.7	52.0	52.8	51.6	53.9
34.5	34.2	32.4	36.0	87.0	86.8	86.4	87.3	48.5	50.4	49.2	51.6
29.9	29.6	27.9	31.3	47.4	46.8	46.0	47.5	31.4	32.2	31.1	33.3
53.4	51.0	49.1	52.8	74.1	73.0	72.4	73.7	68.0	67.3	66.2	68.4
28.7	29.1	27.5	30.9	47.4	47.8	47.1	48.5	40.1	39.6	38.5	40.8
47.5	48.3	46.4	50.1	79.3	79.0	78.4	79.6	64.2	65.4	64.3	66.5
10.3	10.2	9.1	11.4	27.2	27.6	27.0	28.3	28.1	27.1	26.1	28.2
67.3	67.2	65.5	69.0	84.4	83.9	83.4	84.5	71.2	72.0	71.0	73.0
78.1	77.7	76.1	79.2	90.1	89.9	89.4	90.3	84.1	84.3	83.4	85.1
57.3	56.9	55.0	58.7	56.5	55.4	54.7	56.1	44.2	45.0	43.8	46.1
50.6	50.1	48.2	51.9	55.5	54.1	53.4	54.8	50.0	49.8	48.7	51.0
62.0	62.0	60.2	63.8	76.3	74.7	74.1	75.4	55.1	55.5	54.4	56.7
36.1	36.1	34.3	37.9	52.3	52.0	51.3	52.8	44.3	45.0	43.8	46.1
23.1	23.8	22.2	25.4	46.8	46.9	46.1	47.6	46.6	47.0	45.9	48.2
31.0	29.7	28.1	31.5	25.3	24.2	23.6	24.8	19.3	18.8	17.9	19.7
28.5	29.4	27.7	31.1	49.2	50.0	49.2	50.7	47.8	47.4	46.3	48.6
24.7	24.9	23.3	26.5	42.3	42.0	41.3	42.8	35.6	34.9	33.8	36.0
13.8	13.5	12.3	14.8	16.7	15.5	15.0	16.1	14.1	13.0	12.3	13.9

1) 全体・死亡場所別

	全体 (N=54167)				病院 (n=25436)			
	粗集計値	補正值	95% 信頼区間		粗集計値	補正值	95% 信頼区間	
	%	%			%	%		
C 死亡前 1 週間の患者の苦痛症状								
「4. ひどい, 5. とてもひどい」 回答割合								
痛み	28.2	28.7	28.3	29.0	28.9	29.1	28.5	29.6
倦怠感・だるさ	30.6	30.7	30.3	31.1	30.1	30.6	30.0	31.1
吐き気・嘔吐	10.2	10.1	9.9	10.4	10.1	10.3	9.9	10.7
便秘	18.7	17.4	17.0	17.7	15.9	16.1	15.7	16.6
食欲不振	49.9	48.5	48.1	48.9	46.4	46.4	45.8	47.1
体重減少・とてもやせた	49.0	47.6	47.2	48.1	44.7	45.1	44.5	45.7
眠気・うとうとした感じ	30.2	30.3	29.9	30.7	27.8	28.4	27.9	29.0
不眠・眠れない	13.6	13.5	13.3	13.8	13.5	13.7	13.3	14.1
息切れ・息苦しさ	26.4	28.1	27.7	28.5	28.6	29.6	29.0	30.2
かゆみ	7.0	6.9	6.6	7.1	6.5	6.9	6.6	7.2
飲み込みにくい・嘔みにくい	31.6	30.3	29.9	30.7	28.8	28.6	28.1	29.2

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

「3. そう思う 4. とてもそう思う」 回答割合								
患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあった	43.4	35.7	35.3	36.1	28.9	28.6	28.1	29.2
患者と医師間で心肺停止時の蘇生処置の実施について話し合いがあった	35.3	35.1	34.7	35.5	32.3	32.8	32.2	33.4
家族と患者間で最期の療養場所や蘇生処置について話し合いがあった	44.6	42.5	42.1	43.0	37.9	38.7	38.1	39.3
家族と主治医間で心肺停止時の蘇生処置について話し合いがあった	55.9	56.1	55.7	56.5	54.3	54.5	53.9	55.1

E 家族の介護負担感

「5. ややそう思う～7. とてもそう思う」 回答割合								
介護をしたことで、全体的に負担感が大きかった	39.9	38.9	38.5	39.3	38.3	38.0	37.4	38.6
介護をしたことで、自分の時間や予定が犠牲になった	33.9	33.1	32.7	33.5	33.0	32.5	32.0	33.1
介護をしたことで、身体的な負担が大きかった	38.2	37.4	37.0	37.9	35.8	36.1	35.5	36.7
介護をしたことで、精神的な負担が大きかった	46.4	46.4	46.0	46.8	45.4	45.5	44.9	46.2
介護をしたことで、経済的な負担が大きかった	27.0	27.1	26.8	27.5	28.1	27.5	27.0	28.1
介護について、自分にできるだけのことではできた	68.8	66.2	65.8	66.6	64.5	64.2	63.6	64.8

F 最近 2 週間の遺族の抑うつ症状

「1. 数日～3. ほとんど毎日」 回答割合								
1. 物事に対してほとんど興味がなく、または楽しめない	40.4	41.7	41.3	42.2	41.3	42.0	41.4	42.6
2. 気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的な気持ちになる	42.2	43.7	43.3	44.1	43.2	44.1	43.5	44.7
設問 1・設問 2 の回答合計得点が 3 点以上の割合	18.5	19.3	19.0	19.6	19.3	19.7	19.2	20.2
3. 死んだ方がましだ、あるいは自分を何らかの方法で傷つけようと思った	10.0	10.2	9.9	10.4	10.3	10.1	9.8	10.5

G 最近 1 カ間の遺族の強い悲嘆

「4. 少なくとも 1 日に 1 回はあった, 5. 1 日に数回あった」 回答割合								
1. 亡くなった方を慕い、会いたいと思いがれること	28.6	29.2	28.8	29.6	27.8	29.1	28.5	29.6
2. 亡くなった方との関係が失われたことにまつわる心の痛みや、悲哀、悲しみが急にこみ上げるなど強い感情を体験する	18.1	18.5	18.1	18.8	18.0	18.7	18.3	19.2
設問 1 または設問 2 の回答が 4 点以上の割合	30.3	30.9	30.5	31.3	29.6	30.8	30.3	31.4

施設 (n=2824)				自宅 (n=18687)				PCU (n=7220)			
粗集計値	補正值			粗集計値	補正值			粗集計値	補正值		
%	%	95% 信頼区間		%	%	95% 信頼区間		%	%	95% 信頼区間	
12.5	13.5	12.2	14.8	28.9	29.3	28.6	29.9	30.0	29.9	28.9	31.0
16.7	17.5	16.1	19.0	32.7	32.8	32.2	33.5	32.6	32.9	31.9	34.1
4.5	4.9	4.1	5.8	11.3	11.2	10.7	11.6	10.2	10.0	9.3	10.7
10.1	11.1	9.9	12.3	24.2	25.2	24.6	25.8	17.6	18.3	17.4	19.2
36.2	38.0	36.2	39.8	55.7	57.0	56.3	57.7	52.5	53.3	52.2	54.5
37.3	39.6	37.8	41.4	55.8	57.1	56.4	57.8	51.4	53.4	52.2	54.5
29.2	30.9	29.3	32.7	32.3	33.3	32.6	34.0	33.2	35.7	34.6	36.8
6.0	6.4	5.5	7.3	15.0	14.9	14.4	15.5	13.8	13.6	12.9	14.5
16.9	17.3	15.9	18.8	25.2	26.3	25.6	26.9	25.9	25.6	24.6	26.6
5.8	6.2	5.4	7.2	8.1	8.3	7.9	8.7	6.0	5.9	5.4	6.5
28.9	29.8	28.1	31.5	35.8	36.7	36.0	37.4	32.0	32.7	31.6	33.8

27.5	28.0	26.4	29.7	65.1	64.4	63.7	65.1	44.4	46.1	44.9	47.2
34.5	35.8	34.0	37.6	37.1	37.5	36.8	38.2	41.5	42.9	41.8	44.1
42.1	43.9	42.1	45.8	52.3	52.7	52.0	53.5	49.4	50.8	49.7	52.0
65.7	67.6	65.8	69.3	55.0	54.4	53.7	55.1	60.1	61.5	60.4	62.6

53.8	54.5	52.7	56.4	40.5	40.2	39.5	40.9	38.6	38.3	37.2	39.4
47.7	48.3	46.4	50.1	33.8	34.0	33.3	34.7	31.9	31.4	30.3	32.5
46.4	47.0	45.2	48.9	40.3	40.9	40.2	41.7	37.6	38.2	37.1	39.4
54.6	55.8	54.0	57.7	46.2	47.1	46.4	47.8	47.2	47.4	46.2	48.5
33.9	33.4	31.6	35.1	24.9	24.8	24.2	25.4	26.2	25.7	24.7	26.8
69.1	70.3	68.5	71.9	75.5	75.2	74.6	75.8	66.8	67.1	66.0	68.2

31.9	33.6	31.8	35.4	39.2	40.1	39.4	40.9	43.7	43.7	42.6	44.9
31.2	32.7	31.0	34.5	41.0	41.8	41.1	42.5	45.8	46.1	45.0	47.3
12.2	12.7	11.4	13.9	17.8	18.0	17.5	18.6	19.9	19.9	19.0	20.9
6.8	7.0	6.1	8.1	9.6	9.8	9.4	10.3	11.0	11.5	10.7	12.2

13.1	14.4	13.1	15.8	31.7	32.6	32.0	33.3	29.7	30.4	29.4	31.5
8.6	9.6	8.5	10.7	19.5	19.9	19.4	20.5	18.3	18.2	17.3	19.1
14.7	16.2	14.9	17.6	33.3	34.4	33.7	35.1	31.4	32.0	30.9	33.1

2) 一般病院・がん診療連携拠点病院別

	一般病院 (n=17058)			拠点病院 (n=8378)		
	粗集計値		95% 信頼区間	粗集計値		95% 信頼区間
	%			%		
A-1 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス						
「4. ややそう思う～6. 非常にそう思う」 回答割合						
医療者は患者さまのつらい症状にすみやかに対応していた	80.5	79.9	81.1	81.7	80.8	82.5
医師は、患者さまのからだの苦痛をやわらげるように努めていた	83.4	82.9	84.0	84.6	83.9	85.4
看護師や介護職員は患者さまのからだの苦痛をやわらげるように努めていた	84.2	83.6	84.7	85.9	85.2	86.7
患者さまの不安や心配をやわらげるように医師・看護師・介護職員は努めていた	79.7	79.1	80.3	81.4	80.5	82.2
医師の患者さまへの病状や治療内容の説明は十分だった	76.6	76.0	77.3	78.6	77.7	79.5
医師のご家族への病状や治療内容の説明は十分だった	82.5	81.9	83.1	81.3	80.5	82.2
病室（自宅）は生活しやすく、快適だった	76.2	75.6	76.9	78.8	77.9	79.7
ご家族が健康を維持できるような配慮があった	66.6	65.9	67.3	67.0	65.9	68.0
支払った費用の金額は妥当だった	75.4	74.7	76.0	74.9	73.9	75.8
必要なときに待たずに入院（利用）できた	89.2	88.7	89.7	88.2	87.5	88.9
医師・看護師・介護職員など医療者どうしの連携はよかった	78.1	77.5	78.7	77.9	77.0	78.8
医師は、患者さまと良い関係を築いていた	74.2	73.5	74.9	77.3	76.4	78.2
看護師や介護職員は、患者さまと良い関係を築いていた	78.8	78.2	79.4	82.8	81.9	83.6
A-2 死亡場所で受けた医療に対する満足度						
「4. やや満足～6. 非常に満足」 回答割合						
お亡くなりになった場所で受けた医療は全般的に満足でしたか	70.7	70.0	71.4	69.0	68.0	69.9
B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質						
「5. ややそう思う～7. とてもそう思う」 回答割合						
痛みが少なく過ごせた	45.4	44.7	46.2	40.1	39.0	41.2
からだの苦痛が少なく過ごせた	40.5	39.8	41.2	33.9	32.9	34.9
おだやかな気持ちで過ごせた	41.0	40.2	41.7	37.5	36.4	38.5
望んだ場所で過ごせた	39.1	38.4	39.8	44.7	43.7	45.8
楽しみになるようなことがあった	24.0	23.3	24.6	28.3	27.4	29.3
医師を信頼していた	60.1	59.4	60.9	66.5	65.5	67.5
人に迷惑をかけてつらいと感じていた	37.0	36.3	37.8	42.5	41.4	43.6
ご家族やご友人と十分に時間を過ごせた	53.1	52.4	53.9	55.8	54.7	56.9
身の回りのことはたいてい自分でできた	26.3	25.6	26.9	40.1	39.0	41.1
落ち着いた環境で過ごせた	55.9	55.2	56.6	59.1	58.1	60.2
ひととして大切にされていた	74.2	73.5	74.9	80.0	79.1	80.8
人生をまっとうしたと感じていた	45.4	44.6	46.1	37.1	36.1	38.1
納得がいくまで治療を受けられた	46.5	45.7	47.2	43.8	42.8	44.9
自然に近い形で過ごせた	46.9	46.2	47.7	45.4	44.3	46.5
大切な人に伝えたいことを伝えられた	36.7	36.0	37.5	36.4	35.4	37.4
先々に起こることを詳しく知っていた	33.5	32.8	34.3	39.5	38.4	40.5
病気や死を意識せずに過ごせた	20.7	20.1	21.4	17.1	16.3	17.9
他人に弱った姿をみせてつらいと感じていた	41.9	41.2	42.7	49.5	48.4	50.5
生きていることに価値を感じられた	31.5	30.8	32.2	37.0	35.9	38.0
信仰に支えられていた	13.7	13.2	14.2	12.7	12.0	13.4

	一般病院 (n=17058)			拠点病院 (n=8378)		
	粗集計値			粗集計値		
	%	95% 信頼区間		%	95% 信頼区間	

C 死亡前 1 週間の患者の苦痛症状

「4. ひどい, 5. とてもひどい」 回答割合

痛み	26.4	25.8	27.1	34.0	32.9	35.0
倦怠感・だるさ	27.0	26.3	27.6	36.4	35.4	37.5
吐き気・嘔吐	9.2	8.7	9.6	12.0	11.4	12.8
便秘	14.9	14.4	15.4	17.9	17.1	18.8
食欲不振	44.9	44.1	45.6	49.4	48.4	50.5
体重減少・とてもやせた	44.2	43.5	45.0	45.8	44.7	46.8
眠気・うとうとした感じ	28.1	27.4	28.8	27.4	26.4	28.3
不眠・眠れない	12.1	11.6	12.6	16.3	15.5	17.1
息切れ・息苦しさ	26.6	25.9	27.3	32.6	31.6	33.6
かゆみ	6.4	6.1	6.8	6.7	6.2	7.3
飲み込みにくい・嚙みにくい	29.4	28.7	30.1	27.7	26.7	28.7

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

「3. そう思う 4. とてもそう思う」 回答割合

患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあった	29.3	28.6	30.0	28.1	27.1	29.1
患者と医師間で心肺停止時の蘇生処置の実施について話し合いがあった	32.1	31.4	32.8	32.6	31.6	33.7
家族と患者間で最期の療養場所や蘇生処置について話し合いがあった	38.4	37.6	39.1	37.0	36.0	38.1
家族と主治医間で心肺停止時の蘇生処置について話し合いがあった	55.5	54.8	56.3	51.8	50.8	52.9

E 家族の介護負担感

「5. ややそう思う～7. とてもそう思う」 回答割合

介護をしたことで、全体的に負担感が大きかった	40.6	39.9	41.4	33.5	32.5	34.5
介護をしたことで、自分の時間や予定が犠牲になった	35.2	34.5	35.9	28.5	27.5	29.5
介護をしたことで、身体的な負担が大きかった	37.4	36.7	38.2	32.6	31.6	33.6
介護をしたことで、精神的な負担が大きかった	46.6	45.9	47.4	42.8	41.7	43.9
介護をしたことで、経済的な負担が大きかった	28.8	28.1	29.5	26.8	25.8	27.7
介護について、自分にできるだけのことはできた	65.7	65.0	66.4	61.9	60.8	62.9

F 最近 2 週間の遺族の抑うつ症状

「1. 数日～3. ほとんど毎日」 回答割合

1. 物事に対してほとんど興味が無い、または楽しめない	39.5	38.8	40.3	44.9	43.9	46.0
2. 気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的な気持ちになる	41.0	40.3	41.8	47.7	46.6	48.7
設問 1・設問 2 の回答合計得点が 3 点以上の割合	18.2	17.6	18.8	21.5	20.6	22.4
3. 死んだ方がまだ、あるいは自分を何らかの方法で傷つけようと思った	9.5	9.0	9.9	11.9	11.3	12.7

G 最近 1 カ間の遺族の強い悲嘆

「4. 少なくとも 1 日に 1 回はあった, 5. 1 日に数回あった」 回答割合

1. 亡くなった方を慕い、会いたいと思いがれること	24.9	24.3	25.6	33.6	32.5	34.6
2. 亡くなった方との関係が失われたことにまつわる心の痛みや、 悲哀、悲しみが急にこみ上げるなど強い感情を体験する	16.3	15.8	16.9	21.5	20.6	22.4
設問 1 または設問 2 の回答が 4 点以上の割合	26.7	26.0	27.4	35.5	34.5	36.5

3) 都道府県別

都道府県別 回答数

	死亡数 *	発送数	不達数		有効回答数	
	No		No	%	No	% †
北海道	38378	2658	571	21.5	1169	56.0
青森県	9851	2254	301	13.4	1090	55.8
岩手県	9028	2162	233	10.8	1128	58.5
宮城県	13229	2619	337	12.9	1384	60.6
秋田県	8168	1943	220	11.3	955	55.4
山形県	7814	2196	230	10.5	1171	59.6
福島県	12601	2506	340	13.6	1209	55.8
茨城県	17657	2657	256	9.6	1327	55.3
栃木県	11482	2632	280	10.6	1373	58.4
群馬県	11931	2586	272	10.5	1293	55.9
埼玉県	38277	2658	376	14.1	1253	54.9
千葉県	33932	2658	336	12.6	1344	57.9
東京都	67644	2658	505	19.0	1199	55.7
神奈川県	47081	2658	472	17.8	1224	56.0
新潟県	15670	2212	242	10.9	1162	59.0
富山県	6966	2109	192	9.1	1127	58.8
石川県	7063	2142	255	11.9	1070	56.7
福井県	4743	1994	211	10.6	1010	56.6
山梨県	4878	2067	212	10.3	1034	55.7
長野県	12658	2636	276	10.5	1462	61.9
岐阜県	12062	2658	265	10.0	1432	59.8
静岡県	21312	2658	283	10.6	1432	60.3
愛知県	38347	2658	355	13.4	1300	56.4
三重県	10212	2593	296	11.4	1289	56.1
滋賀県	7270	2136	212	9.9	1156	60.1
京都府	15252	2601	386	14.8	1204	54.4
大阪府	51184	2658	525	19.8	1139	53.4
兵庫県	32289	2658	451	17.0	1190	53.9
奈良県	8032	2480	279	11.3	1247	56.7
和歌山県	6527	2333	318	13.6	1096	54.4
鳥取県	3817	1941	220	11.3	994	57.8
島根県	4882	1987	228	11.5	1056	60.0
岡山県	11141	2362	292	12.4	1190	57.5
広島県	16424	2658	380	14.3	1363	59.8
山口県	9596	2144	336	15.7	1074	59.4
徳島県	4895	1959	208	10.6	935	53.4
香川県	5915	2155	251	11.6	1106	58.1
愛媛県	9001	2390	335	14.0	1109	54.0
高知県	4988	2010	318	15.8	857	50.7
福岡県	30995	2658	434	16.3	1211	54.5
佐賀県	5493	2012	224	11.1	995	55.6
長崎県	9561	2332	318	13.6	1071	53.2
熊本県	10923	2236	285	12.7	1058	54.2
大分県	7247	2157	318	14.7	1034	56.2
宮崎県	7102	2123	312	14.7	966	53.3
鹿児島県	10486	2345	354	15.1	1005	50.5
沖縄県	6104	2083	358	17.2	674	39.1

* 2017-18年人口動態死亡数から、死亡時20歳以上、死亡場所が国内かつ病院・施設・自宅の死亡数を再集計した

† 有効回答割合 % = 有効回答数 / (発送数 - 不達数)

都道府県別 患者特性

	有効 回答数	性別*		平均値	年齢*				がん種*					
		%			%				%					
		男性	女性		20-30代	40-50代	60-70代	80代以上	肺	上部消化管	下部消化管	肝胆膵	乳房	婦人科
北海道	1169	56.7	43.3	77.6	0.6	6.2	44.7	48.5	21.3	14.5	13.9	22.5	3.7	3.0
青森県	1090	57.7	42.3	77.0	0.6	6.8	44.8	47.8	18.4	15.9	15.8	22.2	3.8	2.9
岩手県	1128	57.4	42.6	78.5	0.6	5.1	40.2	54.1	18.5	13.7	16.9	21.6	3.1	2.2
宮城県	1384	59.0	41.0	77.3	0.5	6.8	43.1	49.6	18.1	14.0	14.0	22.1	4.4	3.1
秋田県	955	57.5	42.5	78.0	0.1	4.5	44.8	50.6	17.7	17.7	15.1	20.5	4.2	3.7
山形県	1171	59.5	40.5	79.4	0.4	4.4	38.8	56.4	18.4	20.9	11.4	22.7	2.2	3.0
福島県	1209	60.6	39.4	78.5	0.6	5.3	40.6	53.5	18.4	14.6	14.3	22.5	2.9	2.7
茨城県	1327	62.1	37.9	77.4	0.8	5.6	47.3	46.4	17.5	16.9	13.9	20.7	3.3	2.9
栃木県	1373	60.5	39.5	77.1	0.6	6.5	47.0	46.0	21.9	16.7	13.2	20.8	3.5	2.9
群馬県	1293	58.8	41.2	77.7	0.5	6.1	43.6	49.7	18.9	15.2	15.0	20.3	3.5	3.5
埼玉県	1253	58.9	41.1	76.6	0.2	5.9	51.1	42.8	19.2	16.4	13.8	19.6	4.3	3.1
千葉県	1344	60.0	40.0	77.9	0.1	4.6	48.1	47.3	19.6	16.8	13.6	21.6	3.9	3.1
東京都	1199	57.2	42.8	77.3	0.8	7.9	43.2	48.1	18.7	16.9	14.0	21.1	4.3	3.2
神奈川県	1224	59.1	40.9	76.8	0.5	6.9	47.3	45.3	21.0	14.0	12.3	22.3	4.5	3.5
新潟県	1162	57.6	42.4	79.5	0.3	5.2	38.6	56.0	17.7	18.5	16.4	19.2	3.8	1.5
富山県	1127	56.8	43.2	78.5	0.5	4.8	40.8	53.9	18.2	17.8	13.4	21.1	3.1	3.0
石川県	1070	57.7	42.3	77.8	0.4	5.1	45.7	48.9	18.7	15.5	12.0	21.8	3.6	2.4
福井県	1010	58.6	41.4	78.8	1.0	6.1	37.7	55.2	18.1	14.4	12.5	23.1	3.1	3.3
山梨県	1034	57.5	42.5	78.8	0.7	4.9	40.0	54.4	16.8	13.4	14.1	25.4	4.6	2.8
長野県	1462	58.3	41.7	79.4	0.3	5.5	39.1	55.2	15.0	13.7	16.4	24.8	3.9	2.5
岐阜県	1432	60.5	39.5	77.7	0.5	5.5	45.5	48.5	19.1	16.8	13.9	19.6	3.3	2.9
静岡県	1432	60.1	39.9	78.4	0.2	5.5	43.7	50.6	19.9	15.2	14.3	21.5	3.3	3.8
愛知県	1300	58.5	41.5	77.3	0.6	6.5	45.9	47.1	15.7	16.0	14.5	22.5	3.7	3.1
三重県	1289	61.1	38.9	78.1	0.4	5.5	43.6	50.5	18.5	14.7	14.7	23.5	4.5	2.5
滋賀県	1156	57.6	42.4	78.5	0.3	6.3	40.2	53.2	20.9	17.1	12.0	22.2	3.2	2.3
京都府	1204	60.3	39.7	77.4	0.6	6.2	47.4	45.8	17.9	14.2	14.0	24.2	3.9	2.7
大阪府	1139	62.4	37.6	77.0	0.4	6.4	47.7	45.6	20.2	14.5	12.2	23.6	3.8	2.2
兵庫県	1190	59.0	41.0	77.8	0.3	6.6	45.0	48.1	20.5	16.2	11.6	23.8	2.9	3.1
奈良県	1247	62.0	38.0	78.2	0.6	4.2	44.8	50.5	18.9	17.1	12.7	19.5	2.6	2.7
和歌山県	1096	61.0	39.1	78.1	0.3	4.5	46.1	49.2	22.8	14.4	11.7	23.9	2.7	2.5
鳥取県	994	63.2	36.8	78.4	0.7	5.0	40.6	53.6	20.1	15.0	14.2	22.3	1.7	2.1
島根県	1056	58.9	41.1	79.5	0.3	4.1	39.5	56.2	17.7	15.6	13.3	22.8	2.5	2.3
岡山県	1190	62.0	38.0	77.8	0.6	6.3	42.8	50.3	20.2	14.3	11.9	23.1	4.0	2.5
広島県	1363	58.8	41.2	78.3	0.4	5.7	44.0	50.0	20.4	16.5	11.2	22.0	5.2	2.9
山口県	1074	60.2	39.8	78.4	0.7	5.3	42.6	51.4	18.0	16.1	13.7	22.9	3.2	3.2
徳島県	935	62.4	37.7	78.4	0.5	5.8	41.9	51.8	22.3	12.9	14.2	23.0	3.7	2.1
香川県	1106	58.9	41.1	78.7	0.2	5.2	42.0	52.7	19.8	16.4	10.9	23.4	2.8	2.4
愛媛県	1109	59.9	40.1	78.0	0.0	5.0	46.1	49.0	18.8	14.5	12.4	24.6	3.2	2.4
高知県	857	58.2	41.8	77.3	1.1	6.1	44.8	48.1	17.7	18.9	10.9	23.6	3.2	3.7
福岡県	1211	60.9	39.1	77.8	0.7	5.5	44.8	49.0	19.3	12.1	12.8	24.7	3.7	2.6
佐賀県	995	58.0	42.0	78.1	0.4	6.2	40.7	52.7	19.9	15.7	13.3	23.3	2.9	2.9
長崎県	1071	55.6	44.4	77.4	0.8	7.6	41.9	49.8	20.1	13.9	12.1	22.0	4.2	2.6
熊本県	1058	59.5	40.6	78.9	0.8	5.4	38.9	54.9	19.8	10.6	12.0	23.3	3.7	2.6
大分県	1034	59.3	40.7	78.4	0.3	6.2	41.9	51.6	18.6	13.7	11.6	23.9	3.7	3.3
宮崎県	966	57.5	42.6	78.4	0.2	5.8	42.1	51.9	19.3	13.9	12.2	24.8	2.8	2.7
鹿児島県	1005	59.0	41.0	78.0	0.5	5.4	44.6	49.6	18.4	12.9	12.0	24.2	2.9	3.2
沖縄県	674	55.5	44.5	74.9	0.9	10.2	46.9	42.0	19.0	8.6	13.5	21.8	4.8	5.2

*厚生労働省人口動態調査死亡票情報から再集計した

			診断から亡くなるまでの期間				亡くなる1カ月前のADL				認知症の診断歴		
			%				%				%		
泌尿器	血液	その他	欠損 わからない	1週間 以内	1年以内	1年より 長い	欠損 わからない	自立	一部介助	ほぼ 全介助	欠損 わからない	有	無
5.1	5.1	11.0	1.5	1.9	51.0	45.7	1.0	20.9	33.1	45.0	2.2	14.5	83.2
7.1	4.8	9.2	2.0	3.2	52.4	42.4	0.8	20.3	32.8	46.2	3.3	12.9	83.8
6.5	6.4	11.1	2.8	3.0	55.1	39.1	1.2	18.3	34.4	46.2	3.3	14.5	82.3
7.0	6.1	11.3	2.3	2.2	48.0	47.5	2.1	20.3	34.0	43.6	4.1	13.9	82.1
6.2	6.0	9.0	2.6	2.6	52.2	42.6	1.2	23.7	34.4	40.8	3.4	14.4	82.3
6.4	5.4	9.7	2.8	2.2	55.3	39.6	1.4	23.4	34.8	40.5	2.7	15.6	81.6
7.4	6.6	10.6	2.4	2.5	52.3	42.9	1.2	21.8	32.9	44.1	2.6	13.6	83.9
5.7	6.8	12.3	2.3	2.3	49.8	45.6	0.9	22.4	33.8	42.9	3.0	12.1	84.9
5.2	6.5	9.3	2.1	3.2	50.8	43.9	0.9	20.9	34.7	43.5	2.4	9.8	87.8
6.3	5.5	11.8	2.2	2.6	51.7	43.5	0.9	19.9	36.0	43.2	2.4	12.5	85.2
7.2	6.2	10.4	2.2	2.0	48.4	47.4	1.1	18.8	36.9	43.3	2.4	12.1	85.5
5.9	4.6	11.0	1.8	1.6	51.6	45.1	0.7	22.6	33.0	43.7	2.7	10.6	86.8
6.3	4.6	11.0	2.3	2.3	48.7	46.7	0.7	21.6	32.4	45.4	3.5	12.0	84.5
5.8	6.6	10.1	2.1	1.4	49.9	46.6	1.1	20.2	35.1	43.7	2.4	10.8	86.9
6.8	4.4	11.7	2.0	2.4	53.3	42.3	0.7	19.1	36.0	44.2	3.4	16.4	80.2
5.9	6.4	11.1	1.2	2.1	53.0	43.7	0.9	19.9	33.6	45.6	3.9	15.8	80.3
5.2	7.1	13.7	2.4	2.4	50.5	44.7	1.4	19.4	33.0	46.2	3.2	14.8	82.1
6.0	8.9	10.7	1.6	2.1	51.9	44.5	1.2	22.9	32.5	43.5	3.1	13.2	83.8
6.0	6.6	10.4	1.6	2.1	52.3	44.0	0.9	22.3	35.4	41.4	2.6	10.8	86.6
5.9	6.6	11.2	2.4	2.4	49.0	46.2	1.3	18.5	34.7	45.5	2.3	13.8	83.9
6.1	6.6	11.9	1.9	1.8	49.8	46.5	1.0	19.8	34.5	44.8	3.0	12.2	84.9
5.9	5.9	10.3	2.3	1.7	49.7	46.4	1.1	21.1	33.2	44.6	2.3	11.9	85.8
6.3	7.1	11.2	1.8	2.6	52.7	42.9	0.9	20.7	33.2	45.2	2.2	13.3	84.5
6.4	7.1	8.1	3.0	1.9	52.2	42.9	1.2	21.2	34.8	42.8	3.3	11.7	85.0
6.0	8.0	8.4	2.6	1.7	51.0	44.6	0.9	21.2	35.5	42.5	3.7	15.3	81.0
6.4	6.2	10.6	3.1	1.9	46.4	48.6	1.5	23.3	33.1	42.0	3.8	12.1	84.1
6.2	4.7	12.6	1.7	1.7	46.6	50.0	0.8	20.4	33.5	45.4	3.2	11.7	85.2
5.3	7.1	9.4	2.3	1.9	48.3	47.5	1.0	20.0	34.5	44.5	2.9	13.8	83.3
7.4	7.8	11.6	2.9	1.5	50.6	45.0	1.2	20.1	37.2	41.5	2.7	14.1	83.2
5.2	6.3	10.6	2.0	2.5	49.8	45.7	1.5	20.4	33.7	44.5	3.3	11.5	85.2
5.4	8.4	10.8	1.6	1.8	51.7	44.9	1.2	23.0	31.3	44.5	3.2	13.1	83.7
6.9	7.5	11.5	1.7	2.3	52.2	43.8	1.1	20.3	32.9	45.7	3.4	13.9	82.7
5.6	7.7	10.8	2.4	1.8	46.0	49.8	1.3	19.4	33.9	45.5	2.4	14.1	83.5
5.9	5.7	10.1	2.9	2.2	47.2	47.7	1.0	19.2	36.8	43.0	3.1	14.8	82.1
7.3	5.6	10.2	2.6	2.3	50.6	44.5	1.0	19.2	32.7	47.1	3.4	13.9	82.8
6.6	7.1	8.0	2.5	1.9	53.5	42.1	1.0	19.3	34.3	45.5	3.4	15.3	81.3
5.3	6.9	12.2	2.3	2.1	52.3	43.4	1.3	20.3	32.9	45.5	2.8	14.5	82.7
5.8	6.6	11.8	2.4	1.6	51.6	44.4	0.8	21.2	36.0	42.0	3.1	13.2	83.8
5.5	5.4	11.2	3.2	2.2	51.2	43.4	1.2	22.3	33.4	43.2	3.2	13.2	83.7
6.8	6.0	12.0	3.2	1.6	46.5	48.7	1.2	18.4	34.1	46.3	3.3	13.8	82.9
5.5	6.5	10.0	2.1	2.3	47.5	48.0	1.3	20.0	37.7	41.0	2.5	14.2	83.3
5.3	9.2	10.6	2.3	1.4	49.1	47.2	0.4	18.4	35.0	46.2	3.4	13.5	83.1
7.9	8.3	11.9	2.6	2.8	48.8	45.8	0.4	20.1	35.4	44.1	2.5	17.3	80.3
5.1	8.8	11.3	3.2	2.7	47.0	47.1	1.9	20.1	32.2	45.7	2.8	12.8	84.4
5.4	8.3	10.7	2.9	2.6	53.6	40.9	1.7	19.8	34.8	43.8	3.6	14.3	82.1
7.0	8.4	11.0	2.8	1.2	52.0	44.0	1.7	18.6	33.1	46.6	3.0	13.5	83.5
5.2	9.6	12.3	2.4	1.9	54.0	41.7	1.2	17.5	34.4	46.9	3.6	11.7	84.7

都道府県別 遺族特性

	有効 回答数	性別			平均値	年齢					続柄					
		%				%					%					
		欠損	男性	女性		欠損	20-30代	40-50代	60-70代	80代以上	欠損	配偶者	子	嫁・婿	親	その他
北海道	1169	1.0	31.4	67.6	65.9	0.9	1.1	27.7	59.7	10.5	1.1	48.3	38.0	6.0	2.1	4.5
青森県	1090	1.1	36.4	62.5	63.5	1.5	3.3	31.1	55.9	8.3	1.2	40.9	42.2	7.7	1.7	6.2
岩手県	1128	0.8	36.0	63.2	64.4	1.0	1.8	30.1	57.5	9.6	1.2	37.8	43.3	10.0	2.4	5.3
宮城県	1384	1.1	35.7	63.2	64.5	1.1	2.2	28.7	57.6	10.4	1.2	43.8	37.9	9.1	2.8	5.4
秋田県	955	1.5	37.6	60.9	63.8	1.5	2.4	29.2	59.0	8.0	1.4	38.0	41.2	10.9	2.9	5.7
山形県	1171	1.4	37.4	61.2	64.3	1.4	2.5	28.2	58.4	9.6	1.3	36.6	43.5	11.4	2.7	4.6
福島県	1209	1.2	38.4	60.4	64.4	1.0	2.1	30.3	57.7	8.9	1.3	39.3	43.0	9.6	2.0	4.8
茨城県	1327	0.4	36.1	63.5	64.6	1.0	2.9	28.0	58.8	9.3	0.8	44.2	41.3	7.6	1.7	4.4
栃木県	1373	1.1	36.3	62.6	64.8	1.5	2.0	29.1	57.5	9.8	1.3	45.1	38.4	8.7	2.0	4.6
群馬県	1293	0.9	36.0	63.2	64.8	1.2	2.2	29.3	57.2	10.0	1.0	44.9	38.5	7.6	2.9	5.0
埼玉県	1253	1.1	35.0	63.9	65.7	1.4	2.1	27.5	57.1	12.0	1.3	52.4	35.7	5.0	2.0	3.7
千葉県	1344	1.0	31.9	67.1	65.8	1.3	2.5	26.7	57.0	12.5	1.2	50.7	37.0	5.9	1.3	3.9
東京都	1199	0.9	32.1	67.0	65.0	1.1	2.0	33.4	50.7	12.8	0.8	49.2	37.5	5.4	1.7	5.5
神奈川県	1224	1.5	32.9	65.6	65.0	1.6	3.3	30.0	52.5	12.7	1.6	52.0	36.4	5.1	1.1	3.8
新潟県	1162	1.6	41.6	56.9	64.9	1.6	2.2	28.9	56.6	10.7	1.7	36.9	44.8	9.2	2.6	4.7
富山県	1127	0.7	39.0	60.3	65.2	1.2	2.7	28.1	58.5	9.6	0.7	42.1	42.4	7.6	2.7	4.5
石川県	1070	0.8	36.5	62.7	64.2	1.1	2.2	29.6	58.7	8.3	1.2	43.0	40.7	10.3	1.9	3.0
福井県	1010	1.2	39.0	59.8	64.1	1.0	1.8	30.3	58.5	8.4	1.1	37.8	45.2	10.1	2.9	3.0
山梨県	1034	1.0	36.7	62.4	64.3	1.1	2.5	30.9	55.6	10.0	1.2	41.1	41.8	10.4	1.8	3.8
長野県	1462	1.2	35.7	63.1	65.1	1.2	2.1	28.4	56.3	12.0	1.0	44.1	40.8	7.6	2.4	4.1
岐阜県	1432	1.2	35.3	63.5	64.8	1.3	1.2	30.4	58.3	8.8	1.7	43.1	37.5	11.0	2.2	4.5
静岡県	1432	0.9	33.3	65.8	65.2	1.0	1.9	28.8	56.3	12.0	1.1	44.7	37.8	9.2	2.4	5.0
愛知県	1300	1.2	32.5	66.3	64.7	1.4	2.6	30.8	54.1	11.2	1.5	46.2	38.0	7.7	2.6	4.0
三重県	1289	1.2	34.3	64.6	65.1	1.2	1.2	30.4	56.2	10.9	1.5	44.2	38.4	10.2	2.3	3.4
滋賀県	1156	0.7	36.3	63.0	64.7	0.9	2.1	29.8	56.0	11.3	0.9	43.1	39.8	9.6	2.3	4.3
京都府	1204	1.4	31.9	66.7	66.1	1.0	2.4	26.7	56.8	13.1	1.4	50.0	35.5	6.0	1.7	5.4
大阪府	1139	1.1	31.1	67.8	65.9	1.2	1.7	29.0	53.9	14.2	1.2	52.2	35.5	5.4	1.8	3.9
兵庫県	1190	1.2	29.6	69.2	65.9	1.6	1.9	28.4	55.7	12.4	1.1	49.1	36.1	7.3	2.4	4.0
奈良県	1247	1.0	31.0	68.0	66.0	1.3	1.8	26.5	58.1	12.4	1.4	49.5	36.0	8.3	2.1	2.8
和歌山県	1096	1.7	31.3	67.0	64.9	1.8	2.2	27.6	58.3	10.1	1.7	42.9	40.4	8.0	2.2	4.7
鳥取県	994	1.1	36.9	62.0	65.5	1.1	2.2	26.2	58.1	12.5	1.0	42.9	40.6	9.4	2.4	3.7
島根県	1056	1.3	38.7	59.9	65.4	1.4	1.7	26.5	58.7	11.7	1.1	39.5	43.3	9.0	2.3	4.8
岡山県	1190	1.4	29.8	68.7	65.2	1.4	2.6	27.9	55.0	13.1	1.2	45.6	39.3	8.0	1.5	4.4
広島県	1363	1.3	33.6	65.1	65.9	1.4	2.0	25.5	59.6	11.5	1.4	46.7	38.2	7.2	2.1	4.5
山口県	1074	0.9	29.6	69.5	66.2	1.0	2.3	24.6	59.4	12.7	1.0	48.6	36.7	7.3	2.2	4.2
徳島県	935	1.4	34.4	64.2	64.6	1.6	2.8	27.4	58.7	9.5	1.8	39.6	42.9	8.1	2.4	5.2
香川県	1106	1.5	34.1	64.5	65.5	1.8	2.0	25.2	60.1	10.9	1.2	42.3	41.9	8.2	2.1	4.3
愛媛県	1109	1.0	30.6	68.4	65.0	1.2	1.7	28.6	59.0	9.6	1.0	43.0	39.5	9.1	2.1	5.3
高知県	857	1.1	33.4	65.6	64.6	1.4	3.4	27.1	58.2	9.9	1.4	43.1	40.5	6.9	2.0	6.2
福岡県	1211	1.2	28.2	70.6	65.0	1.5	2.2	28.9	56.2	11.2	1.3	45.6	39.6	6.4	2.0	5.1
佐賀県	995	1.5	35.8	62.7	64.2	1.3	2.8	30.1	56.7	9.2	1.2	41.4	42.3	8.6	1.9	4.5
長崎県	1071	0.9	32.1	67.0	64.2	1.0	2.3	31.6	55.2	9.9	1.4	41.9	40.0	8.2	2.3	6.2
熊本県	1058	1.0	33.0	66.0	65.3	1.2	1.3	26.6	59.9	11.0	1.0	40.1	42.6	8.5	2.3	5.5
大分県	1034	0.8	31.3	67.9	65.5	1.0	1.6	28.2	57.1	12.1	1.0	42.7	41.0	8.2	2.3	4.8
宮崎県	966	1.2	31.6	67.2	65.3	1.2	2.8	26.6	58.0	11.4	1.0	41.8	40.7	8.3	2.6	5.6
鹿児島県	1005	1.8	31.8	66.4	65.3	2.0	2.3	27.1	56.9	11.7	2.3	43.1	40.3	6.7	1.3	6.4
沖縄県	674	0.7	35.2	64.1	61.4	1.0	6.1	33.8	51.3	7.7	1.0	40.1	41.4	5.2	2.4	9.9

A-1 死亡場所で患者が受けた医療の構造・プロセス

「4. ややそう思う～6. 非常にそう思う」 回答割合

		医療者は患者さまのつらい症状に すみやかに対応していた				患者さまの不安や心配をやわらげるよう に医師・看護師・介護職員は努めていた				医師の患者さまへの病状や治療内容 の説明は十分だった			
		粗集計値		推定値		粗集計値		推定値		粗集計値		推定値	
	有効回答数	%	%	95% 信頼区間		%	%	95% 信頼区間		%	%	95% 信頼区間	
北海道	1169	86.3	84.1	81.9	86.1	86.1	83.0	80.7	85.1	82.6	80.7	78.3	82.9
青森県	1090	81.3	81.0	78.6	83.3	81.3	79.7	77.2	82.1	76.9	76.6	74.0	79.1
岩手県	1128	83.9	82.6	80.3	84.8	85.0	83.0	80.7	85.1	80.6	80.2	77.8	82.5
宮城県	1384	83.4	81.4	79.3	83.5	83.9	81.2	79.1	83.2	79.2	77.2	74.9	79.4
秋田県	955	84.4	84.1	81.6	86.4	83.4	82.8	80.3	85.2	81.2	80.7	78.1	83.2
山形県	1171	83.5	83.1	80.8	85.2	84.5	83.3	81.0	85.4	79.3	78.6	76.1	80.9
福島県	1209	81.7	80.2	77.9	82.4	82.4	80.9	78.6	83.1	79.7	77.0	74.5	79.4
茨城県	1327	82.9	81.1	78.9	83.2	82.4	78.8	76.5	81.0	77.8	75.6	73.2	77.9
栃木県	1373	81.7	79.4	77.2	81.5	83.9	80.6	78.4	82.7	76.2	74.3	71.9	76.6
群馬県	1293	84.9	83.7	81.6	85.7	83.6	81.2	79.0	83.3	79.6	78.7	76.4	80.9
埼玉県	1253	81.6	80.1	77.8	82.3	82.0	79.4	77.1	81.6	77.7	75.9	73.4	78.2
千葉県	1344	83.0	81.3	79.1	83.4	82.8	80.7	78.5	82.8	76.8	76.6	74.3	78.9
東京都	1199	84.8	84.1	81.9	86.1	83.5	81.9	79.6	84.0	78.9	78.3	75.9	80.6
神奈川県	1224	82.4	81.0	78.7	83.1	83.4	82.1	79.8	84.2	78.8	78.0	75.6	80.3
新潟県	1162	85.1	83.6	81.3	85.7	84.1	81.5	79.1	83.7	80.3	78.6	76.1	80.9
富山県	1127	84.7	83.2	80.9	85.4	84.4	82.6	80.3	84.8	80.3	79.4	76.9	81.7
石川県	1070	84.2	84.0	81.7	86.2	84.5	83.6	81.3	85.8	79.5	78.8	76.2	81.2
福井県	1010	85.3	83.1	80.6	85.3	84.9	82.6	80.1	84.9	80.6	78.8	76.2	81.3
山梨県	1034	83.7	82.6	80.1	84.9	85.3	84.2	81.9	86.4	79.6	78.9	76.3	81.4
長野県	1462	86.1	85.8	83.9	87.5	86.1	84.8	82.9	86.6	80.4	79.4	77.3	81.5
岐阜県	1432	83.7	83.6	81.6	85.5	82.9	81.3	79.2	83.3	79.8	79.4	77.2	81.5
静岡県	1432	83.2	82.0	79.9	83.9	83.5	80.6	78.4	82.6	79.3	76.6	74.3	78.8
愛知県	1300	83.1	81.0	78.8	83.1	84.5	82.3	80.1	84.4	79.7	77.9	75.6	80.2
三重県	1289	83.3	81.4	79.2	83.5	86.1	84.3	82.2	86.3	79.5	78.7	76.3	80.9
滋賀県	1156	86.2	85.2	83.0	87.2	85.2	83.7	81.5	85.8	81.8	80.6	78.2	82.9
京都府	1204	86.5	84.0	81.8	86.0	84.6	81.8	79.5	84.0	79.4	76.1	73.6	78.5
大阪府	1139	82.4	79.1	76.6	81.4	83.3	80.1	77.6	82.4	79.6	77.7	75.2	80.1
兵庫県	1190	83.6	83.9	81.7	85.9	85.0	83.8	81.6	85.8	78.0	78.2	75.8	80.6
奈良県	1247	84.4	82.6	80.4	84.7	84.9	83.2	81.1	85.3	80.3	78.8	76.5	81.1
和歌山県	1096	80.9	79.4	76.9	81.7	83.0	80.0	77.5	82.4	78.5	77.0	74.4	79.5
鳥取県	994	84.9	84.6	82.2	86.8	85.7	84.9	82.5	87.1	81.1	80.7	78.1	83.1
島根県	1056	84.4	83.3	81.0	85.5	86.3	85.7	83.4	87.8	80.2	78.8	76.2	81.2
岡山県	1190	84.2	82.6	80.3	84.7	86.3	84.4	82.2	86.4	80.9	79.0	76.6	81.3
広島県	1363	83.1	81.1	78.9	83.1	85.4	83.4	81.3	85.4	80.5	78.1	75.9	80.3
山口県	1074	83.7	82.9	80.5	85.1	83.9	82.3	79.9	84.6	80.9	80.1	77.6	82.4
徳島県	935	83.7	83.5	81.0	85.9	85.9	85.3	82.9	87.6	80.1	79.6	76.8	82.1
香川県	1106	83.9	84.3	82.0	86.4	84.3	83.8	81.5	85.9	81.2	81.5	79.1	83.7
愛媛県	1109	85.0	83.3	81.0	85.5	85.8	83.7	81.4	85.8	81.1	79.5	77.0	81.9
高知県	857	83.7	82.2	79.4	84.7	84.3	83.3	80.7	85.8	79.1	78.4	75.5	81.1
福岡県	1211	85.0	83.1	80.8	85.1	86.5	83.0	80.8	85.1	81.8	81.6	79.3	83.7
佐賀県	995	83.4	82.2	79.7	84.5	85.1	83.5	81.1	85.8	80.4	79.4	76.8	81.9
長崎県	1071	84.6	83.0	80.6	85.2	86.1	84.7	82.4	86.8	82.5	81.6	79.2	83.9
熊本県	1058	86.8	85.6	83.4	87.7	87.4	86.1	83.9	88.1	82.6	81.4	78.9	83.7
大分県	1034	85.2	84.5	82.2	86.7	85.6	83.9	81.6	86.1	82.7	81.8	79.3	84.1
宮崎県	966	82.6	81.3	78.7	83.7	84.6	83.0	80.5	85.3	78.2	76.8	74.0	79.4
鹿児島県	1005	85.9	86.0	83.7	88.1	86.3	85.5	83.1	87.6	82.9	82.7	80.2	85.0
沖縄県	674	86.1	85.1	82.3	87.8	86.1	85.1	82.3	87.8	79.8	77.9	74.6	81.0

A-2 死亡場所で受けた医療に対する満足度

「4. やや満足～6. 非常に満足」 回答割合

		医療者は患者さまのつらい症状に すみやかに対応していた			
有効回答数		粗集計値 %	推定値 %	95% 信頼区間	
北海道	1169	76.9	73.7	71.1	76.2
青森県	1090	71.6	70.4	67.6	73.1
岩手県	1128	77.9	74.2	71.5	76.7
宮城県	1384	73.8	69.6	67.1	72.0
秋田県	955	71.5	70.8	67.8	73.7
山形県	1171	74.0	72.5	69.9	75.0
福島県	1209	74.6	70.6	68.0	73.2
茨城県	1327	72.3	68.7	66.2	71.2
栃木県	1373	72.6	68.6	66.1	71.1
群馬県	1293	75.3	73.4	70.9	75.8
埼玉県	1253	74.0	70.9	68.3	73.4
千葉県	1344	71.1	68.3	65.7	70.8
東京都	1199	73.6	71.5	68.8	74.0
神奈川県	1224	72.0	69.1	66.4	71.7
新潟県	1162	74.4	72.1	69.4	74.7
富山県	1127	74.8	72.4	69.7	75.0
石川県	1070	76.1	75.2	72.5	77.8
福井県	1010	76.4	75.0	72.2	77.6
山梨県	1034	75.2	74.7	71.9	77.3
長野県	1462	76.7	75.0	72.7	77.2
岐阜県	1432	75.3	73.1	70.7	75.4
静岡県	1432	74.0	70.7	68.2	73.0
愛知県	1300	74.4	71.0	68.5	73.5
三重県	1289	76.7	73.4	70.9	75.8
滋賀県	1156	76.5	74.6	72.0	77.1
京都府	1204	77.2	74.2	71.6	76.6
大阪府	1139	74.5	71.1	68.4	73.7
兵庫県	1190	74.7	74.0	71.4	76.5
奈良県	1247	74.8	72.5	69.9	75.0
和歌山県	1096	73.7	70.8	68.0	73.5
鳥取県	994	75.9	74.7	71.9	77.4
島根県	1056	75.9	74.4	71.7	77.0
岡山県	1190	78.0	75.3	72.7	77.7
広島県	1363	76.0	72.7	70.3	75.1
山口県	1074	76.8	73.8	71.1	76.4
徳島県	935	76.3	75.8	73.0	78.5
香川県	1106	77.7	77.4	74.8	79.8
愛媛県	1109	77.8	75.4	72.7	77.9
高知県	857	76.2	74.7	71.6	77.6
福岡県	1211	76.6	72.7	70.1	75.2
佐賀県	995	74.0	72.3	69.4	75.0
長崎県	1071	75.5	73.8	71.0	76.4
熊本県	1058	76.2	74.5	71.7	77.1
大分県	1034	77.8	75.5	72.8	78.1
宮崎県	966	72.5	71.0	68.0	73.9
鹿児島県	1005	78.7	78.0	75.3	80.5
沖縄県	674	71.4	69.5	65.8	72.9

B 死亡前1カ月間の患者の療養生活の質

「5. ややそう思う～7. とてもそう思う」 回答割合

	有効回答数	痛みが少なく過ごせた				からだの苦痛が少なく過ごせた				おだやかな気持ちで過ごせた			
		粗集計値	推定値	95%信頼区間		粗集計値	推定値	95%信頼区間		粗集計値	推定値	95%信頼区間	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
北海道	1169	51.2	47.3	44.4	50.2	44.3	40.5	37.6	43.3	52.3	43.6	40.8	46.5
青森県	1090	45.1	41.9	39.0	44.9	42.8	40.8	37.9	43.8	47.0	40.4	37.4	43.4
岩手県	1128	47.1	44.0	41.1	46.9	41.8	39.1	36.2	42.0	47.6	41.9	39.0	44.9
宮城県	1384	48.2	45.4	42.7	48.0	42.8	40.8	38.2	43.5	51.5	45.7	43.0	48.3
秋田県	955	45.8	45.0	41.8	48.3	41.8	40.6	37.5	43.8	48.8	44.4	41.2	47.6
山形県	1171	49.6	48.7	45.8	51.6	46.1	45.3	42.4	48.2	51.1	48.1	45.2	51.0
福島県	1209	48.7	46.1	43.2	48.9	42.7	40.2	37.4	43.0	49.8	42.6	39.8	45.4
茨城県	1327	48.9	45.5	42.8	48.2	43.1	39.3	36.7	42.0	50.3	42.8	40.1	45.5
栃木県	1373	51.0	47.8	45.1	50.5	44.2	41.2	38.6	43.9	52.2	44.8	42.1	47.5
群馬県	1293	52.2	49.2	46.4	52.0	46.1	43.1	40.4	45.8	52.5	44.7	42.0	47.5
埼玉県	1253	47.7	44.4	41.6	47.2	43.3	39.6	36.9	42.4	48.6	41.0	38.3	43.8
千葉県	1344	49.0	47.2	44.5	49.9	43.9	41.2	38.6	43.9	50.2	44.4	41.7	47.1
東京都	1199	51.0	47.9	45.0	50.7	43.9	41.4	38.6	44.2	52.5	45.6	42.8	48.5
神奈川県	1224	48.1	46.1	43.3	48.9	42.3	39.3	36.6	42.1	51.1	45.8	43.0	48.7
新潟県	1162	46.0	41.6	38.7	44.5	41.6	37.6	34.8	40.5	49.6	42.4	39.6	45.3
富山県	1127	49.9	48.5	45.6	51.5	43.9	42.1	39.2	45.0	46.2	41.7	38.8	44.7
石川県	1070	46.2	44.1	41.1	47.2	39.7	37.7	34.8	40.6	45.3	40.1	37.1	43.1
福井県	1010	47.8	45.5	42.4	48.7	42.7	39.9	36.9	43.0	47.7	42.9	39.8	46.0
山梨県	1034	51.2	49.7	46.6	52.8	45.7	44.6	41.5	47.7	52.9	49.5	46.4	52.6
長野県	1462	53.2	52.6	50.0	55.2	47.3	46.1	43.5	48.7	54.0	47.2	44.6	49.8
岐阜県	1432	47.6	46.0	43.4	48.6	42.8	42.0	39.4	44.6	52.0	46.7	44.1	49.3
静岡県	1432	46.7	44.1	41.5	46.8	41.0	37.9	35.4	40.5	50.8	43.2	40.6	45.8
愛知県	1300	50.4	48.3	45.6	51.1	43.6	41.2	38.5	44.0	51.5	45.7	43.0	48.5
三重県	1289	51.8	48.8	46.0	51.6	46.2	43.9	41.2	46.7	51.8	45.0	42.3	47.8
滋賀県	1156	53.1	52.0	49.1	54.9	46.5	44.5	41.6	47.4	50.2	45.7	42.8	48.6
京都府	1204	52.0	50.0	47.1	52.9	44.4	41.8	39.0	44.6	54.2	48.1	45.2	51.0
大阪府	1139	49.6	47.4	44.5	50.4	43.1	39.7	36.8	42.6	52.9	46.2	43.3	49.1
兵庫県	1190	53.8	51.6	48.7	54.5	47.3	45.9	43.0	48.8	54.1	48.8	46.0	51.7
奈良県	1247	51.3	48.4	45.6	51.3	45.8	43.5	40.7	46.3	51.6	46.0	43.2	48.8
和歌山県	1096	48.0	45.5	42.6	48.5	43.4	39.4	36.5	42.4	46.5	39.2	36.3	42.2
鳥取県	994	48.6	48.0	44.8	51.2	47.3	46.7	43.5	49.8	50.4	47.7	44.5	50.8
島根県	1056	48.1	46.6	43.6	49.7	44.2	42.3	39.3	45.4	50.4	47.0	43.9	50.0
岡山県	1190	49.4	45.9	43.0	48.8	45.5	42.2	39.4	45.1	52.9	46.4	43.5	49.3
広島県	1363	51.7	48.6	45.9	51.3	46.2	43.0	40.4	45.7	54.8	47.6	44.9	50.3
山口県	1074	50.7	48.0	45.0	51.1	46.6	44.6	41.6	47.6	51.0	46.2	43.2	49.2
徳島県	935	49.5	48.4	45.2	51.7	44.8	43.9	40.6	47.1	47.1	43.9	40.6	47.1
香川県	1106	47.3	47.6	44.6	50.6	44.4	44.9	42.0	47.9	48.7	46.0	43.1	49.0
愛媛県	1109	53.2	50.3	47.3	53.3	48.1	45.5	42.6	48.5	54.8	49.3	46.3	52.3
高知県	857	52.9	52.4	49.0	55.8	48.8	47.3	43.9	50.7	48.3	43.5	40.2	46.9
福岡県	1211	50.2	46.4	43.6	49.3	46.0	42.8	40.0	45.6	54.5	45.8	43.0	48.7
佐賀県	995	46.7	45.2	42.1	48.4	43.9	42.5	39.4	45.7	51.2	47.1	44.0	50.3
長崎県	1071	46.8	44.5	41.5	47.6	42.3	39.0	36.1	42.0	49.9	44.0	41.0	47.0
熊本県	1058	51.6	49.5	46.5	52.6	48.4	46.2	43.2	49.3	54.1	49.3	46.3	52.4
大分県	1034	52.0	50.1	47.0	53.2	47.0	44.9	41.8	48.0	51.6	47.6	44.5	50.7
宮崎県	966	46.2	44.7	41.6	47.9	41.2	39.0	35.9	42.2	50.1	44.7	41.6	47.9
鹿児島県	1005	51.2	48.4	45.2	51.5	48.9	46.1	43.0	49.2	56.0	50.3	47.2	53.5
沖縄県	674	43.8	42.8	39.0	46.6	38.6	37.9	34.2	41.6	44.2	39.8	36.1	43.6

望んだ場所で過ごせた				ご家族やご友人と十分に時間を過ごせた				ひととして大切にされていた			
粗集計値	推定値	95%信頼区間		粗集計値	推定値	95%信頼区間		粗集計値	推定値	95%信頼区間	
%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
61.1	43.8	40.9	46.7	67.8	60.5	57.6	63.3	82.2	76.8	74.3	79.2
50.2	40.4	37.4	43.4	55.3	50.3	47.3	53.3	76.5	73.7	71.0	76.3
54.4	45.0	42.1	48.0	57.1	51.4	48.5	54.4	80.4	77.8	75.3	80.2
60.6	50.3	47.6	53.0	65.7	60.3	57.7	62.9	83.6	80.9	78.8	83.0
51.8	44.6	41.4	47.8	57.8	54.4	51.2	57.6	80.9	79.3	76.6	81.8
57.3	48.4	45.5	51.3	61.5	56.7	53.8	59.6	81.7	79.8	77.3	82.0
58.2	44.6	41.8	47.4	62.9	53.7	50.8	56.5	81.3	76.8	74.4	79.2
59.3	46.5	43.8	49.2	63.6	58.4	55.7	61.1	81.7	77.9	75.6	80.1
60.3	49.1	46.4	51.8	64.3	58.2	55.5	60.8	81.4	77.2	74.9	79.4
59.6	47.0	44.3	49.8	62.1	55.1	52.3	57.8	81.3	76.6	74.2	78.9
59.8	46.5	43.7	49.3	60.9	52.5	49.7	55.3	80.1	75.3	72.9	77.7
58.9	49.1	46.4	51.8	63.4	57.7	55.0	60.3	82.6	79.4	77.1	81.5
61.9	51.8	48.9	54.7	66.1	60.5	57.6	63.3	82.4	79.4	77.0	81.7
62.9	52.0	49.1	54.8	65.4	60.2	57.4	63.0	81.9	78.4	76.0	80.7
54.3	43.7	40.8	46.6	59.2	54.0	51.0	56.9	80.9	77.6	75.1	80.0
51.9	43.4	40.5	46.3	59.6	54.9	52.0	57.9	79.8	76.9	74.4	79.4
50.3	42.2	39.3	45.3	59.3	55.1	52.1	58.2	80.5	78.8	76.2	81.2
49.2	42.8	39.7	45.9	59.6	54.8	51.6	57.9	80.5	78.0	75.3	80.5
57.3	49.9	46.8	53.0	65.7	61.9	58.9	64.9	83.4	82.4	79.9	84.7
63.8	51.4	48.8	54.0	65.8	58.5	55.9	61.0	85.8	82.4	80.4	84.3
62.4	51.4	48.8	54.0	65.4	59.8	57.2	62.3	82.3	79.1	76.9	81.2
60.4	47.9	45.3	50.5	64.1	56.2	53.6	58.8	81.9	78.2	76.0	80.3
60.9	49.7	46.9	52.5	65.5	60.3	57.6	63.0	82.6	79.6	77.3	81.8
57.7	46.0	43.3	48.8	64.9	58.4	55.7	61.1	83.2	79.6	77.3	81.8
56.0	46.7	43.8	49.6	63.5	59.0	56.1	61.9	81.5	78.8	76.3	81.1
61.0	48.2	45.3	51.0	65.8	59.1	56.3	61.9	83.9	80.9	78.6	83.1
61.0	50.8	47.9	53.8	67.3	61.0	58.1	63.9	84.1	79.8	77.4	82.1
61.4	48.5	45.6	51.4	67.3	62.1	59.3	64.9	81.4	77.7	75.3	80.1
60.1	49.9	47.1	52.7	68.7	63.8	61.1	66.5	83.8	81.1	78.8	83.2
56.5	45.4	42.5	48.4	63.4	56.7	53.7	59.6	82.8	79.4	76.9	81.7
51.3	45.3	42.1	48.4	60.3	57.3	54.2	60.4	81.8	80.4	77.8	82.8
53.1	46.3	43.3	49.4	60.2	56.5	53.5	59.6	82.3	80.0	77.5	82.4
58.1	46.8	43.9	49.7	64.7	58.4	55.5	61.2	81.9	78.1	75.6	80.4
60.0	46.8	44.1	49.5	65.8	59.4	56.8	62.1	84.4	79.7	77.4	81.8
55.8	44.8	41.8	47.8	64.4	59.3	56.3	62.3	80.0	77.1	74.5	79.6
48.6	42.9	39.7	46.1	60.3	57.3	54.1	60.5	81.2	80.0	77.3	82.5
54.2	47.9	44.9	50.9	61.8	59.2	56.3	62.1	81.1	80.2	77.7	82.5
63.5	51.3	48.3	54.3	69.7	63.1	60.2	66.0	84.4	80.5	78.1	82.8
56.1	46.6	43.2	50.0	61.5	56.7	53.3	60.1	82.5	80.1	77.2	82.7
60.3	45.3	42.5	48.2	68.0	61.9	59.1	64.7	83.1	77.7	75.3	80.0
52.0	44.6	41.5	47.8	65.7	61.8	58.7	64.8	81.0	78.3	75.6	80.8
56.8	45.0	42.0	48.0	66.5	60.5	57.5	63.5	83.1	79.6	77.1	82.0
56.9	46.3	43.3	49.4	64.9	60.1	57.1	63.1	83.4	79.4	76.8	81.8
54.0	45.2	42.1	48.3	64.7	59.8	56.7	62.8	81.7	79.4	76.8	81.8
52.9	44.3	41.1	47.5	62.6	58.1	54.9	61.2	81.7	78.8	76.1	81.3
58.7	48.5	45.3	51.6	68.3	63.2	60.1	66.2	84.6	82.0	79.5	84.3
50.5	41.6	37.8	45.4	59.6	53.8	50.0	57.7	83.2	81.1	78.0	84.0

C 死亡前1週間の患者の苦痛症状

「4. ひどい, 5. とてもひどい」 回答割合

	有効回答数	痛み				倦怠感・だるさ				体重減少・とてもやせた			
		粗集計値	推定値	95%信頼区間		粗集計値	推定値	95%信頼区間		粗集計値	推定値	95%信頼区間	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
北海道	1169	26.3	27.1	24.6	29.8	30.5	30.1	27.5	32.8	49.3	46.4	43.5	49.3
青森県	1090	29.3	30.5	27.7	33.3	26.8	27.6	25.0	30.4	47.3	45.6	42.6	48.6
岩手県	1128	31.4	31.6	28.9	34.4	32.2	32.1	29.4	34.9	50.3	48.2	45.3	51.2
宮城県	1384	30.4	31.0	28.6	33.5	32.4	32.2	29.8	34.8	50.5	48.8	46.1	51.4
秋田県	955	27.1	28.1	25.2	31.0	27.0	27.2	24.4	30.2	46.1	45.0	41.8	48.3
山形県	1171	28.6	29.2	26.6	31.9	31.1	31.5	28.9	34.3	46.5	43.9	41.0	46.8
福島県	1209	30.7	31.8	29.1	34.5	33.3	33.2	30.5	35.9	52.4	50.0	47.1	52.9
茨城県	1327	29.8	31.0	28.5	33.5	33.8	32.7	30.2	35.3	50.8	46.7	44.0	49.5
栃木県	1373	28.1	28.4	26.0	30.9	33.4	33.2	30.7	35.8	53.0	50.9	48.2	53.6
群馬県	1293	27.1	27.1	24.7	29.6	27.8	27.4	25.0	29.9	47.5	44.0	41.3	46.8
埼玉県	1253	29.5	29.5	27.0	32.1	31.4	30.3	27.8	33.0	53.8	49.9	47.1	52.7
千葉県	1344	26.7	25.7	23.4	28.1	31.8	30.6	28.1	33.1	51.3	49.0	46.3	51.7
東京都	1199	28.3	29.5	27.0	32.2	31.9	32.1	29.5	34.8	52.9	50.4	47.5	53.2
神奈川県	1224	32.8	31.9	29.3	34.6	30.8	30.5	27.9	33.1	53.8	49.8	47.0	52.7
新潟県	1162	26.6	28.9	26.3	31.6	26.7	27.7	25.2	30.4	45.1	43.6	40.8	46.5
富山県	1127	29.7	30.1	27.4	32.9	38.2	37.4	34.5	40.3	50.2	47.8	44.9	50.8
石川県	1070	31.3	31.6	28.8	34.5	29.4	28.7	26.0	31.5	46.4	44.7	41.7	47.7
福井県	1010	26.8	27.9	25.2	30.8	29.9	30.1	27.3	33.0	45.7	44.8	41.7	47.9
山梨県	1034	27.6	27.7	25.0	30.5	29.1	28.6	25.9	31.5	47.0	45.4	42.3	48.5
長野県	1462	26.4	26.1	23.9	28.5	31.8	31.5	29.2	34.0	48.0	45.7	43.1	48.3
岐阜県	1432	29.3	28.0	25.7	30.4	28.8	26.8	24.5	29.2	50.2	47.9	45.3	50.5
静岡県	1432	29.0	29.2	26.8	31.6	31.4	31.3	28.9	33.8	52.9	49.4	46.8	52.0
愛知県	1300	28.6	29.8	27.3	32.3	29.0	29.2	26.8	31.8	51.3	49.1	46.3	51.8
三重県	1289	24.4	25.1	22.8	27.6	27.6	27.1	24.7	29.6	47.4	45.5	42.7	48.2
滋賀県	1156	25.1	24.7	22.3	27.3	28.7	28.1	25.5	30.8	49.6	48.2	45.3	51.1
京都府	1204	26.7	26.9	24.4	29.5	27.8	27.6	25.1	30.2	50.6	49.0	46.1	51.9
大阪府	1139	27.9	27.6	25.0	30.3	31.1	31.0	28.3	33.8	49.8	45.5	42.6	48.4
兵庫県	1190	24.8	26.2	23.7	28.8	31.7	32.7	30.0	35.4	49.9	48.2	45.4	51.1
奈良県	1247	25.6	26.0	23.6	28.5	29.1	29.7	27.2	32.3	50.1	49.0	46.2	51.8
和歌山県	1096	26.2	26.0	23.4	28.7	30.6	32.0	29.3	34.9	46.4	44.7	41.7	47.7
鳥取県	994	25.1	24.6	22.0	27.5	22.9	23.1	20.6	25.9	44.3	42.5	39.4	45.6
島根県	1056	26.9	27.5	24.8	30.3	26.5	26.3	23.7	29.1	44.4	43.3	40.3	46.3
岡山県	1190	29.2	30.5	27.9	33.2	28.5	28.9	26.3	31.6	51.0	49.2	46.3	52.0
広島県	1363	25.5	25.2	22.9	27.6	28.0	28.0	25.7	30.5	48.1	46.3	43.6	49.0
山口県	1074	28.3	28.9	26.2	31.7	30.0	29.6	26.9	32.4	45.4	43.1	40.1	46.1
徳島県	935	26.7	26.8	24.0	29.8	28.6	28.5	25.6	31.5	45.2	43.7	40.5	47.0
香川県	1106	27.4	28.1	25.5	30.9	31.1	30.9	28.2	33.7	48.1	46.5	43.5	49.5
愛媛県	1109	23.7	24.4	21.9	27.1	30.1	29.6	26.9	32.4	45.5	44.2	41.2	47.2
高知県	857	24.6	23.3	20.5	26.3	28.7	26.6	23.7	29.7	47.4	45.2	41.8	48.6
福岡県	1211	28.6	29.2	26.7	31.9	35.3	35.0	32.3	37.8	52.3	48.7	45.9	51.6
佐賀県	995	30.1	29.1	26.3	32.1	31.9	30.5	27.6	33.4	46.0	43.7	40.6	46.9
長崎県	1071	31.9	31.0	28.2	33.9	33.2	31.6	28.8	34.4	50.2	47.8	44.8	50.9
熊本県	1058	31.6	31.4	28.6	34.3	32.8	32.8	30.0	35.7	46.7	45.9	42.9	49.0
大分県	1034	26.9	26.9	24.2	29.7	29.9	28.3	25.6	31.2	45.9	43.7	40.7	46.8
宮崎県	966	32.7	31.4	28.5	34.4	32.4	30.4	27.5	33.4	49.0	46.6	43.4	49.8
鹿児島県	1005	30.0	29.3	26.5	32.2	34.4	34.4	31.5	37.5	46.6	43.2	40.1	46.3
沖縄県	674	38.0	37.5	33.9	41.3	42.9	40.7	36.9	44.5	56.2	54.4	50.6	58.3

息切れ・息苦しさ

粗集計値	推定値	95% 信頼区間	
%	%		
26.4	28.5	25.9	31.2
25.3	26.4	23.8	29.2
26.5	27.3	24.7	30.0
28.0	29.6	27.2	32.1
25.0	26.3	23.5	29.2
23.5	23.8	21.4	26.4
29.8	31.3	28.7	34.0
28.0	28.2	25.8	30.7
26.2	28.8	26.4	31.2
23.7	25.3	22.9	27.8
27.5	27.2	24.8	29.8
26.0	26.3	23.9	28.7
30.1	31.2	28.6	33.9
29.2	31.0	28.4	33.6
23.5	25.0	22.6	27.6
27.8	28.7	26.0	31.4
24.7	25.3	22.8	28.1
26.2	26.9	24.2	29.8
25.8	26.2	23.6	29.0
24.8	25.3	23.1	27.6
26.6	28.3	26.0	30.7
25.8	27.3	25.0	29.7
25.5	26.4	24.0	28.9
24.1	26.1	23.7	28.6
26.9	28.1	25.5	30.8
25.7	27.4	24.9	30.0
28.3	29.2	26.6	32.0
26.9	28.8	26.3	31.5
26.9	28.5	26.0	31.1
28.7	29.1	26.4	31.9
23.9	24.4	21.8	27.2
25.0	25.6	23.0	28.3
27.2	29.6	27.0	32.3
24.9	26.9	24.6	29.4
24.7	25.5	22.9	28.2
28.3	28.7	25.8	31.7
27.1	27.2	24.6	29.9
22.0	22.5	20.1	25.1
23.5	21.9	19.2	24.9
28.5	29.6	27.0	32.2
23.8	23.9	21.3	26.7
27.1	26.9	24.3	29.7
26.8	27.7	25.0	30.5
25.6	25.5	22.9	28.3
29.9	29.6	26.7	32.6
28.2	28.3	25.5	31.2
35.2	33.8	30.3	37.5

D 最期の療養場所の希望や医療に関する話し合い

「3. そう思う 4. とてもそう思う」 回答割合

		患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあった				患者と医師間で心肺停止時の蘇生処置の実施について話し合いがあった				家族と患者間で最期の療養場所や蘇生処置について話し合いがあった			
		粗集計値		推定値		粗集計値		推定値		粗集計値		推定値	
	有効回答数	%	%	95% 信頼区間		%	%	95% 信頼区間		%	%	95% 信頼区間	
北海道	1169	49.9	38.1	35.3	40.9	39.2	36.3	33.5	39.1	49.6	45.7	42.8	48.6
青森県	1090	37.3	30.3	27.6	33.1	29.7	29.2	26.5	32.0	39.3	37.8	34.9	40.8
岩手県	1128	42.1	34.8	32.1	37.7	34.8	33.2	30.4	36.0	43.0	39.8	36.9	42.7
宮城県	1384	48.6	38.7	36.2	41.4	32.4	30.9	28.5	33.4	45.2	41.1	38.5	43.8
秋田県	955	39.7	34.2	31.2	37.4	32.3	30.8	27.9	33.8	41.5	39.0	35.9	42.1
山形県	1171	43.0	37.7	34.9	40.5	30.7	31.3	28.7	34.1	42.0	40.9	38.1	43.8
福島県	1209	39.2	28.0	25.5	30.7	28.5	27.8	25.3	30.4	40.3	36.3	33.6	39.1
茨城県	1327	44.3	32.7	30.2	35.3	36.2	34.9	32.3	37.5	43.9	39.0	36.4	41.7
栃木県	1373	43.9	34.3	31.8	36.9	34.3	33.4	30.9	36.0	43.4	38.7	36.1	41.3
群馬県	1293	44.4	35.8	33.2	38.5	34.6	33.4	30.8	36.1	43.6	40.1	37.4	42.8
埼玉県	1253	44.3	32.5	29.9	35.2	35.4	33.0	30.4	35.6	44.1	39.2	36.5	42.0
千葉県	1344	45.2	37.7	35.1	40.4	34.2	34.3	31.8	36.9	45.1	42.6	40.0	45.3
東京都	1199	44.0	36.4	33.6	39.2	36.5	35.8	33.1	38.6	46.7	44.3	41.5	47.2
神奈川県	1224	44.6	36.3	33.6	39.0	36.8	35.6	32.9	38.4	47.9	44.2	41.4	47.0
新潟県	1162	36.6	28.2	25.7	30.9	29.2	27.7	25.2	30.4	38.8	34.5	31.8	37.3
富山県	1127	39.4	33.1	30.4	35.9	35.1	34.6	31.8	37.5	43.4	41.2	38.3	44.1
石川県	1070	39.1	33.3	30.5	36.2	33.7	32.8	30.0	35.7	42.9	40.8	37.9	43.9
福井県	1010	37.5	31.7	28.8	34.7	31.8	32.1	29.2	35.1	41.0	38.3	35.3	41.4
山梨県	1034	41.1	35.6	32.7	38.6	32.3	32.4	29.6	35.4	39.8	37.7	34.8	40.8
長野県	1462	45.8	35.4	33.0	37.9	34.6	32.5	30.1	35.0	44.8	40.9	38.4	43.5
岐阜県	1432	45.4	38.6	36.1	41.2	36.9	36.5	34.0	39.1	46.5	44.0	41.4	46.6
静岡県	1432	43.7	34.6	32.1	37.1	31.8	30.5	28.1	33.0	43.4	39.5	37.0	42.1
愛知県	1300	44.9	34.8	32.2	37.4	38.2	37.1	34.4	39.8	47.9	44.9	42.2	47.7
三重県	1289	44.4	35.9	33.3	38.6	34.5	33.0	30.4	35.6	46.9	42.5	39.8	45.3
滋賀県	1156	40.8	34.5	31.8	37.3	37.1	36.6	33.8	39.4	44.8	42.6	39.7	45.5
京都府	1204	49.8	40.5	37.7	43.4	41.0	39.9	37.1	42.7	46.4	43.0	40.2	45.9
大阪府	1139	47.3	38.0	35.2	40.9	39.2	37.7	34.8	40.6	50.0	44.9	42.0	47.8
兵庫県	1190	46.6	39.7	36.9	42.5	36.6	35.7	33.0	38.5	48.1	45.7	42.9	48.6
奈良県	1247	44.8	38.1	35.4	40.9	34.6	34.1	31.5	36.8	44.8	42.6	39.8	45.4
和歌山県	1096	40.2	32.3	29.5	35.2	35.2	34.4	31.6	37.3	43.4	41.1	38.1	44.0
鳥取県	994	39.9	35.3	32.3	38.4	34.1	34.1	31.2	37.2	40.3	38.9	35.9	42.0
島根県	1056	39.5	33.6	30.8	36.6	31.2	30.6	27.8	33.5	38.4	36.3	33.4	39.3
岡山県	1190	41.3	32.7	30.0	35.4	35.6	35.5	32.7	38.3	43.7	40.4	37.6	43.3
広島県	1363	45.0	34.2	31.7	36.8	35.4	32.8	30.3	35.4	44.9	40.2	37.6	42.9
山口県	1074	41.2	33.2	30.4	36.2	34.8	34.4	31.5	37.3	42.6	39.9	37.0	42.9
徳島県	935	38.6	35.8	32.8	39.0	32.8	33.0	30.0	36.2	42.9	41.4	38.2	44.6
香川県	1106	40.2	36.1	33.2	39.0	35.3	36.1	33.2	39.0	43.6	43.0	40.1	46.0
愛媛県	1109	47.6	38.6	35.7	41.5	37.3	37.8	34.9	40.7	47.9	44.7	41.8	47.7
高知県	857	43.9	36.3	33.1	39.6	31.3	31.2	28.1	34.4	44.7	42.0	38.7	45.4
福岡県	1211	46.2	34.6	31.9	37.4	40.6	41.8	39.0	44.6	48.5	45.8	43.0	48.7
佐賀県	995	41.0	34.9	31.9	37.9	37.3	35.9	32.9	39.0	44.1	41.8	38.7	44.9
長崎県	1071	43.6	35.0	32.2	38.0	36.1	36.0	33.2	39.0	45.3	42.5	39.5	45.5
熊本県	1058	45.4	37.0	34.0	40.0	43.9	41.4	38.4	44.4	49.2	45.4	42.3	48.4
大分県	1034	44.9	36.6	33.6	39.6	37.0	36.3	33.3	39.3	46.3	43.6	40.6	46.7
宮崎県	966	42.8	35.7	32.7	38.8	38.6	37.4	34.3	40.5	48.3	44.3	41.1	47.5
鹿児島県	1005	47.7	38.7	35.7	41.8	40.0	38.0	35.0	41.1	49.2	45.6	42.5	48.7
沖縄県	674	44.4	37.6	33.9	41.3	43.9	43.2	39.4	47.0	49.7	47.9	44.1	51.8

E 家族の介護負担感

「5. ややそう思う～7. とてもそう思う」 回答割合

		介護をしたことで、全体的に負担感が大きかった			
		粗集計値	推定値	95% 信頼区間	
	有効回答数	%	%		
北海道	1169	36.9	36.6	33.8	39.5
青森県	1090	35.0	34.0	31.2	36.9
岩手県	1128	43.7	42.9	40.0	45.9
宮城県	1384	40.7	40.4	37.8	43.0
秋田県	955	37.0	35.8	32.8	38.9
山形県	1171	39.3	37.9	35.1	40.8
福島県	1209	40.0	38.8	36.0	41.6
茨城県	1327	40.8	39.2	36.6	41.9
栃木県	1373	43.2	42.4	39.8	45.1
群馬県	1293	41.6	40.6	37.9	43.3
埼玉県	1253	41.0	40.9	38.1	43.6
千葉県	1344	40.3	38.7	36.1	41.4
東京都	1199	39.0	37.5	34.8	40.3
神奈川県	1224	39.9	38.8	36.1	41.6
新潟県	1162	42.5	40.3	37.4	43.2
富山県	1127	41.3	40.0	37.1	43.0
石川県	1070	39.2	38.3	35.4	41.3
福井県	1010	39.9	39.8	36.8	42.9
山梨県	1034	40.1	40.9	37.9	44.0
長野県	1462	40.4	40.6	38.1	43.2
岐阜県	1432	41.3	41.5	38.9	44.1
静岡県	1432	39.6	39.3	36.8	41.9
愛知県	1300	40.9	39.7	37.0	42.4
三重県	1289	41.7	40.7	38.0	43.5
滋賀県	1156	43.6	42.0	39.2	45.0
京都府	1204	40.0	39.4	36.6	42.2
大阪府	1139	40.0	39.3	36.5	42.2
兵庫県	1190	41.5	40.8	38.0	43.7
奈良県	1247	39.3	39.2	36.5	42.0
和歌山県	1096	44.3	43.6	40.7	46.6
鳥取県	994	36.4	36.8	33.8	39.9
島根県	1056	41.0	40.9	37.9	43.9
岡山県	1190	39.8	40.6	37.8	43.4
広島県	1363	38.2	36.8	34.3	39.5
山口県	1074	38.6	37.6	34.7	40.6
徳島県	935	41.2	41.0	37.8	44.2
香川県	1106	42.3	41.7	38.8	44.7
愛媛県	1109	38.5	36.6	33.8	39.5
高知県	857	35.6	35.5	32.3	38.8
福岡県	1211	36.5	35.9	33.2	38.7
佐賀県	995	33.0	33.3	30.3	36.3
長崎県	1071	41.1	41.9	39.0	44.9
熊本県	1058	37.0	35.7	32.8	38.7
大分県	1034	38.3	37.3	34.4	40.4
宮崎県	966	41.0	41.1	38.0	44.3
鹿児島県	1005	36.7	34.8	31.9	37.9
沖縄県	674	41.4	42.1	38.4	46.0

F 最近2週間の遺族の抑うつ症状

有症割合

		設問1・設問2の回答合計得点が3点以上の割合			
		粗集計値		推定値	
有効回答数		%	%	95%信頼区間	
北海道	1169	21.0	21.5	19.2	23.9
青森県	1090	21.5	22.0	19.6	24.6
岩手県	1128	20.6	21.2	18.8	23.7
宮城県	1384	19.8	20.6	18.5	22.8
秋田県	955	17.0	17.8	15.4	20.4
山形県	1171	17.7	17.6	15.5	19.9
福島県	1209	19.9	20.1	17.9	22.5
茨城県	1327	18.4	18.9	16.8	21.1
栃木県	1373	18.8	19.4	17.3	21.6
群馬県	1293	19.3	19.6	17.4	21.8
埼玉県	1253	19.4	19.5	17.3	21.8
千葉県	1344	18.5	18.1	16.1	20.2
東京都	1199	17.8	18.0	15.9	20.3
神奈川県	1224	18.6	18.6	16.5	20.9
新潟県	1162	17.1	19.4	17.1	21.8
富山県	1127	19.3	18.5	16.2	20.9
石川県	1070	17.0	16.8	14.6	19.2
福井県	1010	16.6	16.1	13.9	18.6
山梨県	1034	19.2	18.9	16.5	21.4
長野県	1462	17.0	18.3	16.4	20.4
岐阜県	1432	17.0	17.5	15.6	19.6
静岡県	1432	18.0	19.3	17.3	21.4
愛知県	1300	17.0	17.5	15.5	19.7
三重県	1289	16.4	15.8	13.9	17.9
滋賀県	1156	17.3	17.4	15.2	19.7
京都府	1204	17.4	18.0	15.9	20.3
大阪府	1139	20.7	23.3	20.8	25.8
兵庫県	1190	19.0	20.4	18.2	22.8
奈良県	1247	17.4	18.0	15.9	20.2
和歌山県	1096	18.4	19.4	17.1	21.9
鳥取県	994	20.0	20.1	17.7	22.8
島根県	1056	15.7	15.7	13.6	18.1
岡山県	1190	18.1	19.6	17.4	22.0
広島県	1363	18.5	19.6	17.5	21.8
山口県	1074	19.9	21.1	18.7	23.7
徳島県	935	19.7	20.0	17.5	22.7
香川県	1106	18.0	18.5	16.3	21.0
愛媛県	1109	16.5	16.1	14.0	18.4
高知県	857	22.2	22.1	19.3	25.0
福岡県	1211	19.4	20.6	18.3	23.0
佐賀県	995	17.9	18.1	15.8	20.6
長崎県	1071	19.1	19.3	17.0	21.8
熊本県	1058	18.0	18.3	16.1	20.8
大分県	1034	17.1	17.6	15.3	20.1
宮崎県	966	20.0	21.0	18.5	23.7
鹿児島県	1005	16.7	16.8	14.6	19.3
沖縄県	674	22.1	22.6	19.5	25.9

G 最近1カ月間の遺族の強い悲嘆

有症割合

		設問1または設問2の回答が4点以上の割合			
		粗集計値		推定値	
有効回答数		%	%	95%信頼区間	
北海道	1169	34.0	32.4	29.7	35.2
青森県	1090	31.3	30.6	27.9	33.5
岩手県	1128	25.4	24.7	22.2	27.4
宮城県	1384	31.8	30.8	28.4	33.3
秋田県	955	25.7	25.5	22.8	28.4
山形県	1171	26.6	25.5	23.1	28.1
福島県	1209	30.8	28.5	26.0	31.2
茨城県	1327	31.6	30.8	28.3	33.4
栃木県	1373	31.0	29.2	26.8	31.7
群馬県	1293	28.8	26.8	24.4	29.3
埼玉県	1253	31.6	30.2	27.6	32.8
千葉県	1344	31.0	30.1	27.7	32.7
東京都	1199	35.0	35.9	33.1	38.7
神奈川県	1224	33.8	33.2	30.5	35.9
新潟県	1162	25.5	26.4	23.9	29.1
富山県	1127	28.2	27.3	24.7	30.0
石川県	1070	27.0	26.0	23.4	28.7
福井県	1010	24.6	24.0	21.4	26.7
山梨県	1034	32.0	31.3	28.5	34.3
長野県	1462	29.7	30.1	27.8	32.5
岐阜県	1432	30.3	30.2	27.8	32.6
静岡県	1432	28.1	27.5	25.2	29.9
愛知県	1300	29.5	27.8	25.4	30.3
三重県	1289	27.5	26.7	24.3	29.2
滋賀県	1156	29.2	28.5	25.9	31.2
京都府	1204	33.0	33.1	30.5	35.9
大阪府	1139	32.8	32.5	29.8	35.3
兵庫県	1190	32.7	32.4	29.8	35.2
奈良県	1247	32.0	32.9	30.3	35.6
和歌山県	1096	29.2	28.5	25.8	31.2
鳥取県	994	27.9	27.0	24.2	29.8
島根県	1056	26.3	26.0	23.4	28.8
岡山県	1190	28.8	29.0	26.4	31.7
広島県	1363	31.0	31.6	29.2	34.2
山口県	1074	32.2	32.1	29.3	35.0
徳島県	935	27.0	27.2	24.3	30.1
香川県	1106	28.5	29.0	26.4	31.8
愛媛県	1109	29.4	29.5	26.8	32.3
高知県	857	33.3	32.4	29.3	35.7
福岡県	1211	32.6	32.4	29.7	35.1
佐賀県	995	28.3	27.8	25.1	30.7
長崎県	1071	35.1	33.7	30.9	36.6
熊本県	1058	30.2	29.3	26.6	32.2
大分県	1034	30.4	29.7	26.9	32.6
宮崎県	966	35.2	34.4	31.4	37.5
鹿児島県	1005	34.6	34.4	31.5	37.5
沖縄県	674	38.1	37.8	34.2	41.6

3 調査票書類

1) 依頼状

患者さまが受けられた医療に関するご遺族へのアンケート調査 ご協力をお願い

謹啓

突然、このようなお手紙を差し上げることをお許しください。

このたび、厚生労働省委託事業として、「がん」「心疾患」「脳血管疾患」「肺炎」「腎不全」のいずれかの病気により亡くなられた患者さまのご遺族の方を対象に、患者さまが受けられた医療に関するアンケート調査を行うこととなり、無作為に選ばれた患者さまのご遺族の方々にアンケートをお送りしています。

現在わが国では、人生の最期の大切な時間における医療の改善が求められています。その実態や課題を明らかにするためには、ご遺族の方々の意見が不可欠となっています。

この調査は、ご遺族の意見を広くお伺いする全国調査として、実際に患者さまがお亡くなりになる前に利用された医療や生活の状況、ご遺族の方が介護を通して感じられたことをお伺いし、今後の医療の向上に反映させることを目的としています。

別紙に調査の趣旨や内容について詳しい説明がございますので、ご一読ください。調査にご協力いただける場合は、同封のアンケート用紙に回答の上、ご返送ください。ご返送には、同封の返信用封筒をお使いください（切手は不要です）。お手元に届いてから2週間以内にご投函いただければ幸いです。また、調査に協力いただけない場合も、アンケート用紙の表紙にある「その主な理由」をご回答の上、ご返送をお願いします。調査はあなたの自由意思に基づいて行なわれるもので、参加しない場合も不利益になることは一切ありません。

このようなお願いを突然お送りして、おつらい気持ちになられましたら誠に申し訳ございません。皆様からいただいた率直なご意見を、たとえ病気を患ったとしてもその方の意向に沿った生活を支えていく医療の実現のために活かしてまいります。お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

末筆ではございますが、時節柄、どうかご自愛くださいますよう、お祈り申し上げます。

謹白

令和2年3月

国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長 中釜 斉

2) 趣意書

患者さまが受けられた医療に関するご遺族の方へのアンケート調査 趣旨

1. 調査の意義と目的

このアンケートは、「がん」「心疾患」「脳血管疾患」「肺炎」「腎不全」のいずれかの病気により亡くなられた患者さまのご遺族の方のご意見を広く伺い、大切な最期の時間をその人らしく、より良く過ごすことができる医療のあり方を明らかにすることを目的としています。ご遺族のご意見を広くお伺いする全国調査として継続的に調査を行うことで、ご遺族からみた医療の問題を明らかにし、医療の改善に役立てます。

2. 調査の対象となる方

2018年に、「がん」「心疾患」「脳血管疾患」「肺炎」「腎不全」のいずれかのご病気により亡くなられた患者さまのご遺族の方で、患者さまを主に介護された成人の方にご協力をお願いしております。

なお、このアンケートは、厚生労働省の人口動態調査に用いられる死亡者の情報から、無作為に選ばれた患者さまのご遺族の方にアンケートをお送りしています。

3. 調査の方法と期間

アンケート用紙に回答をご記入の上、同封の返信用封筒でご返送ください。アンケートの内容は、患者さまがお亡くなりになる前に受けられた医療や療養生活、ご遺族の方が介護を通して感じられたことについてお伺いいたします。アンケートの記入には20分程度を要します。アンケートにご協力いただけない場合でも、アンケート用紙の表紙にある「その主な理由」をご回答の上、ご返送ください。調査実施期間は2020年3～5月を予定しています。

4. 調査への参加の自由

この調査に参加されるかどうかは、あなたの自由です。調査への参加に同意された後でも、また調査の途中であっても、自由に同意を撤回することができます。

5. 調査参加により予想される利益と不利益

アンケート調査の結果は、わが国の医療の改善に役立てるための貴重なご意見とさせていただきます。回答したくない質問については、ご回答いただかなくても構いません。また、アンケートに回答しないことによる不利益はありません。

6. 調査で気持ちがつらくなった場合などについて

アンケートの質問によっては、身近な故人を思い出すことで悲しい思いをする場合があります。万が一、回答中に気持ちのつらさが強く生じた場合には、速やかに調査を中断してください。しばらく安静にしても気持ちのつらさや体調不良などが続く場合には、調査事務局までご相談ください。

7. 個人情報の取り扱い

アンケートおよび返信用封筒に住所・氏名のご記入は不要です。この調査で得た個人情報は、調査事務局内(国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援部)に保管されます。調査事務局である国立がん研究センターがん対策情報センターでは、情報セキュリティマネジメントシステム適合性

患者さまが受けられた医療に関するご遺族の方への調査

皆様のご意見を伺い、わが国の医療の改善に役立てます ご回答をお願い申し上げます

ご記入に関するお願い

- アンケートは、「がん」「心疾患」「脳血管疾患」「肺炎」「腎不全」のいずれかのご病気でお亡くなりになられた患者さま（封筒に記載された宛名）のご遺族の方を対象としています
- アンケートへの回答は、患者さまを主に介護されていた成人の方 をお願いいたします
- 選択式の質問は、最もあてはまると思われる番号に○をお付けください
- 回答しにくい、回答がづらいと感じられた質問は、無理に回答せず、次の質問にお進みください
- アンケートおよび返信用封筒に住所・氏名のご記入や切手は不要です

設問における用語の説明

- このアンケートで用いる「医療者」とは、医師・看護師・介護施設のスタッフなど、お亡くなりになられた患者さまの医療やケアを主に担当した者となります

まず、アンケートへのご協力についてお伺いします

問 1. アンケートへのご協力についてご回答ください（○は1つ）

1. 協力します ⇒ 次ページにお進みください
2. 協力しません（ご回答されない場合でも、アンケートをご返送下さい）

その主な理由に○を付けてください（複数回答可）

1. 患者さまが亡くなられた当時のことを思い出すのがづらい
2. 患者さまが診療を受けていた期間が短いので、回答できない
3. 患者さまが亡くなられた場所（病院や自宅など）で受けた医療・ケアに対して不満がある
⇒ 医療の改善すべき点を明らかにするためのアンケートですので、よろしければご回答いただき、ご意見をお聞かせください
4. 患者さまが亡くなられた当時のことをよく知らない
5. 体調が悪くて回答できない
6. アンケートに慣れていない
7. その他（ ）

以降は、封筒の宛名に記載された患者さまについてお伺いします

問 2. お亡くなりになった年齢 (おおよそで結構です)

() 歳

問 3. 患者さまがお亡くなりになるとき、同居していた方はいましたか

1. あり 2. なし

問 4. お亡くなりになる原因となった病気を診断されてから、実際にお亡くなりになるまでの期間は、おおよそどのくらいでしたか (○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 24時間以内 | 2. 1週間以内 | 3. 1カ月以内 |
| 4. 3カ月以内 | 5. 1年以内 | 6. 5年以内 |
| 7. 10年以内 | 8. 10年より長い | 9. わからない |

問 5. 患者さまがお亡くなりになるおおよそ 1カ月前の生活の様子について、もっとも近い番号に○を付けてください (○は1つ)

1. 生活は自立していた 2. 一部介助が必要だった 3. ほぼ全般に介助が必要だった 4. わからない

問 6. 患者さまがお亡くなりになる 1カ月前頃の、意思の伝達能力について、もっとも近い番号に○を付けてください (会話・筆談・手話など伝達手段は問いません) (○は1つ)

1. 問題なく意思を他者に伝えられた 2. 多少の困難はあったが、意思を他者に伝えられた
 3. ほとんど意思を他者に伝えられなかった 4. 全く意思を他者に伝えられなかった 5. わからない

問 7. 患者さまは認知症*と医師から言われていましたか (○は1つ)

*認知症とは、脳や身体の疾患が原因で、記憶・判断力などの障害が起こり、日常生活に支障をきたした状態のことです

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問 8. 患者様はお亡くなりになる 3カ月前頃、認知症のために、自分で適切な服を選べないことや*、着替えや入浴を嫌がることはありましたか (○は1つ)

*適切な服を選べないとは、例えば、季節や気温に合わせた服を選べない、など

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問 9. 患者様がお亡くなりになる 3カ月前頃、食事の量はおおよそどの程度でしたか (○は1つ)

1. いつも通りだった 2. 少し減少していた (数口より多い)
 3. 減少していた (数口程度) 4. 食べられなかった 5. わからない

問 10. 患者さまがお亡くなりになる 3カ月前の時点で、定期的に透析を受けていましたか (○は1つ)

1. 受けていない 2. 血液透析を受けていた 3. 腹膜透析を受けていた
 4. 血液透析と腹膜透析を併用で受けていた 5. わからない

**患者さまがお亡くなりになった場所（病院や自宅など）で受けた
医療・ケアについてお伺いします**

問 11. 患者さまがお亡くなりになった場所では、どのくらいの期間を過ごしましたか（○は1つ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 3日以内 | 2. 1週間未満 | 3. 1か月未満 |
| 4. 3か月未満 | 5. 3か月以上 | 6. わからない |

問 12. 患者さまがお亡くなりになる前 1 カ月間に、病院に救急搬送（救急車の利用）されたことはありますか（○は1つ）

- | | | | |
|-------|---------|-----------|----------|
| 1. ない | 2. 1回ある | 3. 2回以上ある | 4. わからない |
|-------|---------|-----------|----------|

→ 問 12a. 最後に救急搬送された時、心肺停止状態でしたか（○は1つ）

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問 13. お亡くなりになる前の状況について、
最も近い番号を1つずつお選びください

	そま う 思 た く わ か ら い	そ う 思 わ な い	そ あ ま り 思 わ な い	そ や 思 う	そ う 思 う	そ 非 常 に 思 う	わ か ら な い
a. 医療者は、患者さまのつらい症状にすみやかに対応していた	1	2	3	4	5	6	0
b. 医師は、患者さまのからだの苦痛をやわらげるように努めていた と思いますか	1	2	3	4	5	6	0
c. 看護師や介護職員は、患者さまのからだの苦痛をやわらげる ように努めていた	1	2	3	4	5	6	0
d. 患者さまの不安や心配をやわらげるように、医師、看護師、 介護職員は努めていた	1	2	3	4	5	6	0
e. 医師の患者さまへの病状や治療内容の説明は十分だった	1	2	3	4	5	6	0
f. 医師のご家族への病状や治療内容の説明は十分だった	1	2	3	4	5	6	0
g. 病室（自宅）は生活しやすく、快適だった	1	2	3	4	5	6	0
h. ご家族が健康を維持できるような配慮があった	1	2	3	4	5	6	0
i. 支払った費用の金額は妥当だった	1	2	3	4	5	6	0
j. 必要なときに待たずに入院（利用）できた	1	2	3	4	5	6	0
k. 医師・看護師・介護職員など医療者どうしの連携はよかった	1	2	3	4	5	6	0
l. 医師は、患者さまとよい関係を築いていた	1	2	3	4	5	6	0
m. 看護師や介護職員は、患者さまとよい関係を築いていた	1	2	3	4	5	6	0

問 14. お亡くなりになった場所で受けた医療は全般的に満足でしたか（○は1つ）

- | | | | |
|-----------|----------|----------|---------|
| 1. 非常に不満足 | 2. 不満足 | 3. やや不満足 | 4. やや満足 |
| 5. 満足 | 6. 非常に満足 | 7. わからない | |

患者さまがお亡くなりになる前の療養生活についてお伺いします

問 15. 患者さまは療養中の苦痛症状について、どのように感じていたと思いますか
お亡くなりになる前の 1 週間の状況について、最も近い番号を 1 つずつお選びください

	わからない	症状はなかった	症状の強さ			
			少し	まあまあ	ひどい	ひどいも
a. 痛み	0	1	2	3	4	5
b. 倦怠感・だるさ	0	1	2	3	4	5
c. 吐き気・嘔吐	0	1	2	3	4	5
d. 便秘	0	1	2	3	4	5
e. 食欲不振	0	1	2	3	4	5
f. 体重減少・とてもやせた	0	1	2	3	4	5
g. 眠気・うとうとした感じ	0	1	2	3	4	5
h. 不眠・眠れない	0	1	2	3	4	5
i. 息切れ・息苦しさ	0	1	2	3	4	5
j. かゆみ	0	1	2	3	4	5
k. 飲み込みにくい・噛みにくい	0	1	2	3	4	5

問 15a. 痛み「2 少し」～「5 とてもひどい」を選択された場合は、その理由としてあてはまるものすべて
お選びください（複数選択可） それ以外の方は問 16 にお進みください

1. 医師が痛みについて質問しなかったため、痛みを伝えられなかった
2. 医師は話しにくい雰囲気があり、痛みを伝えられなかった
3. 医師に痛みを伝えたが、対処してくれなかった
4. 医師はある程度は痛みに対処してくれたが、不十分だった
5. 医師の診察回数や診察時間が不十分だった
6. 診察する医師が決まっていなかったため（複数いたなど）、その場その場の対処となり、痛みは取れなかった
7. その他（ ）
8. わからない

問 16. 患者さまは、病気の療養中からだの苦痛を和らげる専門家の診療（緩和ケアチーム、ホスピス・緩和ケア病棟、緩和ケア外来、在宅緩和ケアなど）を受けていましたか（○は1つ）

1. 受けていなかった 2. 受けていた 3. わからない

問 17. 患者さまがお亡くなりになる前 1 カ月間で最も長く過ごしていた療養場所はどこですか (○は 1 つ)

- | | | |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 自宅 | 2. 病院 (ホスピス・緩和ケア病棟以外) | 3. ホスピス・緩和ケア病棟 (がんのみ) |
| 4. 介護施設・老人ホーム | 5. その他 | 6. わからない |

問 18. 療養生活について、患者さまはどのように感じていたと思いますか
お亡くなりになる前の 1 カ月間の状況について、
最も近い番号を 1 つずつお選びください

	全く そう 思わない	そう 思わない	そあまり 思わない	い どちらとも えない	やや そう 思う	そう 思う	とても そう 思う	わ から ない
患者さまは、								
a. 痛みが少なく過ごせた	1	2	3	4	5	6	7	0
b. からだの苦痛が少なく過ごせた	1	2	3	4	5	6	7	0
c. おだやかな気持ちで過ごせた	1	2	3	4	5	6	7	0
d. 望んだ場所で過ごせた	1	2	3	4	5	6	7	0
e. 楽しみになるようなことがあった	1	2	3	4	5	6	7	0
f. 医師を信頼していた	1	2	3	4	5	6	7	0
g. 人に迷惑をかけてつらいと感じていた	1	2	3	4	5	6	7	0
h. ご家族やご友人と十分に時間を過ごせた	1	2	3	4	5	6	7	0
i. 身の回りのことはたいてい自分でできた	1	2	3	4	5	6	7	0
j. 落ち着いた環境で過ごせた	1	2	3	4	5	6	7	0
k. ひととして大切にされていた	1	2	3	4	5	6	7	0
l. 人生をまっとうしたと感じていた	1	2	3	4	5	6	7	0
m. 納得がいくまで治療を受けられた	1	2	3	4	5	6	7	0
n. 自然に近いかたちで過ごせた	1	2	3	4	5	6	7	0
o. 大切な人に伝えたいことを伝えられた	1	2	3	4	5	6	7	0
p. 先々に起こることを詳しく知っていた	1	2	3	4	5	6	7	0
q. 病気や死を意識せずに過ごせた	1	2	3	4	5	6	7	0
r. 他人に弱った姿をみせてつらいと感じていた	1	2	3	4	5	6	7	0
s. 生きていることに価値を感じられた	1	2	3	4	5	6	7	0
t. 信仰に支えられていた	1	2	3	4	5	6	7	0

患者さまの在宅診療や介護保険サービスの利用についてお伺いします

問 19. 患者さまは、亡くなる前 6 カ月間に、在宅で定期的に医師の訪問による診療（訪問診療）を受けた期間はありましたか（○は 1 つ）

1. 定期的な訪問診療を受けた
⇒ 問 19a,b,c もご回答ください

2. 定期的な訪問診療を受けなかった
⇒ 問 20 にお進みください

問 19a. 在宅訪問診療を受けている間は、患者さまあるいは家族の方は、必要な時にいつでも病状を知っている医師または看護師に連絡を取ることができていましたか（○は 1 つ）

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 19b. 患者さまは、在宅訪問診療を利用して必要な医療（治療、処置など）を十分に受けることができたと思いますか（○は 1 つ）

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 19c. 患者さまは、在宅訪問診療を利用して必要な支援を十分に受けることができたと感じますか（○は 1 つ）

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 20. 患者さまは、お亡くなりになる前 6 カ月間に、介護保険サービスを利用したことがありますか（○は 1 つ）（介護保険サービスは、要介護認定を受けた後に介護保険を用いて利用できます）

- | |
|-----------------|
| 1. 利用したことがある |
| 2. 一回も利用したことがない |

問 20a. 患者さまは、必要な介護保険サービスを十分に受けることができたと感じますか（○は 1 つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. どちらとも言えない | 4. あまりそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 20b. 「介護保険サービスを利用したことがない」理由をお選びください（○は 1 つ）

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 介護保険サービスを知らなかった | 2. 介護保険サービスを知っていたが、申請しなかった |
| 3. 介護保険サービスを申請したが利用できなかった | 4. わからない |

問 20c. 「申請したが利用できなかった」理由をお選びください（複数回答可）

- | | |
|--|----------|
| 1. 介護認定は受けたが、患者さまやご家族の意向で利用しなかった | 6. わからない |
| 2. 介護認定に必要な調査を受ける前に患者さまが亡くなられた | |
| 3. 介護認定の等級が低く、希望したサービスを受けることができなかった | |
| 4. 介護認定の結果が出る前に、暫定ケアプランを利用できることを知らなかった | |
| 5. その他（ | |

**患者さまの病状への思いや、医療に関する希望についてお伺いします
お亡くなりになる 1 カ月前の状況についてご回答ください**

問 21. 患者さまはお亡くなりになる 1 カ月前、ご自身の病気をどのようにお考えになっていましたか
(○は1つ)

- | | | |
|-----------------------|--------------------|----------|
| 1. 重い病状で、治らないと考えていた | 2. 重い病状だが、治ると考えていた | |
| 3.それほど重い病状だとは考えていなかった | 4. 病気の自覚がなかった | 5. わからない |

問 22. 医療や療養する場所の希望についてお伺いします

問 22a. 患者さまは最期をどこでむかえたいと希望していましたか (○は1つ)

- | | | |
|---------------|-----------------------|----------------|
| 1. 自宅 | 2. 病院 (ホスピス・緩和ケア病棟以外) | 3. ホスピス・緩和ケア病棟 |
| 4. 介護施設・老人ホーム | 5. その他 | 6. 希望はなかった |
| | | 7. わからない |

問 22b. 「自宅」を希望されていたが、希望がかなわなかった方にお伺いします
その理由として、あてはまるものすべてお選びください (複数回答可)
それ以外の方は問 22c にお進みください

- | | | |
|--|--|--|
| 1. 医師から自宅で過ごせることの説明がなかった | | |
| 2. こんなに早く悪くなると思っていなかったので、相談や準備をしていなかった | | |
| 3. よくなると思っており、気持ちの整理ができず、相談や準備をしていなかった | | |
| 4. 治療を続けたかったため、相談や準備をしていなかった | | |
| 5. 痛みや呼吸困難などのからだの苦痛が取れなかった | | |
| 6. 在宅で見られる診療所の医師や看護師が見つからなかった | | |
| 7. 症状は落ち着いていたが、自宅で介護 (生活) をすることが大変だった | | |
| 8. 急な変化があったときや夜間の対応が心配だった | | |
| 9. その他 () | | |
| 10. わからない | | |

問 22c. 患者さまがお亡くなりになる 1 カ月前頃までに、最期をどこで過ごすか (自宅や希望の病院など) について、患者さまは主治医等と十分に話し合いができましたか
(○は1つ)

- | | | | |
|-------------------------------|-----------|---------|------------|
| 1. まったくそう思わない | 2. そう思わない | 3. そう思う | 4. とてもそう思う |
| 5. 急に亡くなったので、話し合える状況ではなかった など | | | 6. わからない |

問 23. 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸器を用いた人工呼吸を行うこと）についてお伺いします

問 23a. 患者さまがお亡くなりになる時、蘇生処置が行われましたか（○は1つ）

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問 23b. 患者さまは、心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置を希望していましたか（○は1つ）

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問 23c. 患者さまは主治医等と、病状が悪化して心臓や呼吸が止まった場合に備え、蘇生処置を行うかについて、十分に話し合いができましたか（○は1つ）

- | | | |
|---------------|-----------|----------|
| 1. まったくそう思わない | 2. そう思わない | 3. そう思う |
| 4. とてもそう思う | 5. わからない | 6. 該当しない |

問 24. 患者さまは、意思決定ができなくなったときに備えて、療養場所や蘇生処置など、どのような医療・療養を受けたいか、あるいは受けたくないかなどについて記載した書面を作成していたと思いますか（○は1つ）

- | | | |
|------------|----------------|---------------|
| 1. 作成していない | 2. おそらく作成していない | 3. おそらく作成していた |
| 4. 作成していた | 5. わからない | |

**ご家族の、患者さまの医療に関する話し合いについてお伺いします
患者さまがお亡くなりになる 1 カ月前の状況についてご回答ください**

問 25. あなたは、患者さまの病気をどのようにお考えになっていましたか（○は1つ）

- | | | |
|------------------------|---------------------|-----------|
| 1. 重い病状で、治らないと考えていた | 2. 重い病状だが、治ると考えていた | |
| 3. それほど重い病状だとは考えていなかった | 4. 重い病状であることを知らなかった | 5. 発症前だった |

問 26. あなたと患者さまは、意思決定できなくなったときに備えて、療養場所や蘇生処置など、どのような医療や療養を受けたいか、十分に話し合いができましたか（○は1つ）

- | | | |
|---------------|-----------|---------|
| 1. まったくそう思わない | 2. そう思わない | 3. そう思う |
| 4. とてもそう思う | 5. わからない | |

問 27. あなたは患者さまの主治医等と、患者さまの病状が悪化して心臓や呼吸が止まった場合に備え、蘇生処置を行うかについて、十分に話し合いができましたか（○は1つ）

- | | | |
|---------------|-----------|----------|
| 1. まったくそう思わない | 2. そう思わない | 3. そう思う |
| 4. とてもそう思う | 5. わからない | 6. 該当しない |

あなたご自身についてお伺いします

問 28. 年齢 () 歳

問 29. 性別 1. 男性 2. 女性

問 30. 患者さまからみた、あなたのご関係（続柄）を 1 つだけお選びください

1. 配偶者 2. 子 3. 嫁・婿 4. 親 5. その他親族 6. その他

問 31. あなたと患者さまは、お互いの気持ちを理解できるような関係でしたか（○は 1 つ）

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う

問 32. 患者さまがお亡くなりになる前 1 週間の、あなたの介護の状況をご回答ください

問 32a. あなたは仕事をしていましたか（○は 1 つ）

1. 仕事をしていなかった 2. 仕事をしていたがやめた 3. 休暇を取得していた
4. パートタイムで仕事をしていた 5. フルタイムで仕事をしていた

問 32b. 患者さまに平均してどのくらい付き添っていましたか（○は 1 つ）

1. 付き添っていなかった 2. 週に 1～3 日 3. 週に 4～6 日 4. 毎日

問 32c. あなたのからだの健康状態はいかがでしたか（○は 1 つ）

1. 非常によくなかった 2. よくなかった 3. まあまあだった 4. よかった

問 32d. あなたのこころの健康状態はいかがでしたか（○は 1 つ）

1. 非常によくなかった 2. よくなかった 3. まあまあだった 4. よかった

問 33. あなたの介護体験についてお伺いします
最も近い番号を 1 つずつお選びください

	思全 わく な そ う い う	思 そ わ う な い	そ あ ま り 思 わ な い	い ど ち ら と も	そ や う 思 う	そ う 思 う	そ と も 思 う
a. 介護をしたことで、全体的に負担が大きかった	1	2	3	4	5	6	7
b. 介護をしたことで、自分の時間や予定が犠牲になった	1	2	3	4	5	6	7
c. 介護をしたことで、身体的な負担が大きかった	1	2	3	4	5	6	7
d. 介護をしたことで、精神的な負担が大きかった	1	2	3	4	5	6	7
e. 介護をしたことで、経済的な負担が大きかった	1	2	3	4	5	6	7
f. 介護について、自分にできるだけことはできた	1	2	3	4	5	6	7

あなたご自身の現在のお気持ちについてお伺いします

ご遺族の方々が安心して過ごせるための支援を推進するため、ご回答をお願い申し上げます

	全くない	数日	半分以上	ほとんど毎日
問 34. この 2 週間に、次のような問題にどのくらい頻繁に悩まされていますか 最も近い番号を 1 つずつお選びください				
a. 物事に対してほとんど興味が無い、または楽しめない	1	2	3	4
b. 気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的な気持ちになる	1	2	3	4
c. 死んだ方がまだ、あるいは自分を何らかの方法で傷つけようと思ったことがある	1	2	3	4

問 35. お亡くなりになられた患者さまに対する、あなたのお気持ちについてお伺いします

問 35a. この 1 か月間に、亡くなった方を慕い、会いたいと思いがれることがどのくらいありましたか
(○は 1 つ)

- | | | |
|-----------------------|------------------|--------------------|
| 1. 全くなかった | 2. 少なくとも 1 回はあった | 3. 少なくとも週に 1 回はあった |
| 4. 少なくとも 1 日に 1 回はあった | 5. 1 日に数回あった | |

問 35b. この 1 か月間に、亡くなった方との関係が失われたことにまつわる心の痛みや、悲哀、悲しみが急にこみ上げるなどの強い感情を体験することがどのくらいありましたか (○は 1 つ)

- | | | |
|-----------------------|------------------|--------------------|
| 1. 全くなかった | 2. 少なくとも 1 回はあった | 3. 少なくとも週に 1 回はあった |
| 4. 少なくとも 1 日に 1 回はあった | 5. 1 日に数回あった | |

問 36. お亡くなりになった患者さまの病気や療養生活について心残りや後悔はありますか (○は 1 つ)

- | | | | |
|----------|---------|----------|-----------|
| 1. 非常にある | 2. 少しある | 3. あまりない | 4. まったくない |
|----------|---------|----------|-----------|

問 37. 患者さまがお亡くなりになった後に、友人・知人・家族以外の医療者によるサポート（支援）を受けたいと思ったことはありましたか (○は 1 つ)

- | | | |
|----------------|---------------------------|------------------|
| 1. 実際に受けたことがある | 2. 受けたいと思ったことはあったが、受けなかった | 3. 受けたいと思ったことはない |
|----------------|---------------------------|------------------|

患者さまが「がん」でお亡くなりになったご遺族の方にお伺いします

それ以外の方は、問 42 にお進みください

問 38. 患者さまがお亡くなりになった場所は、ホスピス・緩和ケア病棟*でしたか (〇は 1 つ)

1. はい 2. いいえ 3. わからない

※「ホスピス・緩和ケア病棟」は、国が定めた施設基準を満たす全国 423 カ所（2019 年 6 月現在）が指定されており、がん・エイズ以外の病気では通常は入院できません

問 39. 患者さまへの病名（がんであること）の説明についてお伺いします

問 39a. お亡くなりになる前までに、医師から患者さまへ病名をどのように説明されましたか (〇は 1 つ)

1. がん（悪性腫瘍）であることがはっきり説明された
2. 「悪いもの」「腫瘍がある」など、あいまいに説明された
3. 「がんではない」「良性のもの」など、まったく異なる病名が説明された
4. わからない

問 39b. 最終的に、医師から患者さまへ「がんの治癒」について、どのように説明されましたか (〇は 1 つ)

1. 治らないことが説明された 2. 治るか治らないかわからないとあいまいに説明された
3. 治ると説明された 4. わからない

問 39c. 「治らないことが説明された」方にお伺いします 説明された時期はいつ頃でしたか (〇は 1 つ)

1. 亡くなる 2 週間以内 2. 亡くなる 1 カ月以内 3. 亡くなる 2~3 カ月前
4. 亡くなる 4~6 カ月前 5. 亡くなる半年以上前 6. 亡くなる 1 年以上前 7. わからない

問 40. 患者さまが受けたがんの治療をすべてお選びください (複数選択可)

1. がんの治療は受けていない 2. 手術（がんの切除術） 3. 放射線治療
4. 抗がん剤治療（点滴・内服薬） 5. その他のがん治療 6. わからない

問 41. 抗がん剤治療を受けていた方にお伺いします それ以外の方は問 42 にお進みください

問 41a. 抗がん剤治療をやめること（これ以上行わないこと）を医師と患者さまとの間で話し合いましたか (〇は 1 つ)

1. 話し合わなかった 2. 話し合った 3. わからない

問 41b. 抗がん剤の最後の投与日はいつ頃でしたか (〇は 1 つ)

1. 亡くなる 2 週間以内 2. 亡くなる 1 カ月以内 3. 亡くなる 2~3 カ月前
4. 亡くなる 4~6 カ月前 5. 亡くなる半年以上前 6. わからない

問 41c. 抗がん剤治療をやめた時期について、あなたはどう感じていますか (〇は 1 つ)

1. もっと早くやめればよかった 2. もう少し早くやめればよかった 3. ちょうどよかった
4. もう少し続けたかった 5. もっと続けたかった 6. わからない

すべてのご遺族の方にお伺いします

問 42. お亡くなりになる前の 1 カ月間にどのくらいの医療費・介護費がかかりましたか（病院、診療所、施設や介護に支払った代金、薬代金など、介護用品、ご家族の交通費や食費など、全てを含んだおおよその総額で結構です）（○は 1 つ）

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 10 万円未満/月 | 2. 10～20 万円未満/月 | 3. 20～40 万円未満/月 |
| 4. 40～60 万円未満/月 | 5. 60 万円以上/月 | 6. わからない |

問 43. 患者さまご本人の療養中の年間の世帯収入はどのくらいでしたか（同一生計を立てていた場合は、ご家族の収入も合わせた、おおよその総額で結構です）（○は 1 つ）

- | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|----------|
| 1. 100 万円未満/年 | 2. 100～200 万円未満/年 | 3. 200～400 万円未満/年 | |
| 4. 400～600 万円未満/年 | 5. 600～800 万円未満/年 | 6. 800 万以上円/年 | 7. わからない |

問 44. アンケートの感想をお伺いします

問 44a. このようなアンケートを行い、医療を改善していくことは良いことだと思いますか（○は 1 つ）

- | | | | |
|-----------|--------------|-----------|---------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. 少しそう思う | 4. そう思う |
|-----------|--------------|-----------|---------|

問 44b. このアンケートに回答されて、つらいと感じましたか（○は 1 つ）

- | | | | |
|-----------|--------------|----------|--------|
| 1. 感じなかった | 2. あまり感じなかった | 3. 少し感じた | 4. 感じた |
|-----------|--------------|----------|--------|

問 44c. このアンケートに回答して、自分にとってよかったと思われることはありましたか（○は 1 つ）

- | | | | |
|---------|------------|----------|--------|
| 1. なかった | 2. あまりなかった | 3. 少しあった | 4. あった |
|---------|------------|----------|--------|

問 45. あなたのご経験から、大切な最期の時間をその人らしく、より良く過ごすことができる医療を実現するために必要なこと、改善すべきことなど、お感じになられたことをご記入ください

以上でアンケートは終了です。ご協力、誠にありがとうございました。
ご回答は、大切な最期の時間をその人らしく、より良く過ごすことができる医療の実現に活かしてまいります。



厚生労働省委託事業 がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業
患者さまが受けられた医療に関するご遺族の方への調査
2018-2019 年度調査結果報告書

2022 年 3 月 初版

編集 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 がん医療支援部
遺族調査専門委員会

〒104-0045 東京都中央区築地 5 丁目 1 番 1 号

TEL 03-3542-2511

E-mail mfs@ml.res.ncc.go.jp



国立研究開発法人

国立がん研究センター

National Cancer Center Japan